

紀宝町

町民アンケート調査結果報告書

令和3年3月

三重県紀宝町

目次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	1
(2)	アンケート回収数からの標本誤差について	2
3	回答者の属性	4
(1)	性別	4
(2)	年齢	4
(3)	世帯構成	4
(4)	職業	5
(5)	就学先・勤務先	5
(6)	居住年数	6
(7)	居住地区	6
II	調査結果	7
1	婚姻状況について	7
2	現在および予定している子どもの数について	9
3	理想的な子どもの数について	11
4	子どもを持つ妨げになっている要因について	13
5	結婚されていない理由について	16
6	まちへの愛着度について	19
7	まちへの定住意向について	22
8	まちの魅力について	25
9	町の将来像(あるべき姿)について	28
10	町政に対する現状評価と今後の期待について	31
(1)	まちの各環境に関する満足度	31
(2)	まちの各環境に関する重要度	42
(3)	満足度と重要度の相関(優先度)	52
11	あなたの生活や地域のことについて	58
III	自由意見	86
IV	アンケート票	87

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本町では、令和4年度から始まる「第2次紀宝町総合計画後期基本計画・第2次紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画づくりを進めています。本調査は、これまでの町の取組に対する評価や町民の日頃の行動や考えを把握することで、町の取組の達成度を図る指標とし、計画策定の基礎資料とするために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	18歳以上の町民
配布数	1,100
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法(郵送による配布・回収)
調査時期	令和2年12月
調査地域	町内全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	1,100
有効回収数	497
有効回収率	45.2%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある間は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化してあります。また、クロス集計分析を行っていますが、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合もあります。

(2) アンケート回収数からの標本誤差について

統計調査のなかで、調べたい対象全体を調べる(悉皆調査)のではなく、標本すなわち調査対象である世帯や個人、施設などを一部抽出・選定して実施される調査を標本調査といいます。この標本調査では、調査した対象が、全体とは必ずしも一致しないことに起因する標本誤差というものが存在します。すなわち、標本調査の結果として統計表などに示されている結果数値は、この標本誤差を含んだものとして見る必要があります。

標準誤差は、無作為標本調査による推計結果値が真の値からどのくらい離れているかの幅を示す数値です。

無作為抽出により実施した標本調査では、推計値の前後にそれぞれ標準誤差の2倍の値をとると、真の値は約95パーセントの確率でこの幅の中にあるといえるという性質があります。

誤差の大きさは、抽出の方法(無作為抽出の方法という意味)や調査対象とした集団の性質など、様々な要因により影響をうけますが、最も関連性を持つのが「標本数の大きさ」、すなわち、調査の客体としたサンプル数です。例えば、同一の調査、同一の項目においては、サンプル数が多い程標準誤差は小さくなり、逆に、サンプル数が少ない程標準誤差は大きくなります。

一般的には、標本誤差を小さくなるようにしたほうが、推計値の精度が上がることから、標本誤差の観点からは、サンプル数を増やして調査を行うほうが望ましいこととなりますが、サンプル数が増加すると調査の手間や経費などが増加するため、むやみにサンプル数を増やすわけにはいきません。

従って、サンプル数の決定は、誤差の大きさとコストなどとの兼ね合いということになります。その標本調査の推計値の標本誤差をどの程度におさめて、サンプル数をいくつにするかというのが、標本調査の企画における重要な部分となりますが、これを「標本設計」とよんでいます。国が実施している調査では、見たい項目についての誤差の程度、標準誤差率を5パーセント程度におさめるようにする設計が行われているのが多くなっています。

標本誤差は下記の式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(p)によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母数集団(紀宝町の総人口)

n = 比率算出の基数(回答者数)

p = 回答の比率(%)

そこで、本調査の標本誤差について計算すると、サンプル数が 1,100、回答者数が 497、回収率は 45.2%であり、これを前ページの式にあてはめて計算すると、

測定値(%)	信頼区間の 1/2 幅(%)
50	4.4
45・55	4.4
40・60	4.3
35・65	4.2
30・70	4.0
25・75	3.8
20・80	3.5
15・85	3.1
10・90	2.6
5・95	1.9

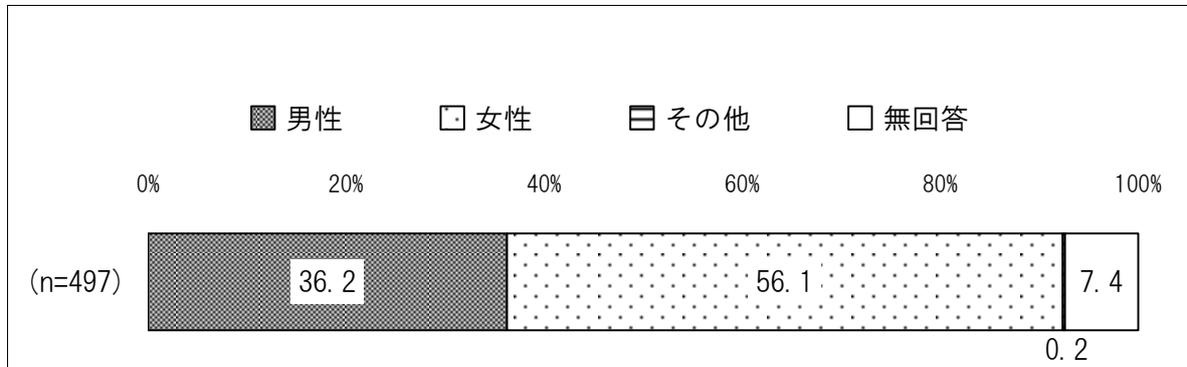
となり、すべて区間において誤差率は 5 パーセント内に納まっています。

この表の使い方は、ある設問に対しての回答が 50%であったとすると、測定値 50 の 1/2 幅は 4.4%ですから、同じアンケートを別の 1,100 人に行っても、45.6~54.4%の間で回答が得られるということを示しています。

3 回答者の属性

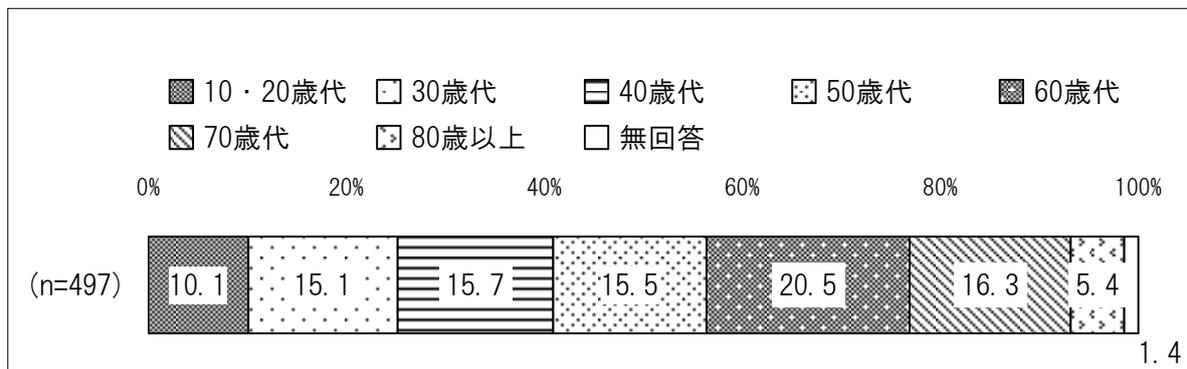
(1) 性別

回答者の性別構成については、「男性」が 36.2% 「女性」が 56.1%、「その他」が 0.2% となっています。



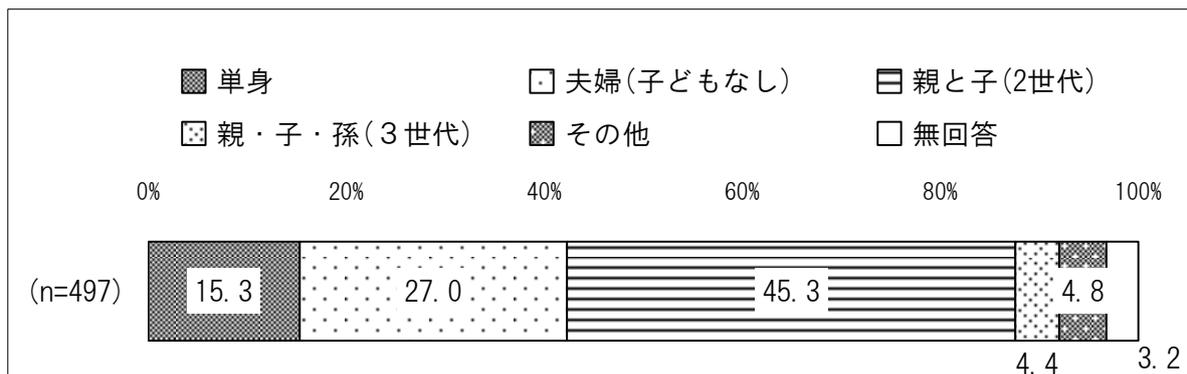
(2) 年齢

回答者の年齢構成については、「60 歳代」が 20.5%で最も多く、次いで「70 歳代」(16.3%)、「40 歳代」(15.7%)、「50 歳代」(15.5%)、「30 歳代」(15.1%)、「10・20 歳代」(10.1%)、「80 歳以上」(5.4%)の順となっています。



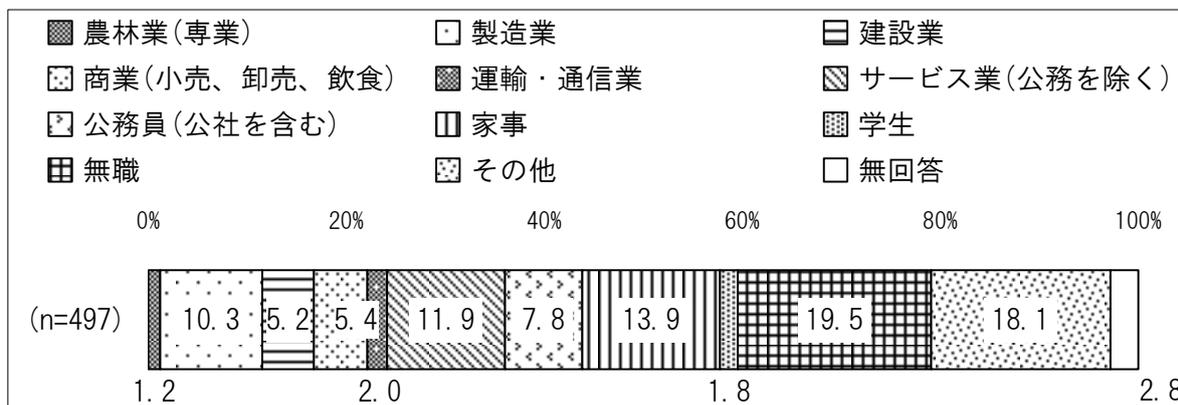
(3) 世帯構成

回答者の世帯構成については、「親と子(2世代)」が 45.3%で最も多く、次いで「夫婦(子どもなし)」(27.0%)、「単身」(15.3%)、「親・子・孫(3世代)」(4.4%)の順となっています。



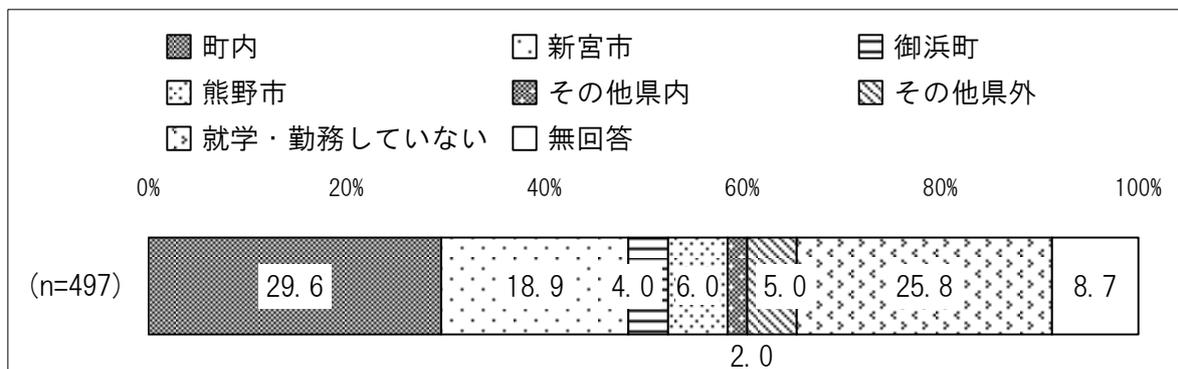
(4) 職業

回答者の職業については、「無職」が19.5%で最も多く、次いで「その他」(18.1%)、「家事」(13.9%)、「サービス業(公務を除く)」(11.9%)、「製造業」(10.3%)、「公務員(公社を含む)」(7.8%)、「商業(小売、卸売、飲食)」(5.4%)、「建設業」(5.2%)、「運輸・通信業」(2.0%)、「学生」(1.8%)、「農林業(専門)」(1.2%)の順となっています。



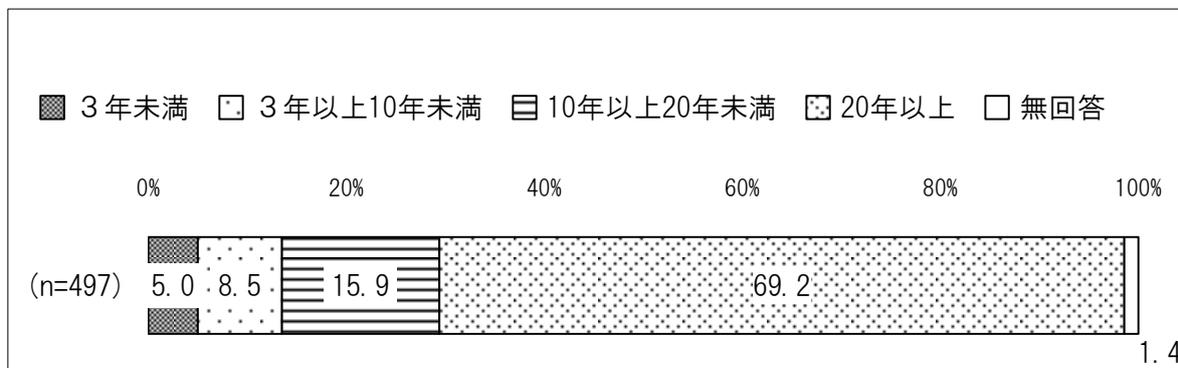
(5) 就学先・勤務先

回答者の就学先・勤務先については、「町内」が29.6%で最も多く、次いで「就学・勤務していない」(25.8%)、「新宮市」(18.9%)、「熊野市」(6.0%)、「その他県外」(5.0%)、「御浜町」(4.0%)、「その他県内」(2.0%)の順となっています。



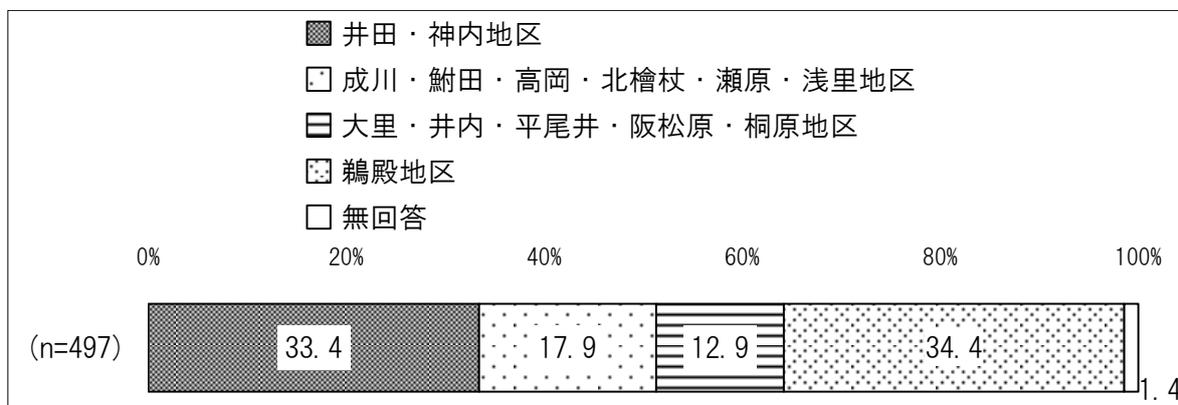
(6) 居住年数

回答者の居住年数については、「20年以上」が69.2%で最も多く、次いで「10年以上20年未満」(15.9%)、「3年以上10年未満」(8.5%)、「3年未満」(5.0%)の順となっています。



(7) 居住地区

回答者の居住地区については、「鶺鴒地区」が34.4%で最も多く、次いで「井田・神内地区」(33.4%)、「成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区」(17.9%)、「大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区」(12.9%)の順となっています。



Ⅱ 調査結果

1 婚姻状況について

問2 あなたの婚姻状況について教えてください。



- “既婚(事実婚含む)” が 66.6%、 “未婚” が 20.1%。

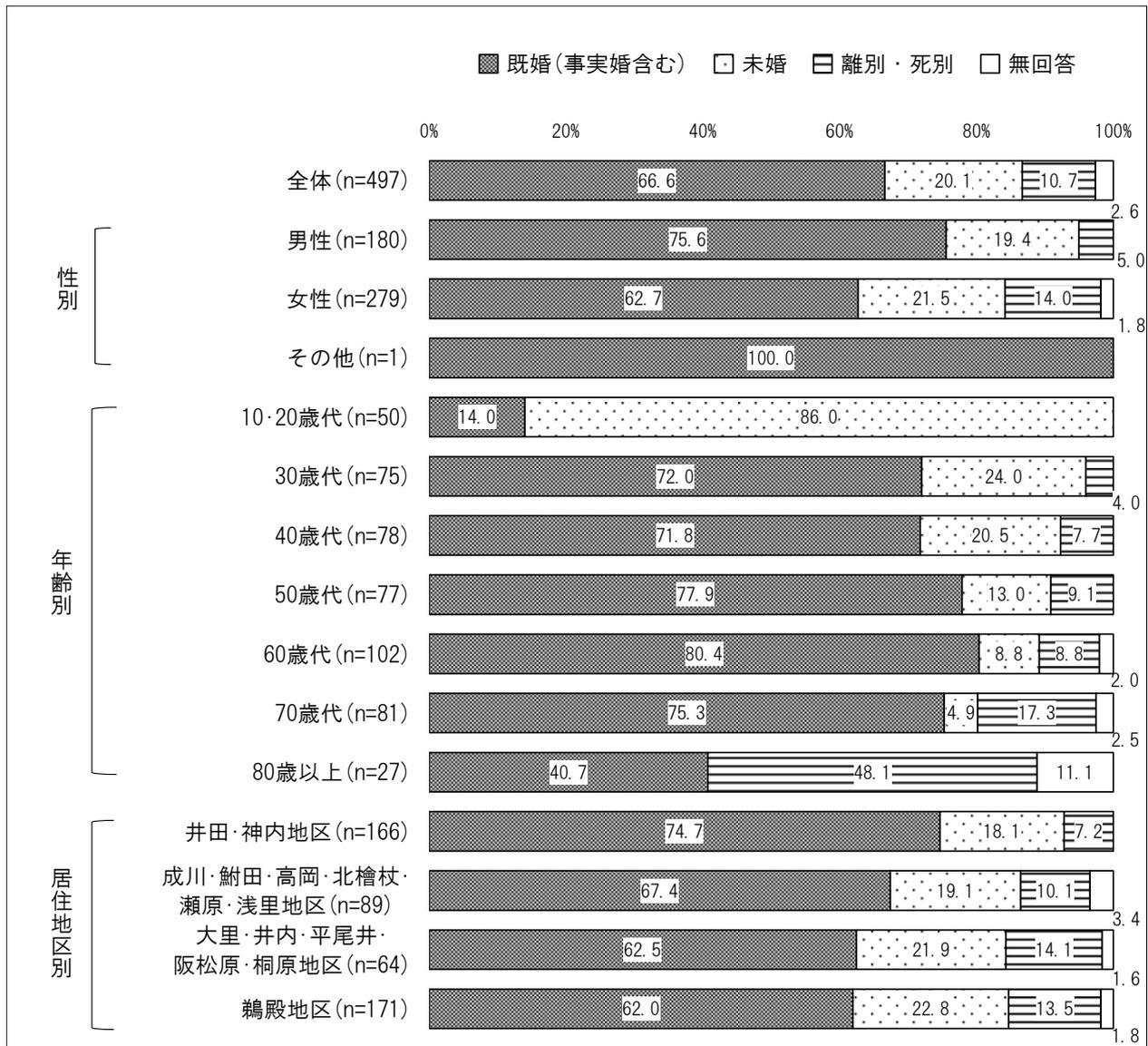
婚姻状況については、「既婚(事実婚含む)」が 66.6%で最も多く、「未婚」(20.1%)、「離婚・死別」(10.7%)の順となっています。

性別で見ると、「既婚(事実婚含む)」は男性が 75.6%と、女性(62.7%)を 12.9 ポイント上回っています。一方、「未婚」、「離婚・死別」は女性が男性を上回っています。

年齢別で見ると、「既婚(事実婚含む)」は 30 歳代から 70 歳代では 70~80%となっています。一方、年齢が若くなるほど「未婚」が多く、年齢が高くなるほど「離婚・死別」が多くなっています。

[図表 1]

図表1 婚姻状況について
(全体・性別・年齢別・居住地区別)



2 現在および予定している子どもの数について

問2で「1. 既婚(事実婚含む)」と回答された方におたずねします。

問3 現在何人のお子様がいらっしゃいますか。または、何人のお子様を予定していますか。



- “2人”が40.2%、一方、“0人”が9.1%。

現在の子どもの数、予定している子どもの数については、「2人」が40.2%で最も多く、次いで「3人」(27.2%)、「1人」(17.5%)、「4人」(3.9%)、「5人以上」(0.9%)の順となっています。一方、「0人」は9.1%となっています。

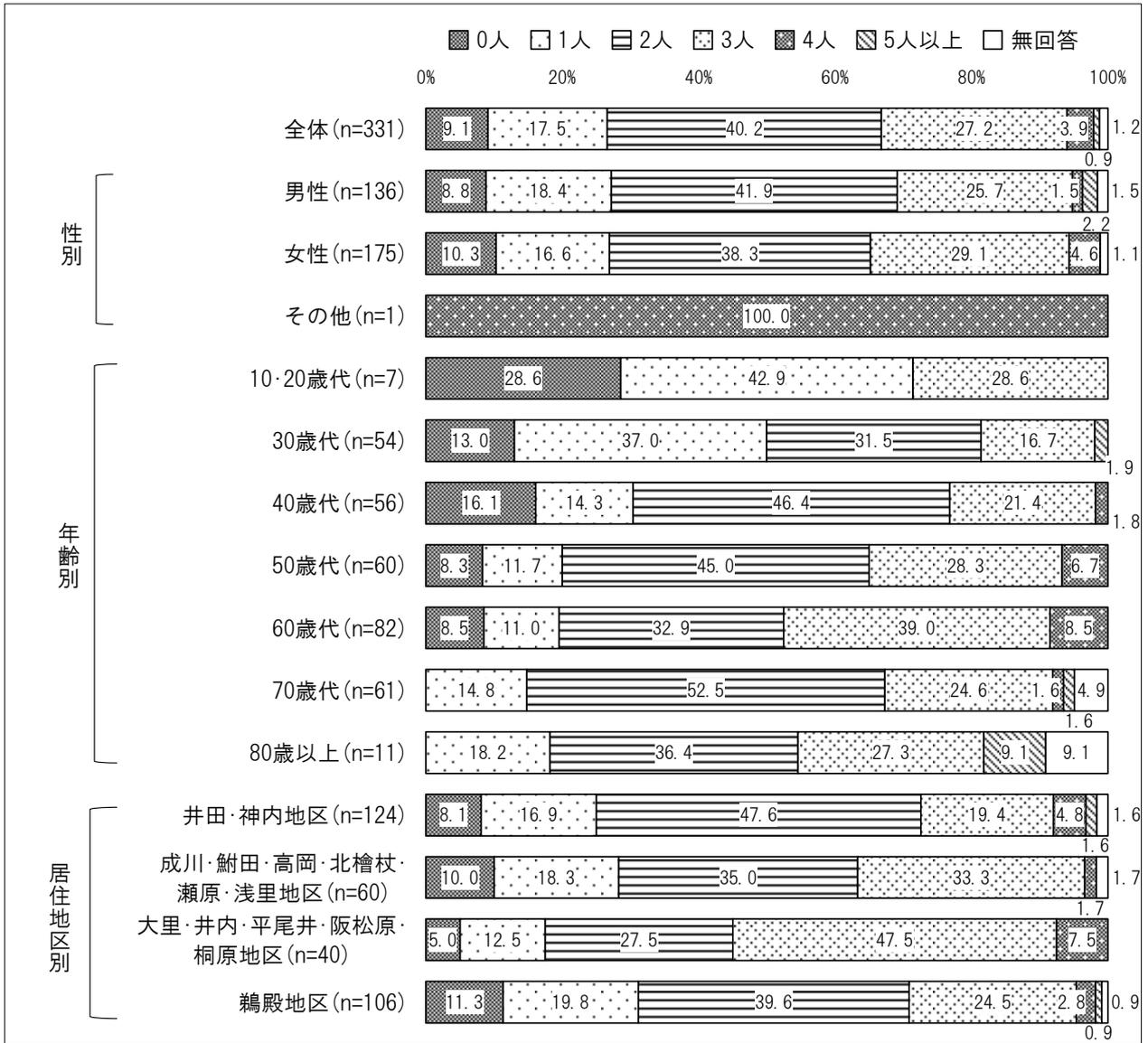
また、「5人以上」の場合、具体的には「6人」が0.9%、「無回答」が99.1%となっています。

性別で見ると、男性では「2人」(41.9%)、「1人」(18.4%)が女性より多く、女性では「3人」(29.1%)、「4人」(4.6%)が男性より多くなっています。一方、「0人」は女性が10.3%と、男性(8.8%)を上回っています。

年齢別で見ると、50歳代以上では1人以上の子どもがいる方が90%を超えています。

[図表2]

図表2 現在および予定している子どもの数について
(全体・性別・年齢別・居住地区別)



3 理想的な子どもの数について

問4 あなたにとって、理想的な子どもの数について教えてください。



- “3人”が45.0%、“2人”が38.1%。

理想的な子どもの数については、「3人」が45.0%で最も多く、次いで「2人」(38.1%)、「4人」(6.0%)、「1人」(4.2%)、「5人以上」(0.6%)の順となっています。一方、「0人」は1.2%となっています。

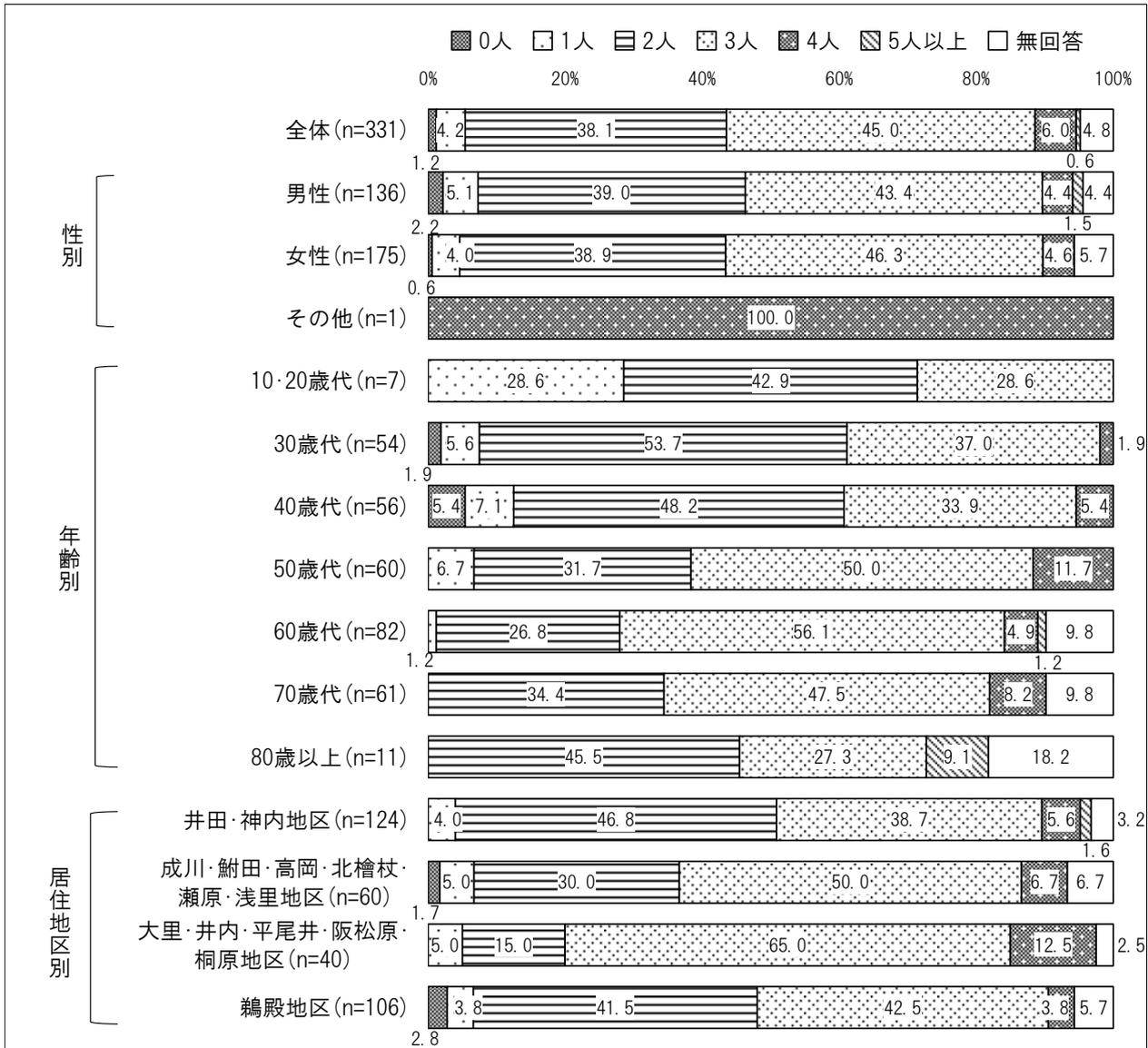
また、「5人以上」の場合、具体的には「5人」が0.3%、「無回答」が99.7%となっています。

性別で見ると、女性では「3人」が46.4%と、男性(43.4%)を3ポイント上回っています。

年齢別で見ると、50歳代、60歳代では3人以上と回答した方が60%を超えています。

[図表3]

図表3 理想的な子どもの数について
(全体・性別・年齢別・居住地区別)



4 子どもを持つ妨げになっている要因について

問5 問3の子どもの数が問4の子どもの数より少ない方におたずねします。妨げになっている要因はどのようなことですか。



- “子育てや教育にお金がかかるから”が34.6%。

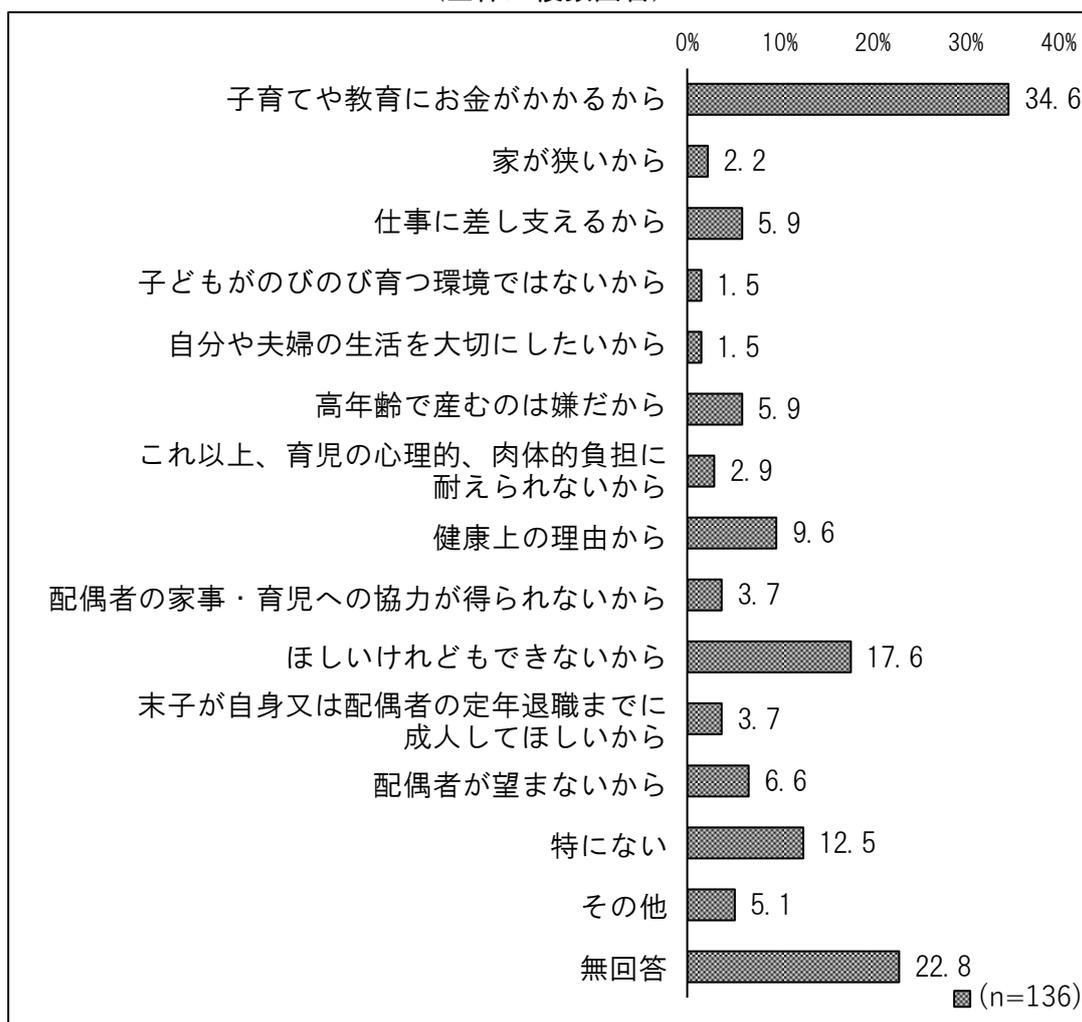
子どもを持つ妨げになっている要因については、「子育てや教育にお金がかかるから」(34.6%)が第1位、次いで「ほしいけれどもできないから」(17.6%)、「特にない」(12.5%)、「健康上の理由から」(9.6%)、「配偶者が望まないから」(6.6%)などの順となっています。[図表4]

性別で見ると、男女ともに第1位が「子育てや教育にお金がかかるから」となっています。男性では第2位が「特にない」、女性では第2位が「ほしいけれどもできないから」となっています。

年齢別で見ると、10・20歳代では「ほしいけれどもできないから」と「健康上の理由から」が同率(25.0%)となっていますが、30歳代以上では「子育てや教育にお金がかかるから」が第1位となっています。また、40歳代、50歳代、60歳代では「ほしいけれどもできないから」、30歳代では「特にない」、70歳代では「健康上の理由から」が第2位となっています。80歳以上の回答はありませんでした。

[図表4-1]

図表4 子どもを持つ妨げになっている要因について
(全体/複数回答)



図表 4-1 子どもを持つ妨げになっている要因について
(全体・性別・年齢別／複数回答)

(上位 3 位)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全 体		子育てや教育にお金がかかるから 34.6%	ほしいけれどもできないから 17.6%	健康上の理由から 9.6%
性 別	男性	子育てや教育にお金がかかるから 33.9%	特にな 16.1%	ほしいけれどもできないから 14.3%
	女性	子育てや教育にお金がかかるから 33.8%	ほしいけれどもできないから 19.7%	健康上の理由から 11.3%
年 齢 別	10・20 歳代	ほしいけれどもできないから 25.0%	健康上の理由から	
	30 歳代	子育てや教育にお金がかかるから 48.4%	特にな 19.4%	仕事に差し支えるから 16.1%
	40 歳代	子育てや教育にお金がかかるから 40.0%	ほしいけれどもできないから 25.0%	健康上の理由から
	50 歳代	子育てや教育にお金がかかるから 38.1%	ほしいけれどもできないから 33.3%	高年齢で産むのは嫌だから/配偶者が望まないから 14.3%
	60 歳代	子育てや教育にお金がかかるから 35.5%	ほしいけれどもできないから 19.4%	高年齢で産むのは嫌だから 9.7%
	70 歳代	子育てや教育にお金がかかるから 18.5%	健康上の理由から 14.8%	仕事に差し支えるから 7.4%
	80 歳以上			

※性別「その他」、年齢別「80歳以上」は回答無。

5 結婚されていない理由について

問2で、「2. 未婚」、「3. 離別・死別」と回答された方におたずねします。

問6 現在結婚されていない理由は何ですか。



- “出会いがないから”が28.1%。

現在結婚していない理由については、「出会いがないから」(28.1%)が第1位、次いで「今のところ、結婚するつもりはないから」と「年齢的に難しいと思うから」が同率(25.5%)、「自由な生活を失いたくないから」(15.7%)の順となっています。

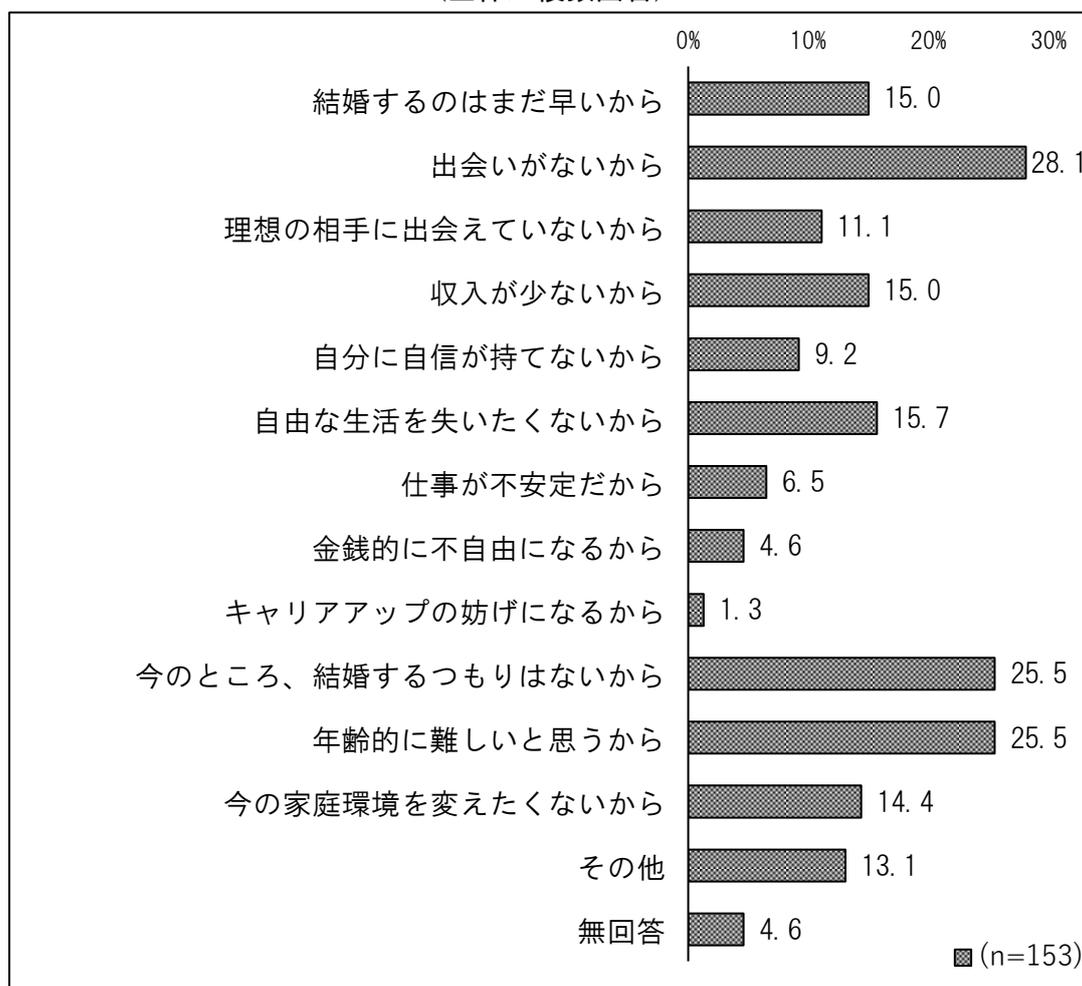
[図表 5]

性別で見ると、男性では第1位が「出会いがないから」、第2位が「収入が少ないから」となっています。女性では第1位が「年齢的に難しいと思うから」、第2位が「出会いがないから」となっています。また、男女ともに第3位は「今のところ、結婚するつもりはないから」となっています。

年齢別で見ると、10・20歳代では「結婚するのはまだ早いから」、30歳代では「出会いがないから」、40歳代では「今のところ、結婚するつもりはないから」、50歳代、60歳代、70歳代では「年齢的に難しいと思うから」、80歳以上では「その他」が第1位となっています。

[図表 5-1]

図表5 結婚されていない理由について
(全体/複数回答)



図表 5-1 結婚されていない理由について
(全体・性別・年齢別)

(上位 3 位)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全 体		出会いがないから 28.1%	今のところ、結婚するつもりはないから 25.5%	年齢的に難しいと思うから
性 別	男性	出会いがないから 40.9%	収入が少ないから 36.4%	今のところ、結婚するつもりはないから 34.1%
	女性	年齢的に難しいと思うから 27.3%	出会いがないから 24.2%	今のところ、結婚するつもりはないから 19.2%
年 齢 別	10・20 歳代	結婚するのはまだ早いから 53.5%	出会いがないから 30.2%	今のところ、結婚するつもりはないから 27.9%
	30 歳代	出会いがないから 52.4%	収入が少ないから 33.3%	自分に自信が持てないから 23.8%
	40 歳代	今のところ、結婚するつもりはないから 36.4%	出会いがないから 31.8%	年齢的に難しいと思うから
	50 歳代	年齢的に難しいと思うから 47.1%	出会いがないから 41.2%	収入が少ないから 23.5%
	60 歳代	年齢的に難しいと思うから 55.6%	今のところ、結婚するつもりはないから 38.9%	今の家庭環境を変えたくないから 33.3%
	70 歳代	年齢的に難しいと思うから 38.9%	今の家庭環境を変えたくないから 27.8%	その他 16.7%
	80 歳以上	その他 30.8%	今の家庭環境を変えたくないから 23.1%	今のところ、結婚するつもりはないから

※性別「その他」は回答無。

6 まちへの愛着度について

問7 あなたは、紀宝町に対して「自分の町」としての愛着をどの程度感じていますか。

● “愛着を感じている”が68.3%、一方、“愛着を感じていない”が6.8%。

紀宝町に対して「自分の町」としての愛着をどの程度感じているかについては、「どちらかという愛着を感じている」と答えた人が42.5%と最も多く、これに「とても愛着を感じている」(25.8%)をあわせた68.3%の人が“愛着を感じている”という意向を示しています。一方、「あまり愛着を感じていない」(5.2%)及び「愛着を感じていない」(1.6%)と答えた“愛着を感じていない”という人の合計は6.8%にとどまっています。なお、「どちらともいえない」は23.1%でした。

性別でみると、“愛着を感じている”率は男性が69.5%、女性が68.1%と大きな違いはありませんでした。

年齢別でみると、“愛着を感じている”率は80歳以上(81.4%)で高くなっています。一方、30歳代(64.0%)、60歳代(64.7%)では比較的低くなっています。

世帯構成別でみると、“愛着を感じている”率は単身(75.0%)と親と子(70.2%)で高く、その他(54.2%)で低くなっています。

職業別でみると、“愛着を感じている”率は農林業で83.3%と最も高くなっています。最も低くなっているのが、商業(小売、卸売、飲食)の55.5%でした。

就学先・勤務先別でみると、“愛着を感じている”率は町内(72.8%)、「就学・勤務していない」(74.2%)で高く、新宮市(58.5%)で低くなっています。

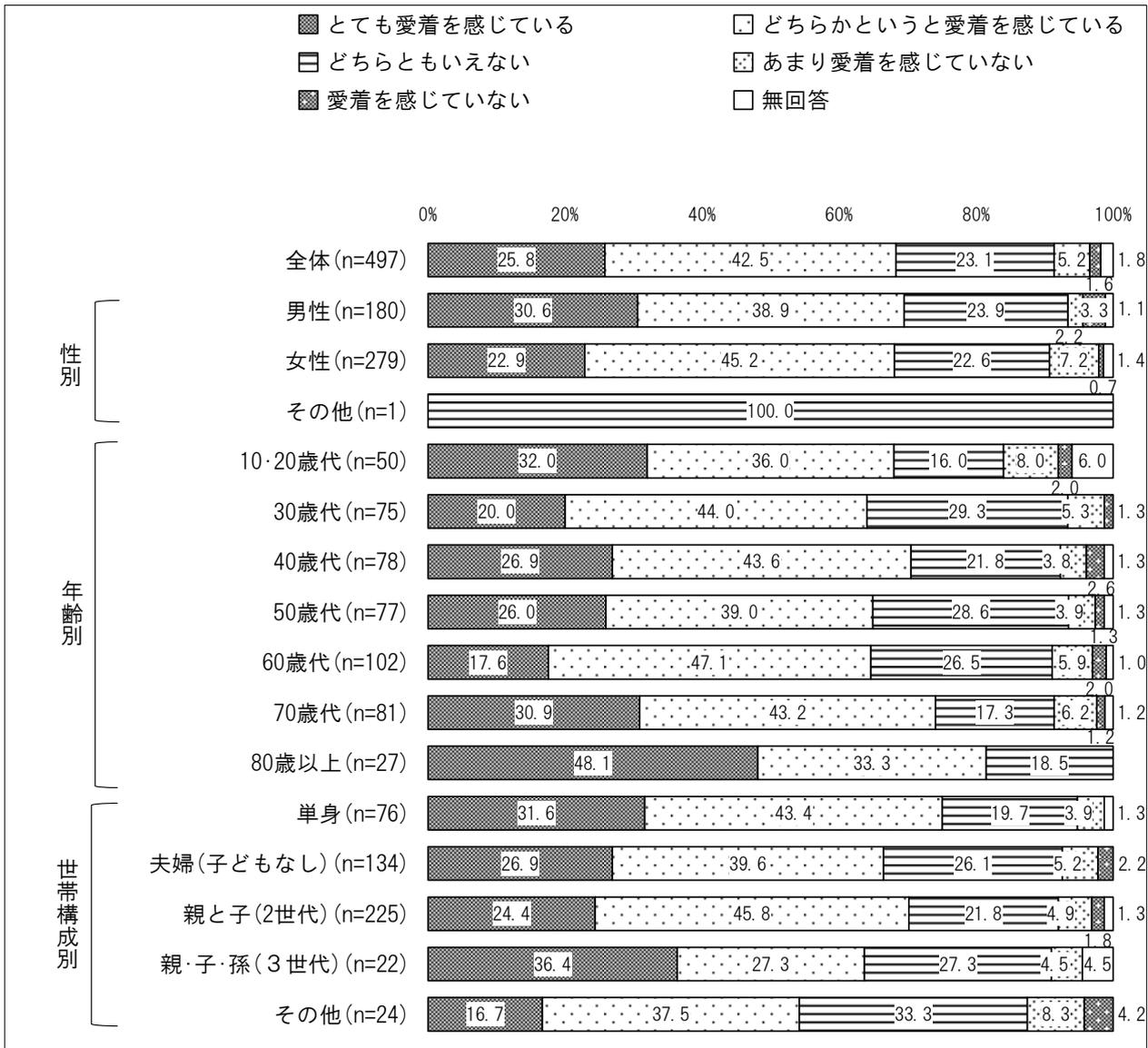
居住年数別でみると、20年以上の“愛着を感じている”率は71.5%であるのに対し、3年未満の“愛着を感じている”率は40.0%でした。

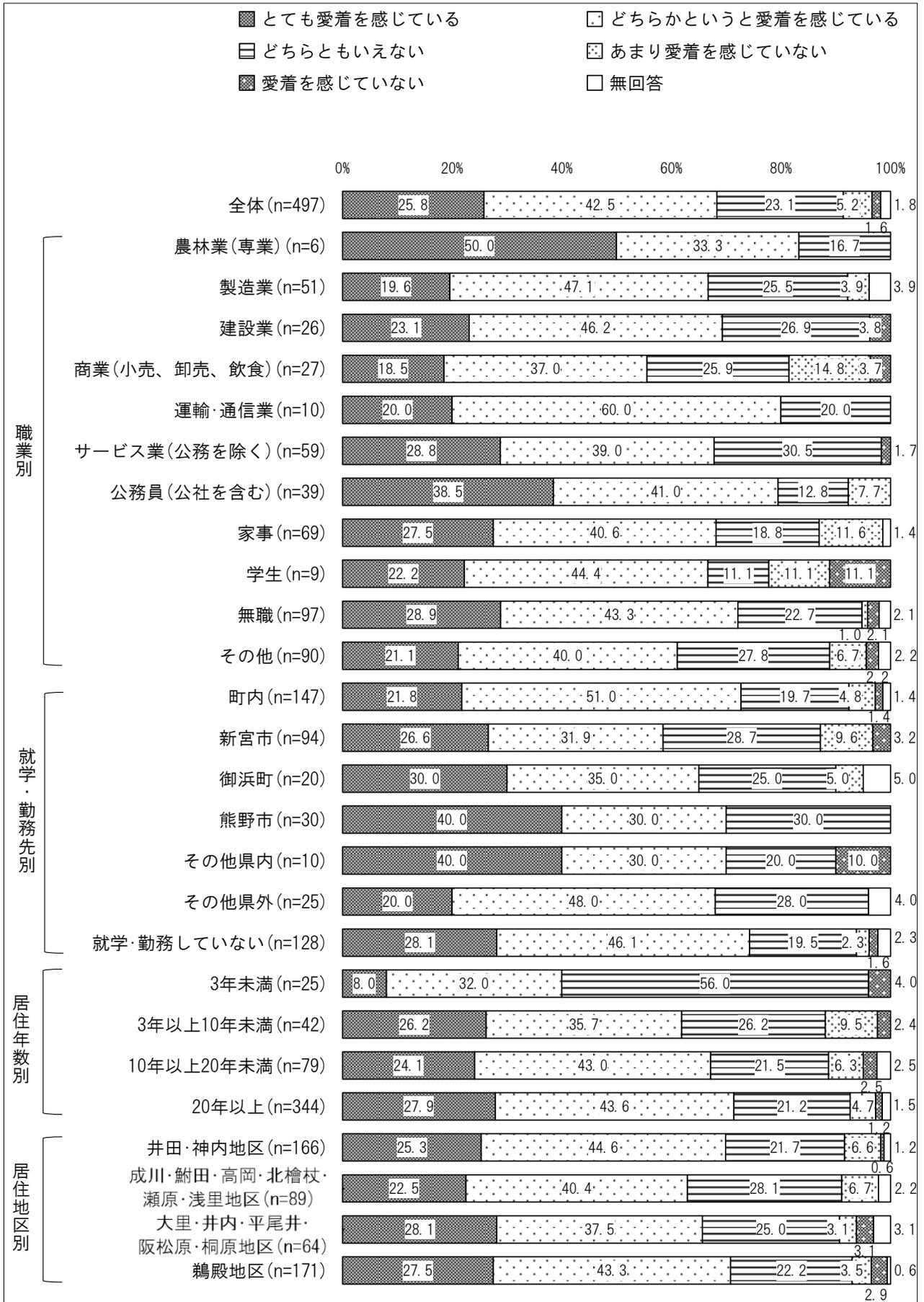
居住地区別でみると、“愛着を感じている”率は、鵜殿地区(70.8%)が最も高く、成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区(62.9%)が最も低くなっています。

[図表 6]

図表 6 町への愛着度について

(全体・性別・年齢別・世帯構成別・職業別・就学・勤務先別・居住年数別・居住地区別)





7 まちへの定住意向について

問8 あなたは、これからも紀宝町に住み続けたいと思いますか。

● “住み続けたい”が70.7%、一方、“住みたくない”が4.0%。

これからも紀宝町に住み続けたいと思うかどうかについては、「住み続けたい」と答えた人が44.7%と最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」(26.0%)をあわせた70.7%の人が“住み続けたい”という意向を示しています。一方、「どちらかといえば住みたくない」(3.4%)及び「住みたくない」(0.6%)と答えた“住みたくない”という人の合計は4.0%にとどまっています。なお、「どちらともいえない」は23.1%でした。

性別でみると、“住み続けたい”率は男女ともに70%を超えていますが、男性の方が若干“住み続けたい”率が高くなっています。

年齢別でみると、“住み続けたい”率は40歳代、70歳代、80歳以上では80%を超えています。なお、10・20歳代の“住み続けたい”率は50.0%と最も低くなっています。

世帯構成別でみると、“住み続けたい”率は単身(76.3%)と親と子(72.0%)で高く、その他(58.3%)で低くなっています。

職業別でみると、運輸・通信業の“住み続けたい”率は90.0%と最も高くなっています。また、農林業の“住み続けたい”率も83.3%と高くなっています。一方、学生の“住み続けたい”率は44.4%と最も低くなっています。

就学先・勤務先別でみると、“住み続けたい”率は、町内(71.4%)、熊野市(76.6%)、就学・勤務していない(78.1%)で高く、その他県内では50.0%と最も低くなっています。

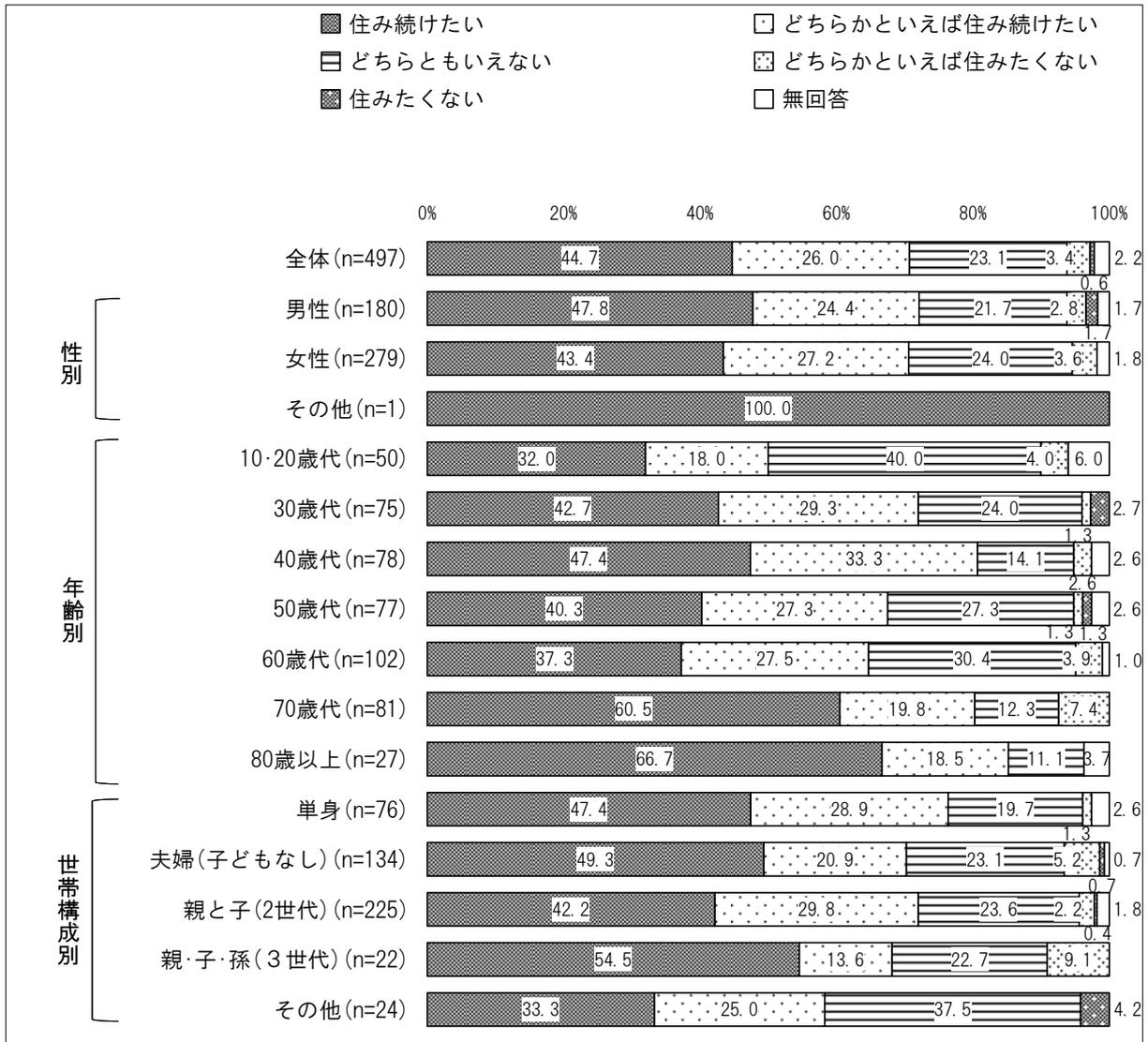
居住年数別でみると、“住み続けたい”率は、20年以上が73.3%で最も高く、3年未満が56.0%で最も低くなっています。

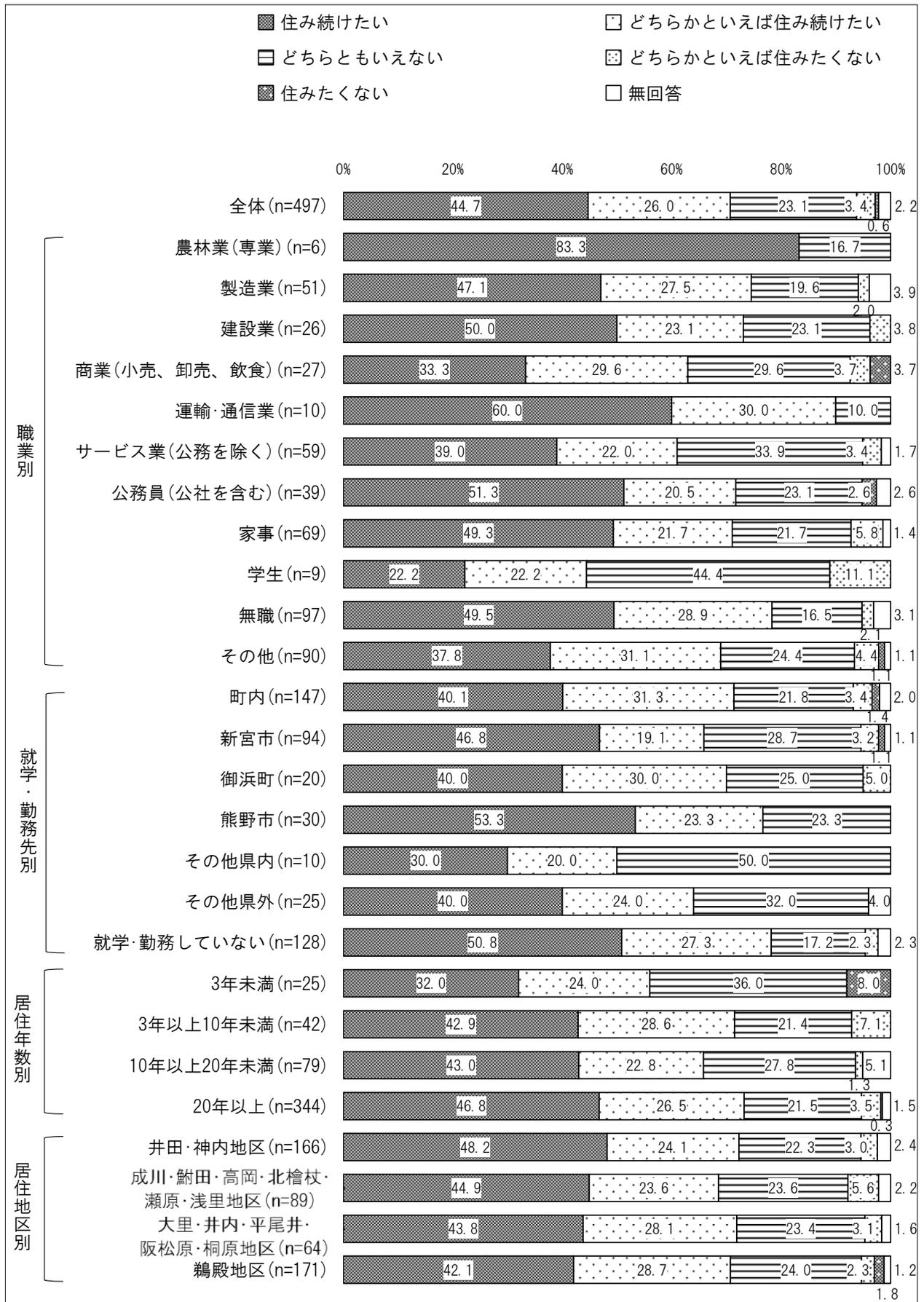
居住地区別でみると、“住み続けたい”率は、井田・神内地区(72.3%)が最も高く、“成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区(68.5%)が最も低くなっています。

[図表7]

図表7 今後の定住意向について

(全体・性別・年齢別・世帯構成別・職業別・就学・勤務先別・居住年数別・居住地区別)





8 まちの魅力について

問9 あなたは、紀宝町のどのようなところに魅力を感じていますか。



- 「自然環境が豊かである」(58.1%)が第1位、次いで「ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている」(48.1%)の順。

町のどのようなところに魅力を感じるかたずねたところ、「自然環境が豊かである」(58.1%)が第1位、次いで「ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている」(48.1%)、「人情味や地域の連帯感がある」(15.7%)、「買物の便が良い」(14.7%)、「福祉環境が整っている」(12.9%)、「道路・交通の便が良い」(12.3%)などの順となっています。一方、「特に魅力を感じない」は5.8%となっています。

[図表8-1]

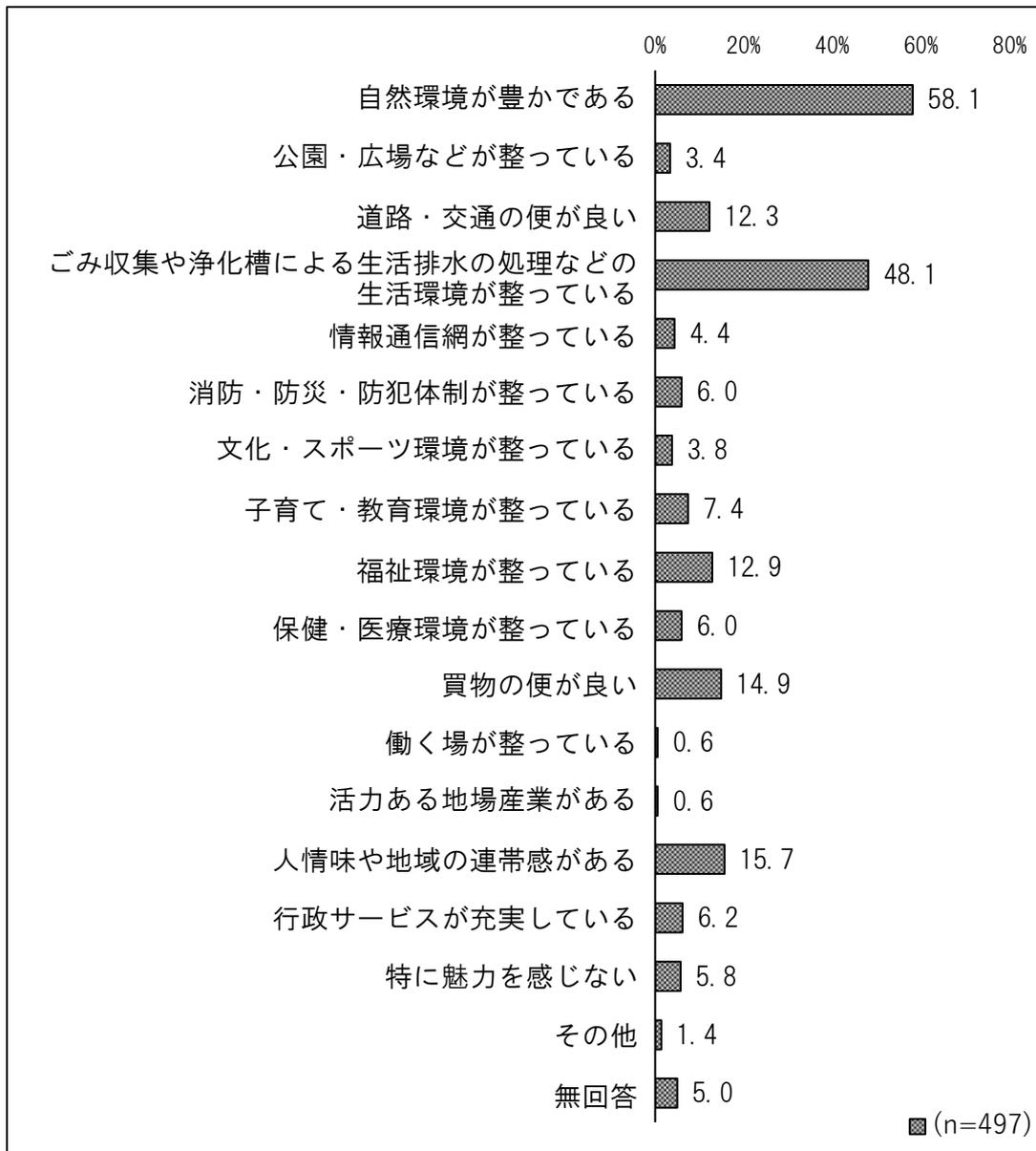
性別で見ると、男女ともに第1位が「自然環境が豊かである」、第2位が「ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている」、第3位が男性では「人情味や地域の連帯感がある」、女性では「買物の便が良い」となっています。

年齢別で見ると、80歳以上では「ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている」が第1位になっています。また、30歳代、40歳代では第3位に「子育て・教育環境が整っている」、80歳以上では「福祉環境が整っている」が入っています。

居住地区別で見ると、鶴殿地区では第1位が「ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている」、第3位が「買物の便が良い」となっています。

[図表8-2]

図表 8-1 町の魅力について
 (全体/複数回答: 3 つまで)



図表 8-2 町の魅力について

(全体・性別・年齢別・居住地区別／複数回答：3 つまで)

(上位 3 位)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全 体		自然環境が豊かである 58.1%	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 48.1%	人情味や地域の連帯感がある 15.7%
性 別	男性	自然環境が豊かである 62.8%	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 46.7%	人情味や地域の連帯感がある 14.4%
		女性	自然環境が豊かである 57.7%	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 48.7%
	その他	子育て・教育環境が整っている 100.0%		
	年 齢 別	10・20 歳代	自然環境が豊かである 72.0%	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 34.0%
	30 歳代	自然環境が豊かである 61.3%	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 46.7%	子育て・教育環境が整っている 20.0%
	40 歳代	自然環境が豊かである 56.4%	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 48.7%	子育て・教育環境が整っている／福祉環境が整っている 12.8%
	50 歳代	自然環境が豊かである 58.4%	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 48.1%	買物の便が良い 20.8%
	60 歳代	自然環境が豊かである 59.8%	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 55.9%	人情味や地域の連帯感がある 17.6%
	70 歳代	自然環境が豊かである 50.6%	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 46.9%	人情味や地域の連帯感がある 22.2%
	80 歳以上	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 55.6%	自然環境が豊かである 51.9%	福祉環境が整っている 33.3%
居 住 地 区 別	井田・神内地区	自然環境が豊かである 65.1%	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 47.0%	人情味や地域の連帯感がある 14.5%
	成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区	自然環境が豊かである 66.3%	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 46.1%	人情味や地域の連帯感がある 18.0%
	大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区	自然環境が豊かである 59.4%	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 35.9%	人情味や地域の連帯感がある 20.3%
	鵜殿地区	ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている 55.0%	自然環境が豊かである 48.0%	買物の便が良い 25.1%

9 町の将来像(あるべき姿)について

問 10 10年後の町の将来像(あるべき姿)についてお聞きします。あなたは紀宝町がどんな町になればよいと思いますか。(3つまで○印)

- 「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」(47.5%)
が第1位、次いで「高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち」(45.7%)、「水と緑の豊かな自然環境のあるまち」(32.2%)の順。

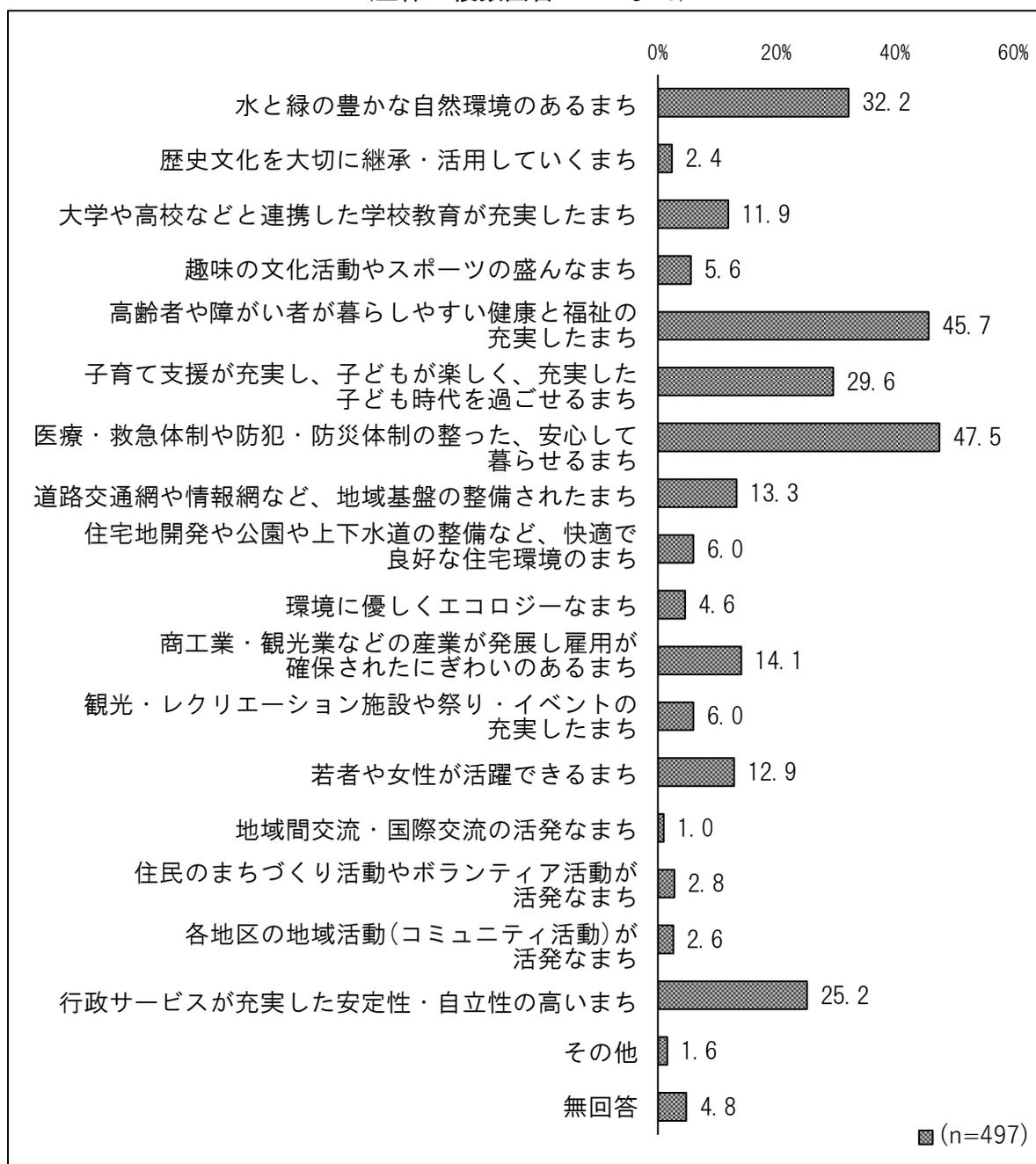
10年後の町の将来像(あるべき姿)についてたずねたところ、「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」(47.5%)が第1位、次いで「高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち」(45.7%)、「水と緑の豊かな自然環境のあるまち」(32.2%)、「子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち」(29.6%)、「行政サービスが充実した安定性・自立性の高いまち」(25.2%)、「商工業・観光業などの産業が発展し雇用が確保されたにぎわいのあるまち」(14.1%)などの順となっています。[図表 9]

性別でみると、男女ともに第1位が「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」、第2位が「高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち」、第3位が男性では「水と緑の豊かな自然環境のあるまち」、女性では「子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち」となっています。

年齢別でみると、第1位は10・20歳代では「水と緑の豊かな自然環境のあるまち」、30歳代では「子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち」、40歳代、50歳代では「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」、60歳代、70歳代、80歳以上では「高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち」となっています。

居住地区別にみると、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区では第1位が「高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち」となっています。また、鶯殿地区では第3位が「子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち」となっています。[図表 9-1]

図表9 10年後の町の将来像(あるべき姿)について
(全体/複数回答:3つまで)



図表 9-1 10年後の町の将来像(あるべき姿)について
(全体・性別・年齢別・居住地区別/複数回答:3つまで)

(上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全 体		医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち 47.5%	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち 45.7%	水と緑の豊かな自然環境のあるまち 32.2%
性別	男性	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち 46.7%	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち 39.4%	水と緑の豊かな自然環境のあるまち 36.7%
	女性	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち 50.9%	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち 49.5%	子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち 31.5%
	その他	水と緑の豊かな自然環境のあるまち 100.0%		
	年齢別	10・20 歳代	水と緑の豊かな自然環境のあるまち 38.0%	子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち 26.0%
	30 歳代	子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち 49.3%	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち 36.0%	水と緑の豊かな自然環境のあるまち 26.7%
	40 歳代	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち 51.3%	子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち 38.5%	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち 37.2%
	50 歳代	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち 55.8%	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち 46.8%	子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち/行政サービスが充実した安定性・自立性の高いまち 28.6%
	60 歳代	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち 54.9%	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち 37.3%	水と緑の豊かな自然環境のあるまち 37.3%
	70 歳代	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち 67.9%	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち 60.5%	水と緑の豊かな自然環境のあるまち/行政サービスが充実した安定性・自立性の高いまち 32.1%
	80 歳以上	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち 74.1%	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち/ 37.0%	行政サービスが充実した安定性・自立性の高いまち
居住地区別	井田・神内地区	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち 47.0%	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち 42.8%	水と緑の豊かな自然環境のあるまち 34.3%
	成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち 50.6%	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち 48.3%	水と緑の豊かな自然環境のあるまち 36.0%
	大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち 40.6%	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち 37.5%	水と緑の豊かな自然環境のあるまち 32.8%
	鵜殿地区	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち 51.5%	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち 50.9%	子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち 31.6%

10 町政に対する現状評価と今後の期待について

(1) まちの各環境に関する満足度

問 11 紀宝町の現在の状況(満足度)と今後のまちづくりにおける重要度についておたずねします。(A)紀宝町の今の状況についてどう思いますか。



- 満足度が最も高い項目は「ごみの分別収集や資源回収が進められている」。次いで「健康診断や保健指導の体制が充実している」、「自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全が充実している」の順。
- 満足度が最も低い項目は「働く場が確保されている」。次いで「娯楽やレジャーの環境が整っている」、「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」の順。

本町の各環境に関する町民の評価について、満足度をたずねた 61 の設問項目の傾向を、“満足”(「満足している」及び「やや満足している」の合計)、“不満”(「やや不満である」及び「不満である」の合計)にまとめ、その比率でみていくと、“満足”と回答した率は、「ごみの分別収集や資源回収が進められている」(91.5%)が最も高く、次いで「健康診断や保健指導の体制が充実している」(85.9%)、「自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全が充実している」(83.1%)、「上水道の整備が進んでいる」(81.1%)、「健康づくりに取り組む機会が充実している」(80.7%)、「近隣の人たちと仲の良い生活ができている」(80.5%)などの順となっています。一方、“不満”と回答した率は、「働く場が確保されている」(69.6%)が最も高く、「娯楽やレジャーの環境が整っている」(66.4%)、「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」(62.8%)、「ゆったりと過ごせる公園などがある」(56.3%)、「街路灯など、防犯の面で安心である」(53.1%)、「国内・国際交流が盛んである」(51.7%)、「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」(50.1%)などの順となっています。[図表 10-1~2]

さらに、加重平均値[後述参照]による評価点(満足度：最高点 10 点、最低点-10 点)による分析を行いました。

この結果、評価点の最も高い項目は「ごみの分別収集や資源回収が進められている」(6.66 点)となっており、第 2 位が「健康診断や保健指導の体制が充実している」(5.06 点)、第 3 位が「近隣の人たちと仲の良い生活ができている」(4.58 点)と続き、以下、「自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全が充実している」(4.50 点)、「町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる」(4.41 点)などの順となっています。一方、評価点の低い方からみると、「働く場が確保されている」(-4.13 点)が最も低く、第 2 位が「娯楽やレジャーの環境が整っている」(-3.33 点)、第 3 位が「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」(-2.48 点)と続き、以下、「国内・国際交流が盛んである」(-1.42 点)、「街路灯など、防犯の面で安心である」(-1.24 点)などとなっています。また、評価がプラスの項目は 49 項目、マイナスの項目は 12 項目となっており、“満足”が“不満”を上回っています。

[図表 10-3]

平成 28 年の調査における同様の項目と比べると、「自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり」では自然環境の保全、道路の利便性、防犯などの項目で評価点が下がったものの、その他の項目では上がっています。「ともに支え合う、やさしさあふれるまちづくり」ではすべての項目で評価点は上がっています。「賑わいと活力あふれる産業・交流のまちづくり」では娯楽やレジャー、祭りやイベントの項目で評価点が下がったものの、その他の項目では上がっています。「いつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり」では子どもの安全・安心、小・中学校の施設・設備の項目で評価点が下がったものの、その他の項目では上がっています。「住民と行政の協働によるまちづくり」では公民館活動、地域活動への住民参加、町民が意見や要望を言える機会、役場職員の窓口での対応の項目について評価点が下がったものの、その他の項目では上がっています。[図表 10-4]

※加重平均値の算出方法※

4段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left[\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right]}{\left[\begin{array}{l} \text{「満足している」、「やや満足し} \\ \text{ている」、「やや不満である」、} \\ \text{「不満である」の回答者数} \end{array} \right]}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表 10-1 まちの各環境に関する満足度(全体)

(単位：%)

設問		満足度	不満度
1 自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	1-(1) 自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全が充実している	③83.1	13.3
	1-(2) 海岸・河川環境の整備と保全が図られている	58.4	38.2
	1-(3) 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	76.7	20.9
	1-(4) 地震・台風等への防災対策が取り組まれている	65.6	31.6
	1-(5) 消防・救急体制が充実している	⑦79.3	16.5
	1-(6) 歩道の整備など、交通事故防止対策が取り組まれている	62.4	34.4
	1-(7) 住宅や宅地に恵まれている	66.4	29.6
	1-(8) ゆったりと過ごせる公園などがある	39.8	④56.3
	1-(9) 上水道の整備が進んでいる	④81.1	15.5
	1-(10) 合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	⑨78.3	18.3
	1-(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている	①91.5	6.2
	1-(12) 道路が便利である	55.3	42.1
	1-(13) 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	34.6	③62.8
	1-(14) 沿岸整備など、津波への対策が取り組まれている	47.5	⑨48.5
	1-(15) 情報基盤(インターネット環境など)が充実している	55.3	33.0
	1-(16) 街路灯など、防犯の面で安心である	38.6	⑤53.1
2 まともに支え合っ、やさしさあふれる	2-(17) 健康づくりに取り組む機会が充実している	⑤80.7	14.9
	2-(18) 健康診断や保健指導の体制が充実している	②85.9	10.7
	2-(19) 子育て相談・情報提供が充実している	⑩77.3	15.7
	2-(20) 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	46.3	⑦50.1
	2-(21) 高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	67.4	27.6
	2-(22) 高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	60.4	34.2
	2-(23) 障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している	58.1	33.8
	2-(24) 障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している	55.1	36.4
	2-(25) 一人親家庭への福祉サービスが充実している	64.4	26.4
	2-(26) 保育料・教育費などの負担軽減がされている	65.2	25.8
	2-(27) 国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	68.6	24.5
3 賑わいと活力あふれる産業・交流の	3-(28) 農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興が図られている	50.5	40.4
	3-(29) 林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興が図られている	45.7	44.9
	3-(30) 水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興が図られている	55.1	34.2
	3-(31) 工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致が図られている	49.7	40.0
	3-(32) 商業(商業地域の形成や商業者への支援)の振興が図られている	49.5	39.0
	3-(33) 特産品の開発や普及活動が取り組まれている	51.5	38.4
	3-(34) 観光資源の発掘やPRが取り組まれている	47.1	43.1
	3-(35) 国内・国際交流が盛んである	36.4	⑥51.7
	3-(36) 働く場が確保されている	21.5	①69.6
	3-(37) 食品や日用品の買い物がしやすい	46.9	⑧48.9
	3-(38) 娯楽やレジャーの環境が整っている	26.4	②66.4

設問		満足度	不満度
	3-(39) 祭りやイベントが充実している	64.6	29.0
	3-(40) 消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている	56.9	33.2
4 まいつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり	4-(41) 住民が子どもの心を育む地域づくりをしている	63.0	26.2
	4-(42) 小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている	65.0	22.9
	4-(43) だれもが学べる生涯学習の機会が充実している	57.7	31.8
	4-(44) スポーツ・レクリエーション施設が整っている	55.3	35.2
	4-(45) 青少年の健全育成を促す地域づくりができています	57.1	32.0
	4-(46) 文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	59.4	32.6
	4-(47) 文化財の保存と活用ができています	61.4	28.6
	4-(48) 男女共同参画や人権尊重の地域づくりができています	59.8	29.6
	4-(49) 子どもにとって安全・安心なまちづくりができています	64.6	26.6
	4-(50) 保育園、学童保育など、保育体制が充実している	69.4	22.3
	4-(51) 男性も子育てに参加できる環境づくりができています	42.7	45.9
4-(52) 小・中学校の施設・設備が充実している	63.2	25.6	
5 まちづくり行政の協働による	5-(53) 近隣の人たちと仲の良い生活ができています	⑥80.5	14.5
	5-(54) 公民館活動や区・組の活動などが活発である	67.8	24.9
	5-(55) 地域活動への住民参加の機会がたくさんある	65.2	26.8
	5-(56) 住民団体やNPOなどの育成・支援が充実している	49.5	38.0
	5-(57) 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	⑧78.5	15.7
	5-(58) 行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営が充実している	61.0	28.4
	5-(59) 町では、近隣市町村と連携した広域行政ができています	59.8	28.8
	5-(60) 町民が意見や要望を言える機会がある	44.7	⑩46.5
	5-(61) 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできています	70.6	23.9

図表 10-2 まちの各環境に関する満足度(全体)

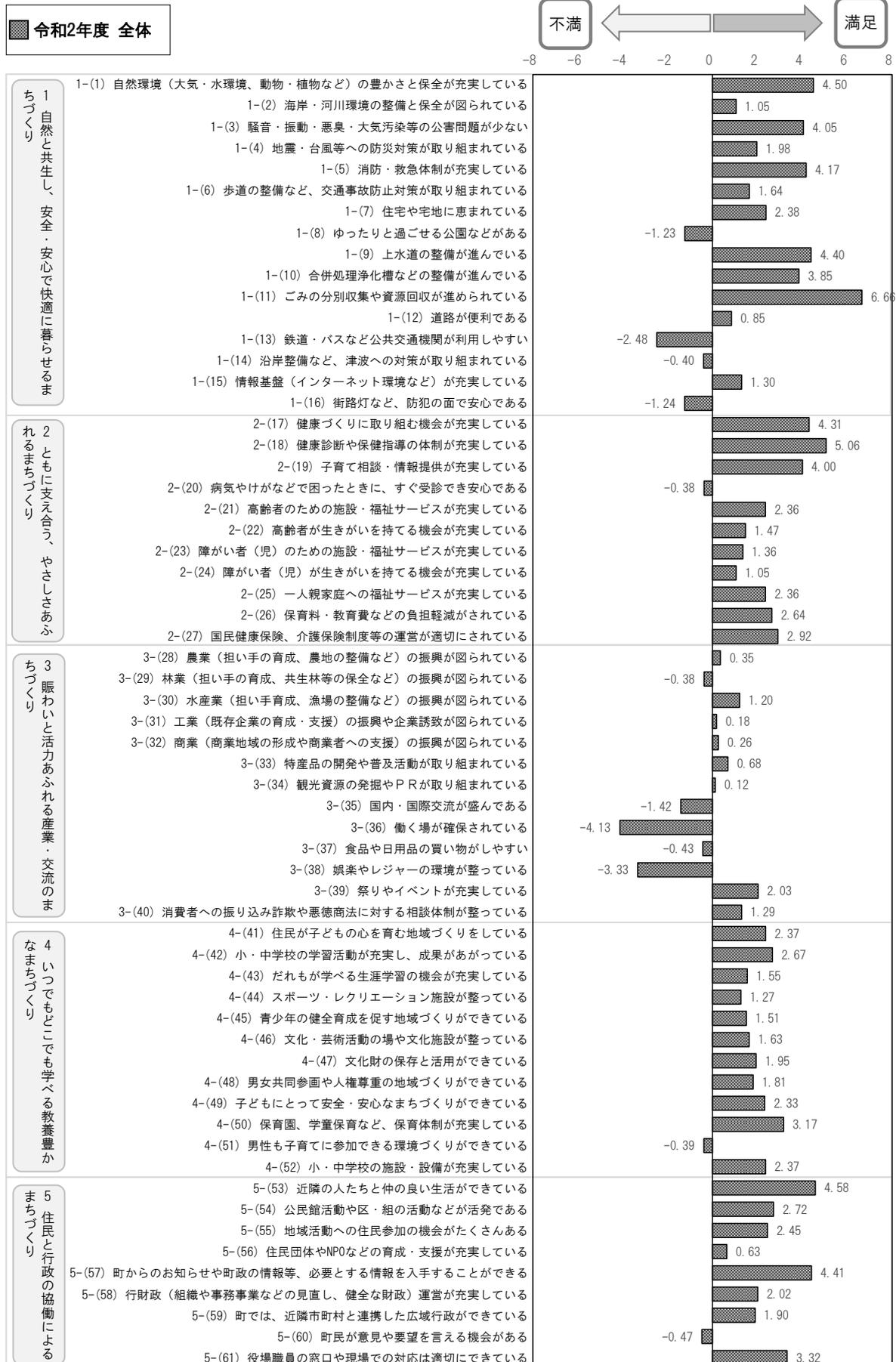
(令和2年/上位・下位10項目)

	満足度	不満度
第1位	1-(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている	3-(36) 働く場が確保されている
第2位	2-(18) 健康診断や保健指導の体制が充実している	3-(38) 娯楽やレジャーの環境が整っている
第3位	1-(1) 自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全が充実している	1-(13) 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい
第4位	1-(9) 上水道の整備が進んでいる	1-(8) ゆったりと過ごせる公園などがある ゆったりと過ごせる公園などがある
第5位	2-(17) 健康づくりに取り組む機会が充実している	1-(16) 街路灯など、防犯の面で安心である
第6位	5-(53) 近隣の人たちと仲の良い生活ができています	3-(35) 国内・国際交流が盛んである
第7位	1-(5) 消防・救急体制が充実している	2-(20) 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である
第8位	5-(57) 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	3-(37) 食品や日用品の買い物がしやすい
第9位	1-(10) 合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	1-(14) 沿岸整備など、津波への対策が取り組まれている
第10位	2-(19) 子育て相談・情報提供が充実している	5-(60) 町民が意見や要望を言える機会がある

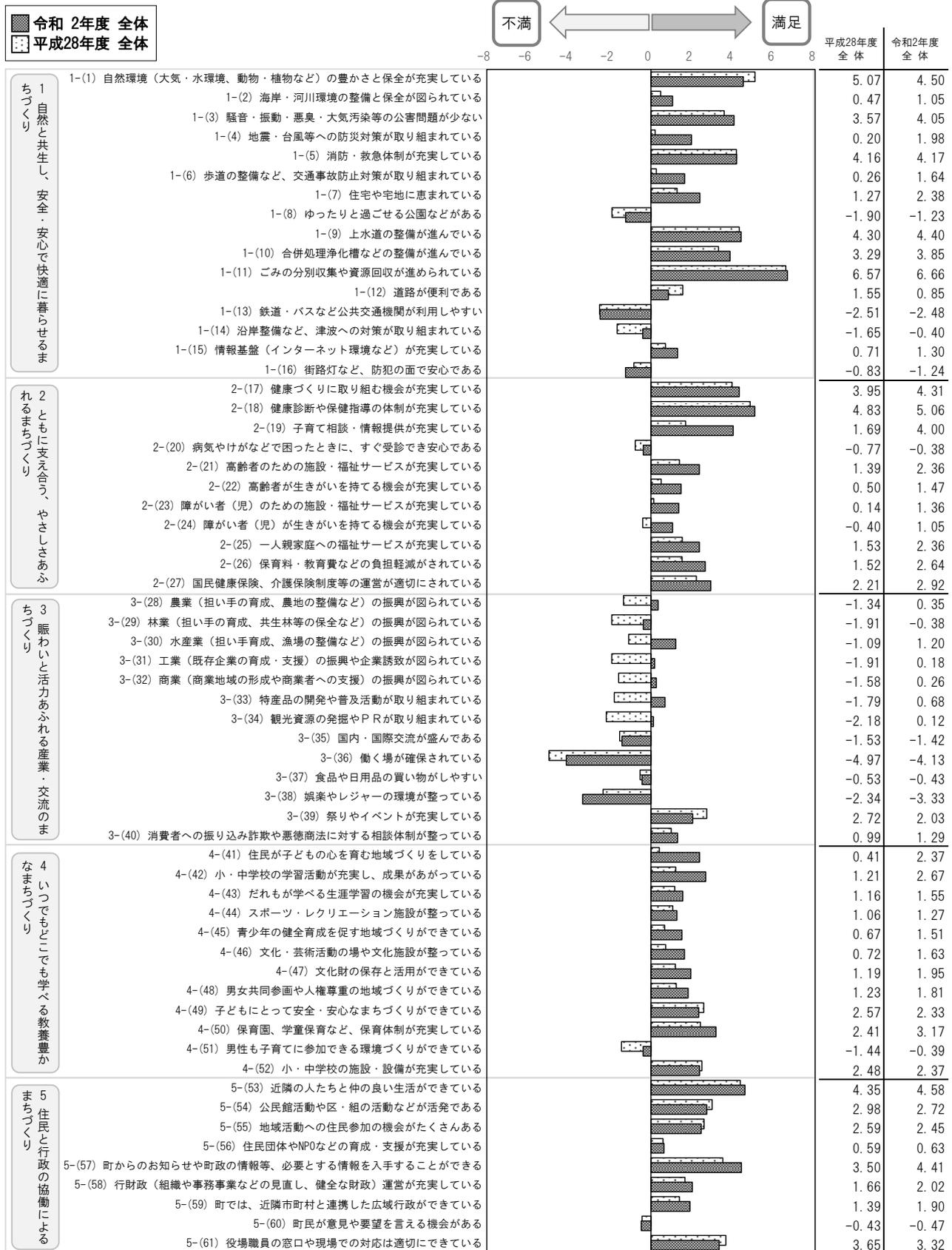
(平成28年/上位・下位10項目)

	満足度	不満度
第1位	2-⑨ ごみの分別収集や資源回収が進められている	1-⑤ 働く場が確保されている
第2位	5-② 健康診断や保健指導の体制が充実している	1-④ 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい
第3位	2-② 田園風景など景観が良い	4-⑥ 新規雇用・産業の創出
第4位	2-① 自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全	1-① 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい
第5位	3-② 消防・救急体制が整っている/8-① 近隣の人たちと仲の良い生活ができています	2-⑥ ゆったりと過ごせる公園などがある
第6位		4-⑦ 観光資源の発掘やPR/7-⑦ 娯楽やレジャーの環境が整っている
第7位	5-① 健康づくりに取り組む機会が充実している	
第8位	2-⑦ 上水道の整備が進んでいる	3-④ 沿岸整備など、津波への防災対策が整っている/4-② 林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興
第9位	9-③ 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできています	
第10位	2-⑧ 合併処理浄化槽などの整備が進んでいる/2-⑩ 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	2-⑤ 身近なところに子どもの遊び場や居場所がある

図表 10-3 まちの各環境に関する満足度評価点(全体)



図表 10-4 まちの各環境に関する満足度評価点の比較(全体)



設問比較(満足度・重要度)	
令和2年度	平成28年度
1 自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	
1-(1) 自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全が充実している	2-①自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全
1-(2) 海岸・河川環境の整備と保全が図られている	2-③海岸・河川環境の整備と保全
1-(3) 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	2-⑩騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない
1-(4) 地震・台風等への防災対策が取り組まれている	3-③地震・台風等への防災対策が整っている
1-(5) 消防・救急体制が充実している	3-②消防・救急体制が整っている
1-(6) 歩道の整備など、交通事故防止対策が取り組まれている	3-①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している
1-(7) 住宅や宅地に恵まれている	2-④住宅や宅地に恵まれている
1-(8) ゆったりと過ごせる公園などがある	2-⑥ゆったりと過ごせる公園などがある
1-(9) 上水道の整備が進んでいる	2-⑦上水道の整備が進んでいる
1-(10) 合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	2-⑧合併処理浄化槽などの整備が進んでいる
1-(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている	2-⑨ごみの分別収集や資源回収が進められている
1-(12) 道路が便利である	1-②道路が便利である
1-(13) 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	1-①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい
1-(14) 沿岸整備など、津波への対策が取り組まれている	3-④沿岸整備など、津波への防災対策が整っている
1-(15) 情報基盤(インターネット環境など)が充実している	1-⑥情報基盤(インターネット環境など)が充実している
1-(16) 街路灯など、防犯の面で安心である	3-⑤街路灯など、防犯の面で安心である
2 とともに支え合う、やさしさあふれるまちづくり	
2-(17) 健康づくりに取り組む機会が充実している	5-①健康づくりに取り組む機会が充実している
2-(18) 健康診断や保健指導の体制が充実している	5-②健康診断や保健指導の体制が充実している
2-(19) 子育て相談・情報提供が充実している	6-⑧子育て相談・情報提供が充実している
2-(20) 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	5-③病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である
2-(21) 高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	5-④高齢者のための施設・福祉サービスが充実している
2-(22) 高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	5-⑥高齢者が生きがいを持てる機会が充実している
2-(23) 障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している	5-⑤障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している
2-(24) 障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している	5-⑦障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している
2-(25) 一人親家庭への福祉サービスが充実している	6-⑨ひとり親家庭への福祉サービスが充実している
2-(26) 保育料・教育費などの負担軽減がされている	6-②保育料・教育費などの負担軽減がされている
2-(27) 国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	5-⑧国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている
3 賑わいと活力あふれる産業・交流のまちづくり	
3-(28) 農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興が図られている	4-①農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興
3-(29) 林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興が図られている	4-②林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興
3-(30) 水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興が図られている	4-③水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興
3-(31) 工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致が図られている	4-⑤工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致
3-(32) 商業(商業地域の形成や事業者への支援)の振興が図られている	4-④商業(商業地域の形成や事業者への支援)の振興
3-(33) 特産品の開発や普及活動が取り組まれている	4-⑧特産品の開発や普及活動
3-(34) 観光資源の発掘やPRが取り組まれている	4-⑦観光資源の発掘やPR
3-(35) 国内・国際交流が盛んである	8-⑦国内・国際交流が盛んである
3-(36) 働く場が確保されている	1-⑤働く場が確保されている
3-(37) 食品や日用品の買い物がしやすい	1-③食品や日用品の買い物がしやすい
3-(38) 娯楽やレジャーの環境が整っている	7-⑦娯楽やレジャーの環境が整っている
3-(39) 祭りやイベントが充実している	8-⑥祭りやイベントが充実している
3-(40) 消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている	3-⑥消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている

設問比較(満足度・重要度)	
令和2年度	平成28年度
4 いつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり	
4-(41) 住民が子どもの心を育む地域づくりをしている	6-③住民が子どもの心を育む地域づくりをしている
4-(42) 小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている	7-①小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている
4-(43) だれもが学べる生涯学習の機会が充実している	7-③誰も学べる生涯学習の機会が充実している
4-(44) スポーツ・レクリエーション施設が整っている	7-④スポーツ・レクリエーション施設が整っている
4-(45) 青少年の健全育成を促す地域づくりができている	7-⑨青少年の健全育成を促す地域づくりができている
4-(46) 文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	7-⑤文化・芸術活動の場や文化施設が整っている
4-(47) 文化財の保存と活用ができている	7-⑥文化財の保存と活用ができている
4-(48) 男女共同参画や人権尊重の地域づくりができている	9-⑥男女共同参画や人権尊重の地域づくりができている
4-(49) 子どもにとって安全・安心なまちづくりができている	6-①子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている
4-(50) 保育園、学童保育など、保育体制が充実している	6-④保育園、学童保育など、保育体制が充実している
4-(51) 男性も子育てに参加できる環境づくりができている	6-⑤男性も子育てに参加できる環境づくりができている
4-(52) 小・中学校の施設・設備が充実している	7-②小・中学校の施設・設備が充実している
5 住民と行政の協働によるまちづくり	
5-(53) 近隣の人たちと仲の良い生活ができている	8-①近隣の人たちと仲の良い生活ができている
5-(54) 公民館活動や区・組の活動などが活発である	8-②公民館活動や区・組の活動などが活発である
5-(55) 地域活動への住民参加の機会がたくさんある	8-③地域活動への住民参加の機会がたくさんある
5-(56) 住民団体やNPOなどの育成・支援が充実している	8-④住民団体やNPOなどの育成・支援が充実している
5-(57) 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	9-①町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる
5-(58) 行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営が充実している	9-④行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営
5-(59) 町では、近隣市町村と連携した広域行政ができている	9-⑤町では、近隣市町村と連携した広域行政ができている
5-(60) 町民が意見や要望を言える機会がある	9-②町民が意見や要望を言える機会がある
5-(61) 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている	9-③役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている

また、地区別の評価点をまとめると、以下のとおりとなります。

上位3項目について各地区をみると、いずれの地区でも第1位には「ごみの分別収集や資源回収が進められている」があげられています。また、第2位、第3位には「健康診断や保健指導の体制が充実している」「自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全」「騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない」「近隣の人たちと仲の良い生活ができています」があげられていますが、鶴殿地区では「町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる」が第3位にあげられています。

下位3項目について各地区をみると、いずれの地区でも第1位には「働く場が確保されている」が、第2位には「娯楽やレジャーの環境が整っている」があげられています。第3位には「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」があげられていますが、井田・神内地区では「ゆったりと過ごせる公園などがある」があげられています。[図表10-5]

図表 10-5 まちの各環境に関する満足度評価点
(全体・居住地区別)

【上位3項目】

(単位：評価点)

	第1位	第2位	第3位
全体	1-(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている 6.66	2-(18) 健康診断や保健指導の体制が充実している 5.06	5-(53) 近隣の人たちと仲の良い生活ができています 4.58
井田・神内地区	1-(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている 6.53	2-(18) 健康診断や保健指導の体制が充実している 5.16	5-(53) 近隣の人たちと仲の良い生活ができています 5.06
成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区	1-(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている 6.57	1-(1) 自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全が充実している 4.77	1-(3) 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない 4.65
大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区	1-(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている 6.64	1-(3) 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない 6.02	2-(18) 健康診断や保健指導の体制が充実している 5.95
鶴殿地区	1-(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている 6.99	2-(18) 健康診断や保健指導の体制が充実している 5.27	5-(57) 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる 5.25

【下位3項目】

(単位：評価点)

	第1位	第2位	第3位
全体	3-(36) 働く場が確保されている -4.13	3-(38) 娯楽やレジャーの環境が整っている -3.33	1-(13) 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい -2.48
井田・神内地区	3-(36) 働く場が確保されている -4.00	3-(38) 娯楽やレジャーの環境が整っている -3.45	1-(8) ゆったりと過ごせる公園などがある -2.69
成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区	3-(36) 働く場が確保されている -4.24	3-(38) 娯楽やレジャーの環境が整っている -3.40	1-(13) 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい -2.76
大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区	3-(36) 働く場が確保されている -4.91	3-(38) 娯楽やレジャーの環境が整っている -3.90	1-(13) 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい -3.49
鵜殿地区	3-(36) 働く場が確保されている -3.77	3-(38) 娯楽やレジャーの環境が整っている -2.96	1-(13) 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい -1.72

(2) まちの各環境に関する重要度

問 11 紀宝町の現在の状況(満足度)と今後のまちづくりにおける重要度についておたずねします。(B)今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。

- 重要度が最も高い項目は「地震・台風等への防災対策が取り組まれている」。次いで同率で「ごみの分別収集や資源回収が進められている」、「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」。

本町の各環境に関する町民の重要度について、重要度をたずねた 61 の設問項目の傾向を、“重要である”(「重要である」及び「やや重要である」の合計)、“重要ではない”(「あまり重要ではない」及び「重要ではない」の合計)にまとめ、その比率でみていくと、“重要である”の比率が高い項目としては、「地震・台風等への防災対策が取り組まれている」(92.8%)が第1位にあげられ、次いで第2位が同率で「ごみの分別収集や資源回収が進められている」「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」(92.0%)、第4位が「歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」(91.5%)と続き、以下同率で、「騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない」「消防・救急体制が充実している」「道路が便利である」(91.1%)があがっています。

[図表 11-1~2]

さらに、加重平均値〔後述参照〕による評価点(重要度：最高点 10 点、最低点-10 点)による結果をみると、評価点の最も高い項目は、「地震・台風等への防災対策が取り組まれている」(8.64 点)となっており、次いで「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」(8.10 点)、「沿岸整備など、津波への防災対策が整っている」(8.05 点)と続き、以下、「消防・救急体制が充実している」(7.92 点)、「働く場が確保されている」(7.77 点)、「街路灯など、防犯の面で安心である」(7.60 点)、「歩道の整備など、交通事故防止対策が取り組まれている」(7.53 点)の順となっています。

平成 28 年の調査における同様の項目と比べると、「自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり」では情報基盤の充実や防災対策、環境整備、公害問題等についての評価点が上がっています。「ともに支え合う、やさしさあふれるまちづくり」では子育て相談・情報提供についての評価点が上がっています。「賑わいと活力あふれる産業・交流のまちづくり」では買い物の利便性や国内・国際交流についての評価点が上がっています。「いつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり」では男性の子育て参加の環境づくりについての評価点が上がっています。「住民と行政の協働によるまちづくり」では役場職員の窓口での対応についての評価点が上がっています。[図表 11-3~4]

※加重平均値の算出方法※

4段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left[\begin{array}{l} \text{「重要である」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重要である」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重要ではない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重要ではない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right]}{\left[\begin{array}{l} \text{「重要である」、「やや重要である」、} \\ \text{「あまり重要ではない」、} \\ \text{「重要ではない」の回答者数} \end{array} \right]}$$

図表 11-1 まちの各環境に関する重要度(全体)

(単位：%)

設問		重要度
1 自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	1-(1) 自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全が充実している	⑨90.7
	1-(2) 海岸・河川環境の整備と保全が図られている	⑧90.9
	1-(3) 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	⑤91.1
	1-(4) 地震・台風等への防災対策が取り組まれている	①92.8
	1-(5) 消防・救急体制が充実している	⑤91.1
	1-(6) 歩道の整備など、交通事故防止対策が取り組まれている	④91.5
	1-(7) 住宅や宅地に恵まれている	82.7
	1-(8) ゆったりと過ごせる公園などがある	76.1
	1-(9) 上水道の整備が進んでいる	88.7
	1-(10) 合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	87.7
	1-(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている	②92.0
	1-(12) 道路が便利である	⑤91.1
	1-(13) 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	83.7
	1-(14) 沿岸整備など、津波への対策が取り組まれている	90.3
	1-(15) 情報基盤(インターネット環境など)が充実している	83.5
	1-(16) 街路灯など、防犯の面で安心である	86.3
2 まともに支え合っ、やさしさあふれる	2-(17) 健康づくりに取り組む機会が充実している	86.5
	2-(18) 健康診断や保健指導の体制が充実している	89.3
	2-(19) 子育て相談・情報提供が充実している	88.1
	2-(20) 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	②92.0
	2-(21) 高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	89.9
	2-(22) 高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	87.3
	2-(23) 障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している	89.3
	2-(24) 障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している	88.7
	2-(25) 一人親家庭への福祉サービスが充実している	84.7
	2-(26) 保育料・教育費などの負担軽減がされている	85.7
	2-(27) 国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	90.3
3 賑わいと活力あふれる産業・交流の	3-(28) 農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興が図られている	82.5
	3-(29) 林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興が図られている	81.3
	3-(30) 水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興が図られている	80.9
	3-(31) 工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致が図られている	82.9
	3-(32) 商業(商業地域の形成や商業者への支援)の振興が図られている	82.5
	3-(33) 特産品の開発や普及活動が取り組まれている	81.5
	3-(34) 観光資源の発掘やPRが取り組まれている	79.1
	3-(35) 国内・国際交流が盛んである	67.8
	3-(36) 働く場が確保されている	88.7
	3-(37) 食品や日用品の買い物がしやすい	⑨90.7
3-(38) 娯楽やレジャーの環境が整っている	72.6	

設問		重要度
	3-(39) 祭りやイベントが充実している	69.6
	3-(40) 消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている	83.5
4 まいつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり	4-(41) 住民が子どもの心を育む地域づくりをしている	85.3
	4-(42) 小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている	84.9
	4-(43) だれもが学べる生涯学習の機会が充実している	83.9
	4-(44) スポーツ・レクリエーション施設が整っている	80.1
	4-(45) 青少年の健全育成を促す地域づくりができています	82.1
	4-(46) 文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	77.7
	4-(47) 文化財の保存と活用ができています	74.4
	4-(48) 男女共同参画や人権尊重の地域づくりができています	79.1
	4-(49) 子どもにとって安全・安心なまちづくりができています	87.9
	4-(50) 保育園、学童保育など、保育体制が充実している	88.5
	4-(51) 男性も子育てに参加できる環境づくりができています	81.9
	4-(52) 小・中学校の施設・設備が充実している	85.5
5 まちづくりと行政の協働による住民と行政の協働による	5-(53) 近隣の人たちと仲の良い生活ができています	85.7
	5-(54) 公民館活動や区・組の活動などが活発である	75.5
	5-(55) 地域活動への住民参加の機会がたくさんある	71.6
	5-(56) 住民団体やNPOなどの育成・支援が充実している	68.2
	5-(57) 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	86.7
	5-(58) 行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営が充実している	82.3
	5-(59) 町では、近隣市町村と連携した広域行政ができています	80.3
	5-(60) 町民が意見や要望を言える機会がある	83.5
	5-(61) 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできています	89.5

図表 11-2 まちの各環境に関する重要度(全体)

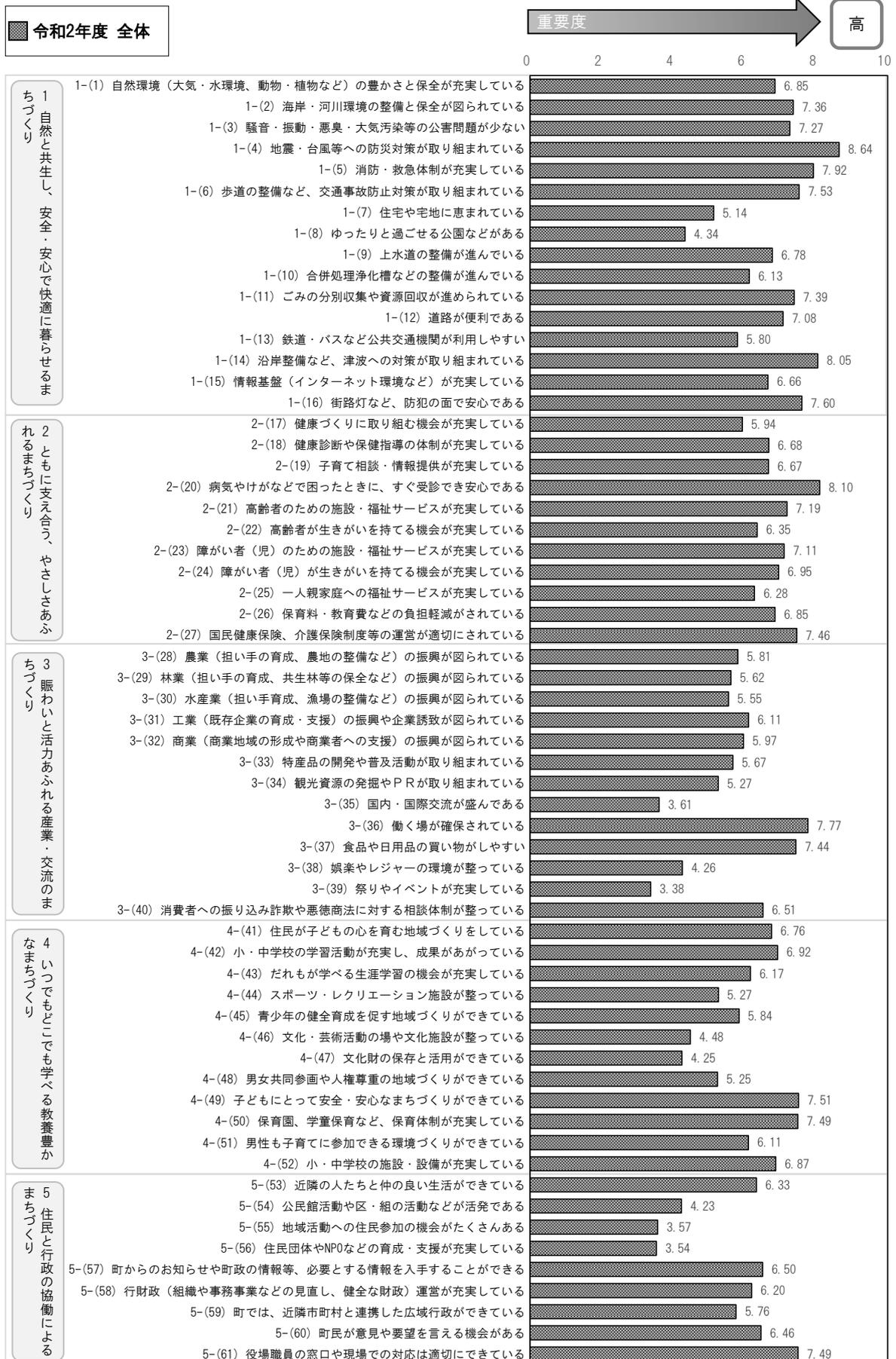
(令和2年/上位10項目)

	重要度
第1位	1-(4) 地震・台風等への防災対策が取り組まれている
第2位	1-(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている
	2-(20) 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である
第4位	1-(6) 歩道の整備など、交通事故防止対策が取り組まれている
第5位	1-(3) 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない
	1-(5) 消防・救急体制が充実している
	1-(12) 道路が便利である
第8位	1-(2) 海岸・河川環境の整備と保全が図られている
第9位	1-(1) 自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全が充実している
	3-(37) 食品や日用品の買い物がしやすい

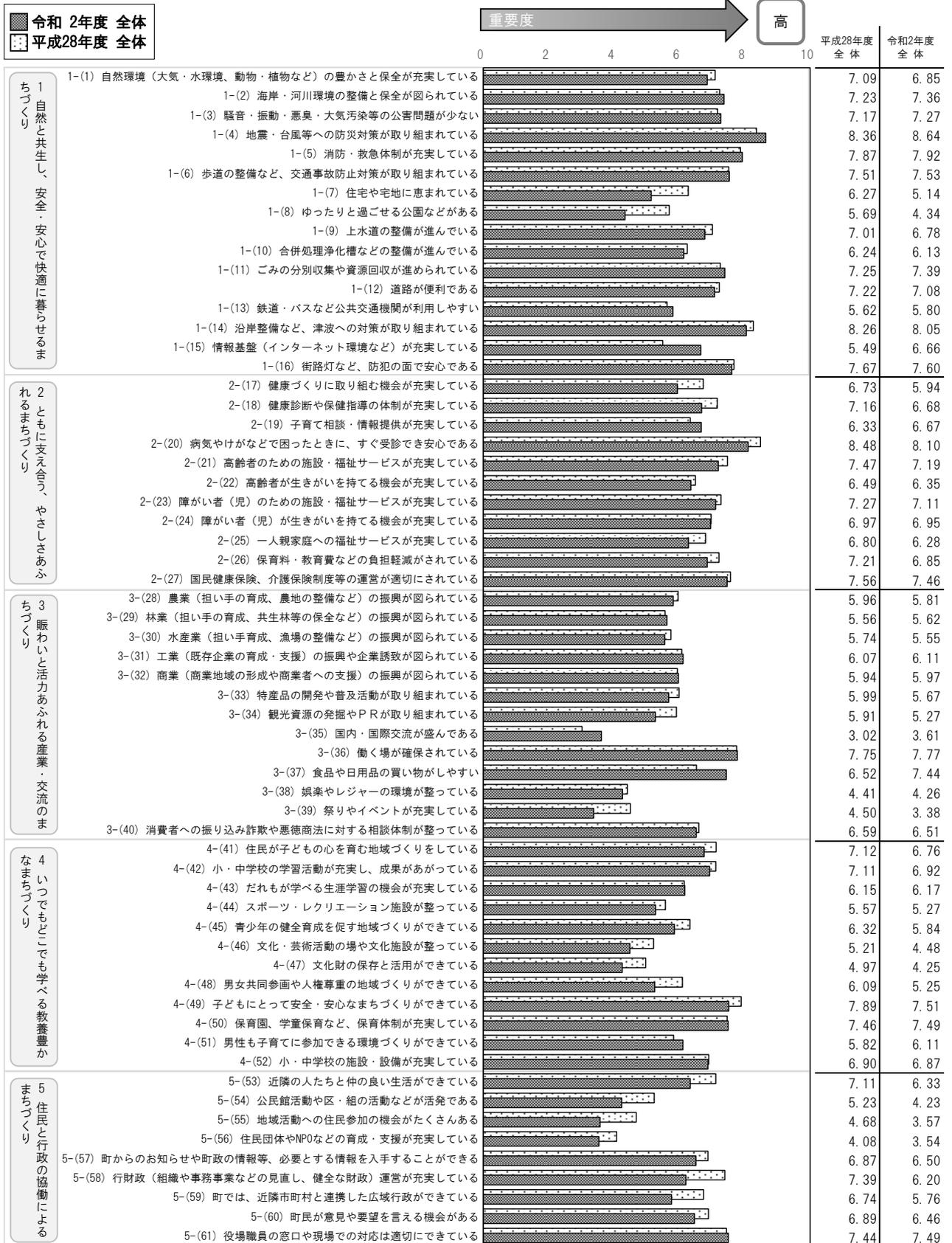
(平成28年/上位10項目)

	重要度
第1位	5-③ 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である
第2位	3-③ 地震・台風等への防災対策が整っている
第3位	3-① 歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している
	3-② 消防・救急体制が整っている
	3-④ 沿岸整備など、津波への防災対策が整っている
第6位	3-⑤ 街路灯など、防犯の面で安心である
第7位	5-④ 高齢者のための施設・福祉サービスが充実している
	9-③ 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている
第9位	5-⑧ 国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている
第10位	2-⑩ 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない

図表 11-3 まちの各環境に関する重要度評価点(全体)



図表 11-4 まちの各環境に関する重要度評価点の比較(全体)



設問比較(満足度・重要度)	
令和2年度	平成28年度
1 自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	
1-(1) 自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全が充実している	2-①自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全
1-(2) 海岸・河川環境の整備と保全が図られている	2-③海岸・河川環境の整備と保全
1-(3) 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	2-⑩騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない
1-(4) 地震・台風等への防災対策が取り組まれている	3-③地震・台風等への防災対策が整っている
1-(5) 消防・救急体制が充実している	3-②消防・救急体制が整っている
1-(6) 歩道の整備など、交通事故防止対策が取り組まれている	3-①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している
1-(7) 住宅や宅地に恵まれている	2-④住宅や宅地に恵まれている
1-(8) ゆったりと過ごせる公園などがある	2-⑥ゆったりと過ごせる公園などがある
1-(9) 上水道の整備が進んでいる	2-⑦上水道の整備が進んでいる
1-(10) 合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	2-⑧合併処理浄化槽などの整備が進んでいる
1-(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている	2-⑨ごみの分別収集や資源回収が進められている
1-(12) 道路が便利である	1-②道路が便利である
1-(13) 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	1-①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい
1-(14) 沿岸整備など、津波への対策が取り組まれている	3-④沿岸整備など、津波への防災対策が整っている
1-(15) 情報基盤(インターネット環境など)が充実している	1-⑥情報基盤(インターネット環境など)が充実している
1-(16) 街路灯など、防犯の面で安心である	3-⑤街路灯など、防犯の面で安心である
2 とともに支え合う、やさしさあふれるまちづくり	
2-(17) 健康づくりに取り組む機会が充実している	5-①健康づくりに取り組む機会が充実している
2-(18) 健康診断や保健指導の体制が充実している	5-②健康診断や保健指導の体制が充実している
2-(19) 子育て相談・情報提供が充実している	6-⑧子育て相談・情報提供が充実している
2-(20) 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	5-③病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である
2-(21) 高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	5-④高齢者のための施設・福祉サービスが充実している
2-(22) 高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	5-⑥高齢者が生きがいを持てる機会が充実している
2-(23) 障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している	5-⑤障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している
2-(24) 障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している	5-⑦障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している
2-(25) 一人親家庭への福祉サービスが充実している	6-⑨ひとり親家庭への福祉サービスが充実している
2-(26) 保育料・教育費などの負担軽減がされている	6-②保育料・教育費などの負担軽減がされている
2-(27) 国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	5-⑧国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている
3 賑わいと活力あふれる産業・交流のまちづくり	
3-(28) 農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興が図られている	4-①農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興
3-(29) 林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興が図られている	4-②林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興
3-(30) 水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興が図られている	4-③水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興
3-(31) 工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致が図られている	4-⑤工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致
3-(32) 商業(商業地域の形成や事業者への支援)の振興が図られている	4-④商業(商業地域の形成や事業者への支援)の振興
3-(33) 特産品の開発や普及活動が取り組まれている	4-⑧特産品の開発や普及活動
3-(34) 観光資源の発掘やPRが取り組まれている	4-⑦観光資源の発掘やPR
3-(35) 国内・国際交流が盛んである	8-⑦国内・国際交流が盛んである
3-(36) 働く場が確保されている	1-⑤働く場が確保されている
3-(37) 食品や日用品の買い物がしやすい	1-③食品や日用品の買い物がしやすい
3-(38) 娯楽やレジャーの環境が整っている	7-⑦娯楽やレジャーの環境が整っている
3-(39) 祭りやイベントが充実している	8-⑥祭りやイベントが充実している
3-(40) 消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている	3-⑥消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている

設問比較(満足度・重要度)	
令和2年度	平成28年度
4 いつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり	
4-(41) 住民が子どもの心を育む地域づくりをしている	6-③住民が子どもの心を育む地域づくりをしている
4-(42) 小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている	7-①小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている
4-(43) だれもが学べる生涯学習の機会が充実している	7-③誰も学べる生涯学習の機会が充実している
4-(44) スポーツ・レクリエーション施設が整っている	7-④スポーツ・レクリエーション施設が整っている
4-(45) 青少年の健全育成を促す地域づくりができている	7-⑨青少年の健全育成を促す地域づくりができている
4-(46) 文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	7-⑤文化・芸術活動の場や文化施設が整っている
4-(47) 文化財の保存と活用ができている	7-⑥文化財の保存と活用ができている
4-(48) 男女共同参画や人権尊重の地域づくりができている	9-⑥男女共同参画や人権尊重の地域づくりができている
4-(49) 子どもにとって安全・安心なまちづくりができている	6-①子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている
4-(50) 保育園、学童保育など、保育体制が充実している	6-④保育園、学童保育など、保育体制が充実している
4-(51) 男性も子育てに参加できる環境づくりができている	6-⑤男性も子育てに参加できる環境づくりができている
4-(52) 小・中学校の施設・設備が充実している	7-②小・中学校の施設・設備が充実している
5 住民と行政の協働によるまちづくり	
5-(53) 近隣の人たちと仲の良い生活ができている	8-①近隣の人たちと仲の良い生活ができている
5-(54) 公民館活動や区・組の活動などが活発である	8-②公民館活動や区・組の活動などが活発である
5-(55) 地域活動への住民参加の機会がたくさんある	8-③地域活動への住民参加の機会がたくさんある
5-(56) 住民団体やNPOなどの育成・支援が充実している	8-④住民団体やNPOなどの育成・支援が充実している
5-(57) 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	9-①町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる
5-(58) 行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営が充実している	9-④行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営
5-(59) 町では、近隣市町村と連携した広域行政ができている	9-⑤町では、近隣市町村と連携した広域行政ができている
5-(60) 町民が意見や要望を言える機会がある	9-②町民が意見や要望を言える機会がある
5-(61) 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている	9-③役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている

また、地区別の上位項目をまとめると、以下のとおりとなります。

上位3項目について各地区をみると、第1位はいずれの地区でも「地震・台風等への防災対策が取り組まれている」があげられています。また、第2位、第3位は「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」「沿岸整備など、津波への防災対策が整っている」「消防・救急体制が充実している」があげられていますが、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区では「小・中学校の施設・設備が充実している」があげられています。防災や医療、子育て環境への高い関心がうかがえます。

[図表 11-5]

図表 11-5 まちの各環境に関する重要度評価点
(全体・居住地区別)

【上位3項目】

(単位：評価点)

	第1位	第2位	第3位
全体	1-(4) 地震・台風等への 防災対策が取り組ま れている 8.64	2-(20) 病気やけがなど で困ったときに、すぐ受 診でき安心である 8.10	1-(14) 沿岸整備など、 津波への対策が取り組 まれている 8.05
井田・神内 地区	1-(4) 地震・台風等への 防災対策が取り組ま れている 8.72	2-(20) 病気やけがなど で困ったときに、すぐ受 診でき安心である 8.18	1-(14) 沿岸整備など、 津波への対策が取り組 まれている / 1-(5) 消 防・救急体制が充実して いる 8.09
成川・鮎 田・高岡・ 北檜杖・瀬 原・浅里地 区	1-(4) 地震・台風等への 防災対策が取り組ま れている 8.67	2-(20) 病気やけがなど で困ったときに、すぐ受 診でき安心であ 8.10	1-(5) 消防・救急体制が 充実している 7.87
大里・井 内・平尾 井・阪松 原・桐原地 区	1-(4) 地震・台風等への 防災対策が取り組ま れている 8.39	2-(20) 病気やけがなど で困ったときに、すぐ受 診でき安心である 7.94	4-(52) 小・中学校の施 設・設備が充実している 7.86
鵜殿地区	1-(4) 地震・台風等への 防災対策が取り組ま れている 8.75	1-(14) 沿岸整備など、 津波への対策が取り組 まれている 8.48	2-(20) 病気やけがなど で困ったときに、すぐ受 診でき安心である 8.14

(3) 満足度と重要度の相関(優先度)

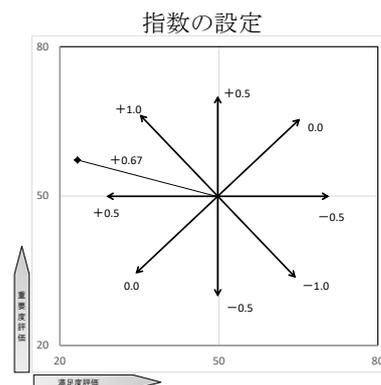
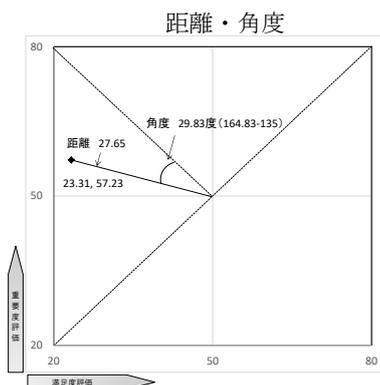
- 優先度が最も高い項目は「働く場が確保されている」。次いで「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」、「食品や日用品の買い物がしやすい」の順。

これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するためのひとつの試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。この散布図からの数量化〔下記参照〕による分析で優先度を算出しました。

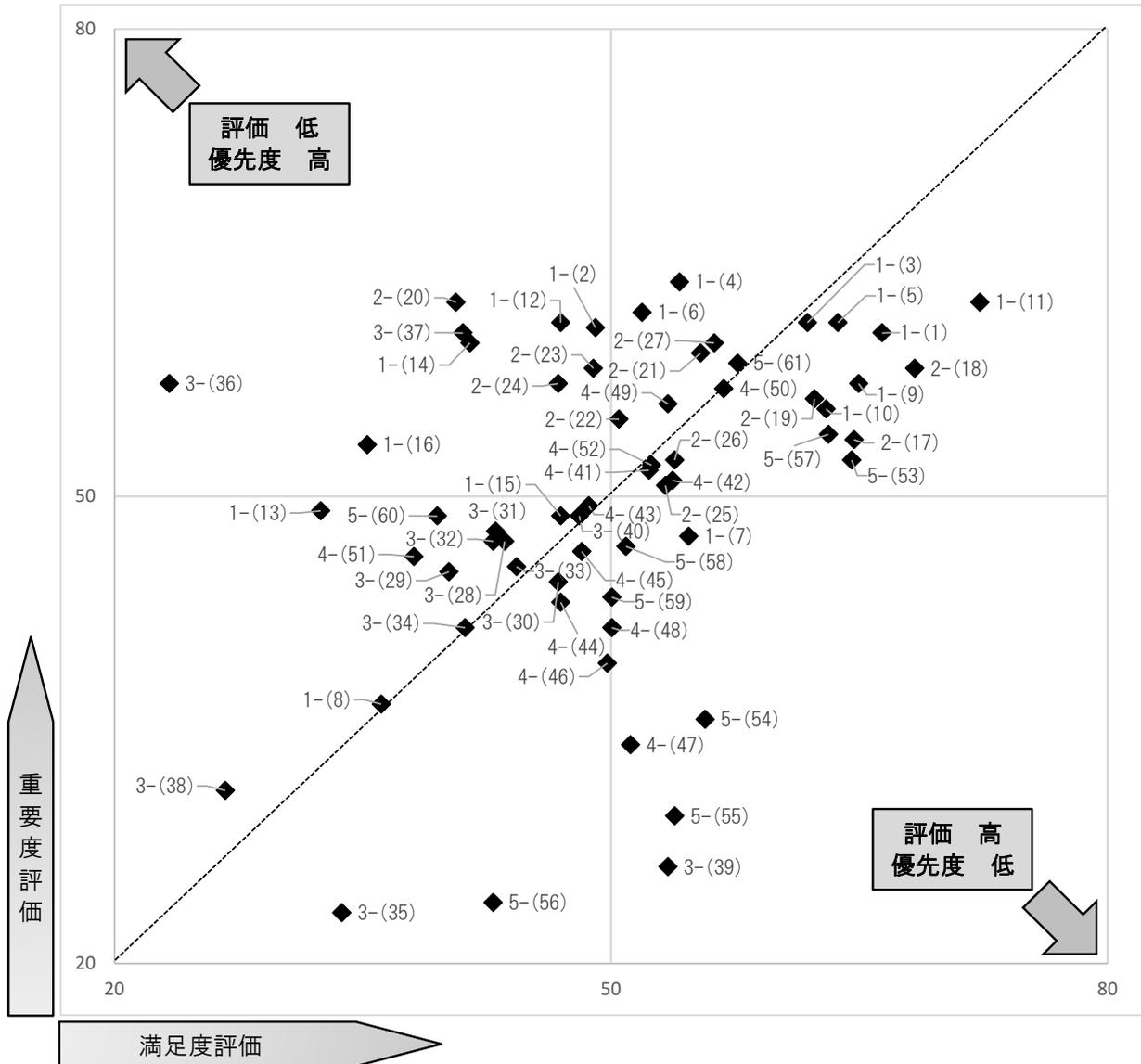
この結果をみると、優先度は、「働く場が確保されている」(18.48点)が第1位となっており、次いで「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」(14.20点)、「食品や日用品の買い物がしやすい」(13.11点)が続き、以下、「沿岸整備など、津波への対策が取り組まれている」(12.44点)、「街路灯など、防犯の面で安心である」(9.67点)、「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」(8.19点)、「道路が便利である」(7.74点)などの順となっています。〔図表 12-1~4〕

※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例：「3-(36)働く場が確保されている」→満足度偏差値 23.31…、重要度偏差値 57.23…
- ② ①で算出した偏差値から平均(中心)からの距離を算出する。
例：「3-(36)働く場が確保されている」→ $27.65\dots = \sqrt{(23.31-50)^2 + (57.23-50)^2}$
- ③ 平均(中心)から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均(中心)から各項目への線の角度を求める。
例：「3-(36)働く場が確保されている」→164.83度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する(指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる)。
例：「3-(36)働く場が確保されている」→ $0.67 = (90-164.83) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均(中心)からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。
例：「3-(36)働く場が確保されている」→ $18.48 = 27.65\dots \times 0.67\dots$



図表 12-1 満足度と重要度の相関(全体/優先度)



図表 12-2 優先度(全体)

(単位：評価点)

設問		優先度	順位
1 自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	1-(1) 自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全が充実している	-2.66	
	1-(2) 海岸・河川環境の整備と保全が図られている	6.03	9位
	1-(3) 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	-0.32	
	1-(4) 地震・台風等への防災対策が取り組まれている	4.52	
	1-(5) 消防・救急体制が充実している	-1.15	
	1-(6) 歩道の整備など、交通事故防止対策が取り組まれている	4.78	
	1-(7) 住宅や宅地に恵まれている	-4.38	
	1-(8) ゆったりと過ごせる公園などがある	0.24	
	1-(9) 上水道の整備が進んでいる	-3.55	
	1-(10) 合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	-3.41	
	1-(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている	-4.48	
	1-(12) 道路が便利である	7.74	7位
	1-(13) 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	8.19	6位
	1-(14) 沿岸整備など、津波への対策が取り組まれている	12.44	4位
	1-(15) 情報基盤(インターネット環境など)が充実している	0.83	
	1-(16) 街路灯など、防犯の面で安心である	9.67	5位
2 ともに支え合う、やさしさあふれるまちづくり	2-(17) 健康づくりに取り組む機会が充実している	-5.22	
	2-(18) 健康診断や保健指導の体制が充実している	-4.66	
	2-(19) 子育て相談・情報提供が充実している	-2.76	
	2-(20) 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	14.20	2位
	2-(21) 高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	1.73	
	2-(22) 高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	2.18	
	2-(23) 障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している	4.83	10位
	2-(24) 障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している	6.04	8位
	2-(25) 一人親家庭への福祉サービスが充実している	-1.23	
	2-(26) 保育料・教育費などの負担軽減がされている	-0.69	
	2-(27) 国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	1.64	
3 賑わいと活力あふれる産業・交流のまちづくり	3-(28) 農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興が図られている	1.63	
	3-(29) 林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興が図られている	2.27	
	3-(30) 水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興が図られている	-1.05	
	3-(31) 工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致が図られている	2.22	
	3-(32) 商業(商業地域の形成や事業者への支援)の振興が図られている	1.96	
	3-(33) 特産品の開発や普及活動が取り組まれている	0.54	
	3-(34) 観光資源の発掘やPRが取り組まれている	0.17	
	3-(35) 国内・国際交流が盛んである	-4.75	
	3-(36) 働く場が確保されている	18.48	1位
	3-(37) 食品や日用品の買い物がしやすい	13.11	3位
	3-(38) 娯楽やレジャーの環境が整っている	1.99	

設問		優先度	順位
	3-(39) 祭りやイベントが充実している	-14.21	
	3-(40) 消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている	0.30	
4 まいつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり	4-(41) 住民が子どもの心を育む地域づくりをしている	-0.28	
	4-(42) 小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている	-1.26	
	4-(43) だれもが学べる生涯学習の機会が充実している	0.35	
	4-(44) スポーツ・レクリエーション施設が整っている	-1.73	
	4-(45) 青少年の健全育成を促す地域づくりができています	-0.81	
	4-(46) 文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	-5.22	
	4-(47) 文化財の保存と活用ができています	-8.75	
	4-(48) 男女共同参画や人権尊重の地域づくりができています	-4.25	
	4-(49) 子どもにとって安全・安心なまちづくりができています	1.14	
	4-(50) 保育園、学童保育など、保育体制が充実している	0.05	
	4-(51) 男性も子育てに参加できる環境づくりができています	3.76	
4-(52) 小・中学校の施設・設備が充実している	-0.20		
5 まちづくりと行政の協働による住民と行政の協働による	5-(53) 近隣の人たちと仲の良い生活ができています	-5.87	
	5-(54) 公民館活動や区・組の活動などが活発である	-11.40	
	5-(55) 地域活動への住民参加の機会がたくさんある	-12.91	
	5-(56) 住民団体やNPOなどの育成・支援が充実している	-8.93	
	5-(57) 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	-4.30	
	5-(58) 行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営が充実している	-2.24	
	5-(59) 町では、近隣市町村と連携した広域行政ができています	-3.27	
	5-(60) 町民が意見や要望を言える機会がある	4.49	
	5-(61) 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできています	0.40	

図表 12-3 優先度(全体)

【上位 10 項目】

(単位：評価点)

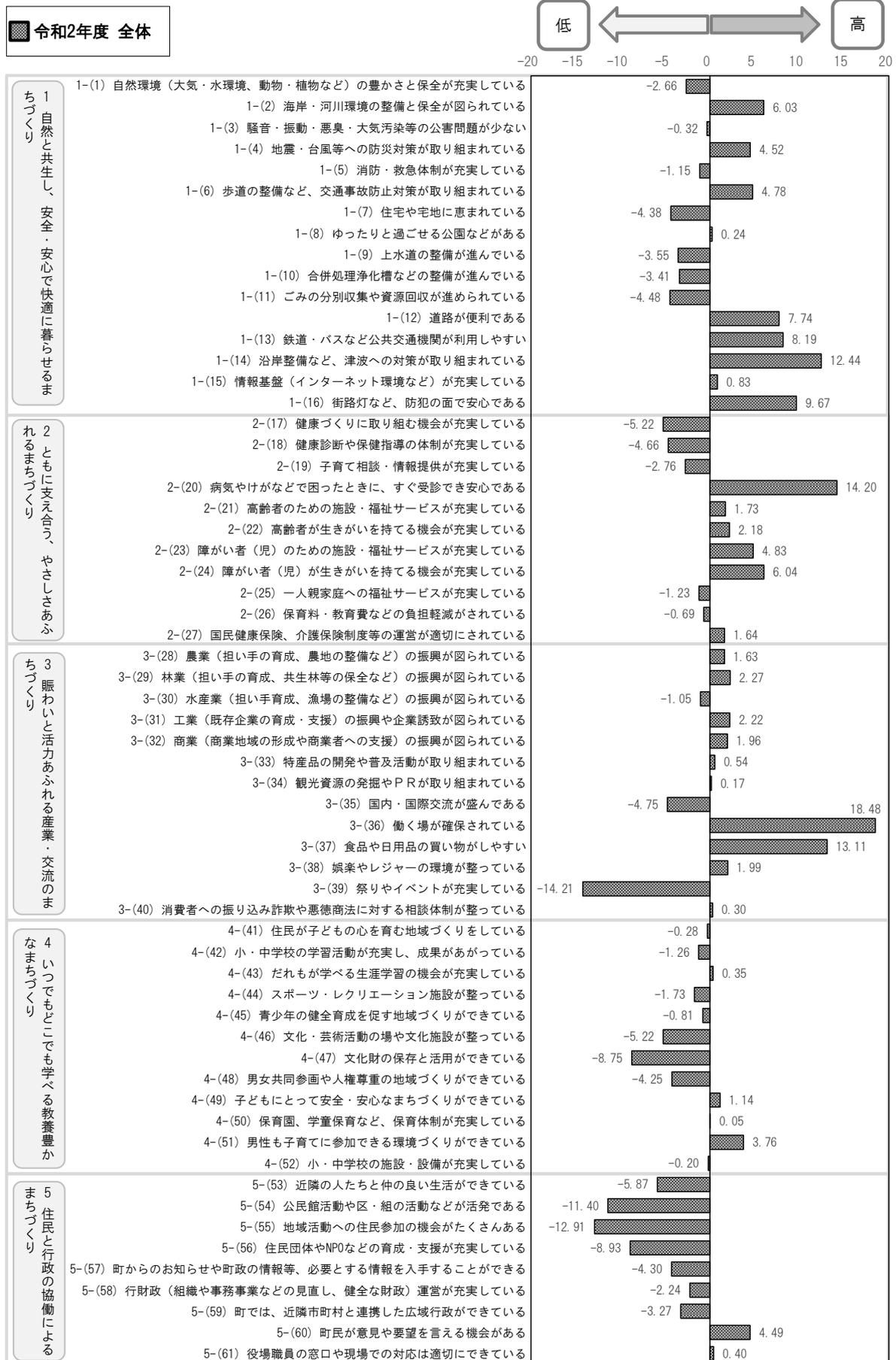
	優 先 度	評価点
第 1 位	3-(36)働く場が確保されている	18.48
第 2 位	2-(20)病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	14.20
第 3 位	3-(37)食品や日用品の買い物がしやすい	13.11
第 4 位	1-(14)沿岸整備など、津波への対策が取り組まれている	12.44
第 5 位	1-(16)街路灯など、防犯の面で安心である	9.67
第 6 位	1-(13)鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	8.19
第 7 位	1-(12)道路が便利である	7.74
第 8 位	2-(24)障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している	6.04
第 9 位	1-(2)海岸・河川環境の整備と保全が図られている	6.03
第 10 位	2-(23)障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している	4.83

【下位 10 項目】

(単位：評価点)

	優 先 度	評価点
第 1 位	3-(39)祭りやイベントが充実している	-14.21
第 2 位	5-(55)地域活動への住民参加の機会がたくさんある	-12.91
第 3 位	5-(54)公民館活動や区・組の活動などが活発である	-11.40
第 4 位	5-(56)住民団体や NPO などの育成・支援が充実している	-8.93
第 5 位	4-(47)文化財の保存と活用ができています	-8.75
第 6 位	5-(53)近隣の人たちと仲の良い生活ができています	-5.87
第 7 位	2-(17)健康づくりに取り組む機会が充実している	-5.22
第 8 位	4-(46)文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	-5.22
第 9 位	3-(35)国内・国際交流が盛んである	-4.75
第 10 位	2-(18)健康診断や保健指導の体制が充実している	-4.66

図表 12-4 満足度と重要度の相関(全体/優先度)



11 あなたの生活や地域のことについて

問 12 あなたの生活や地域のことについて、おたずねします。
この1年くらいのことをふりかえってみてお答えください。(1つに○印)

1) 町が指定する避難場所や地域で決めている避難場所を知っていますか。



● 町か地域指定の避難場所を知っている人は8割超え。

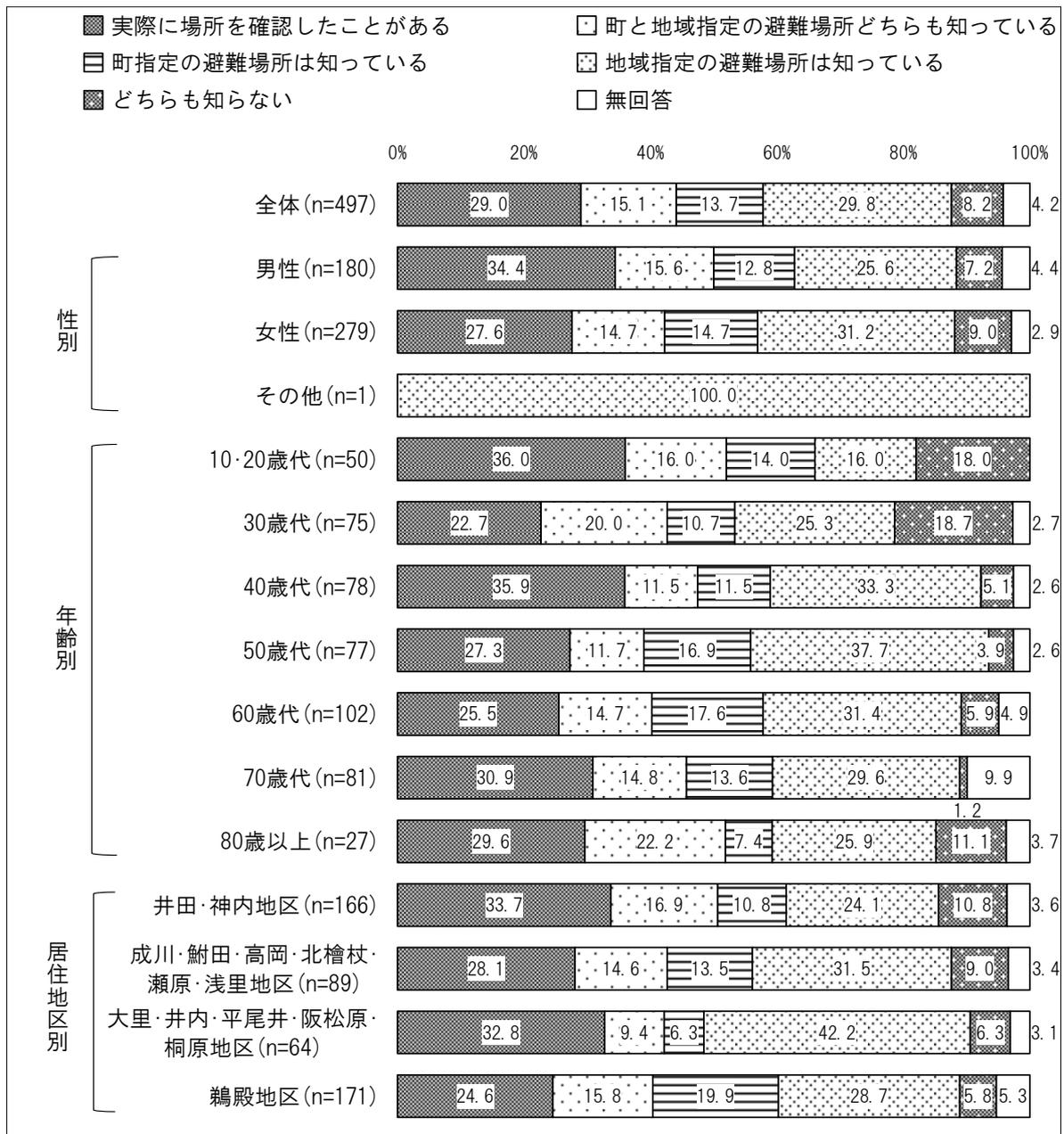
町が指定する避難場所や地域で決めている避難場所を知っているかどうかについては、「地域指定の避難場所は知っている」(29.8%)が第1位、次いで「実際に場所を確認したことがある」(29.0%)、「町と地域指定の避難場所どちらも知っている」(15.1%)、「町指定の避難場所は知っている」(13.7%)の順となっており、何らかのかたちで町か地域指定の避難場所を知っている人は8割を超えています。一方、「どちらも知らない」は8.2%となっています。

性別でみると、男性では第1位が「実際に場所を確認したことがある」、女性では「地域指定の避難場所は知っている」となっています。男女ともに町か地域指定の避難場所を知っている人は8割を超えており差はほとんどありません。一方、「どちらも知らない」は女性(9.0%)が男性(7.2%)を若干上回っています。

年齢別でみると、10・20歳代と40歳代、70歳代、80歳以上では「実際に場所を確認したことがある」が第1位になっており、その他の年齢では全体と同じく「地域指定の避難場所は知っている」が第1位となっています。また、町か地域指定の避難場所を知っている人は40歳代と50歳代で9割を超えています。一方、「どちらも知らない」は10・20歳代では18.0%、30歳代では18.7%となっています。

居住地区別にみると、井田・神内地区では「実際に場所を確認したことがある」が第1位になっており、その他の地区では全体と同じく「地域指定の避難場所は知っている」が第1位となっています。また、町か地域指定の避難場所を知っている人は大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区で9割を超えています。[図表 13]

図表 13 町が指定する避難場所や地域で決めている避難場所の認知度
(全体・性別・年齢別・居住地区別)



2) 災害時の備蓄品、持ち出し物を準備していますか。

● 災害時の備蓄品、持ち出し物を準備している人は 34.6%。

災害時の備蓄品、持ち出し物を準備しているかどうかについては、「準備している」が 34.6%となっており、「準備しようと思っている」が 32.6%、「準備していない」が 27.0%、「必要ないと思っている」が 0.8%、「準備品がわからない」が 1.6%となっています。

性別でみると、女性では「準備している」が 39.4%と、「男性」(31.1%)を 8.3 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「準備している」では、全体と比較して 40 歳代が 43.6%と特に高くなっており、10・20 歳代、50 歳代で低くなっています。

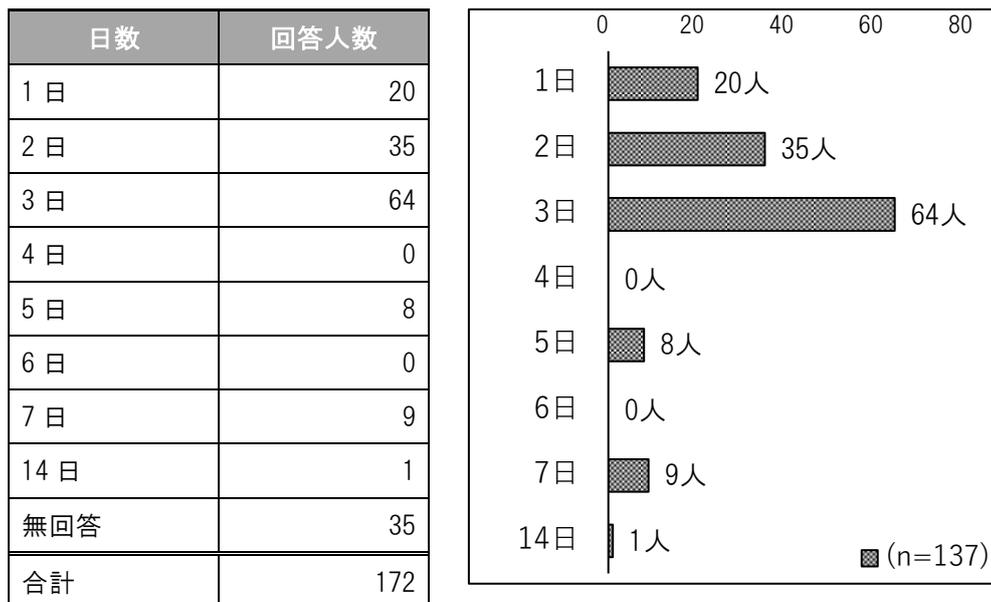
世帯構成別でみると、「準備している」では、全体と比較して夫婦(子どもなし)が 40.3%と特に高く、単身が 21.1%と低くなっています。

居住地区別にみると、「準備している」では、全体と比較して井田・神内地区と成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区が高くなっています。[図表 14-2]

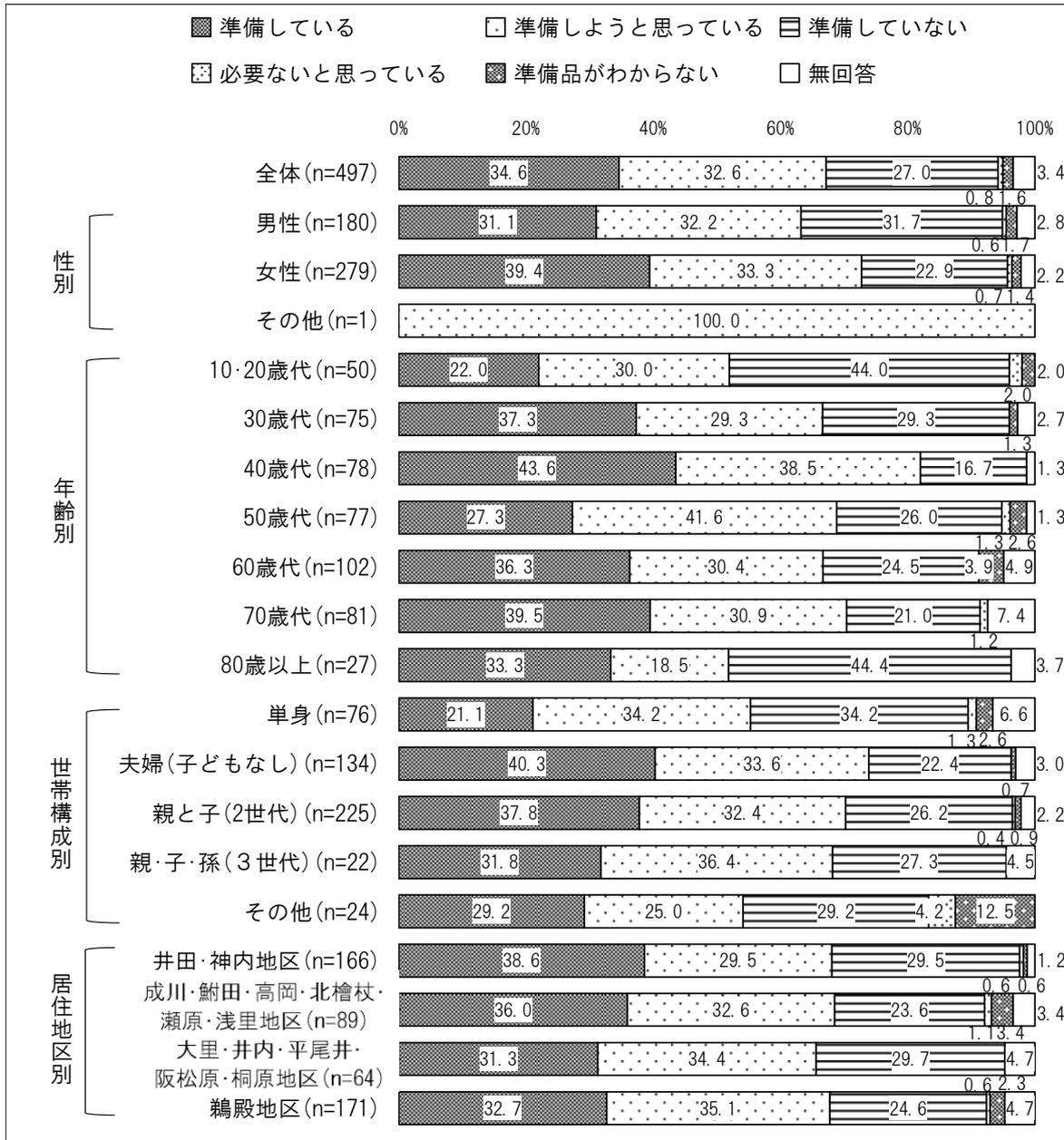
また、「準備している」と答えた 172 人の方を対象に災害時の備蓄品、持ち出し物を準備している日数をたずねました。(172 人の内、回答者は 137 人/無回答者は 35 人)

回答者 137 人の準備日数は、3 日分が 64 人と最も多く、最大日数は 14 日分、最小日数は 1 日分、平均は 2.91 日分となっています。[図表 14-1]

図表 14-1 災害時の備蓄品等を準備している日数(137 人対象)



図表 14-2 災害時の備蓄品、持ち出し物を準備
(全体・性別・年齢別・世帯構成別・居住地区別)



3) 電気のムダ使いを気にかけるなど、環境に配慮していますか。

● 電気のムダ使いを気にかけるなど、環境に配慮している人は 68.2%。

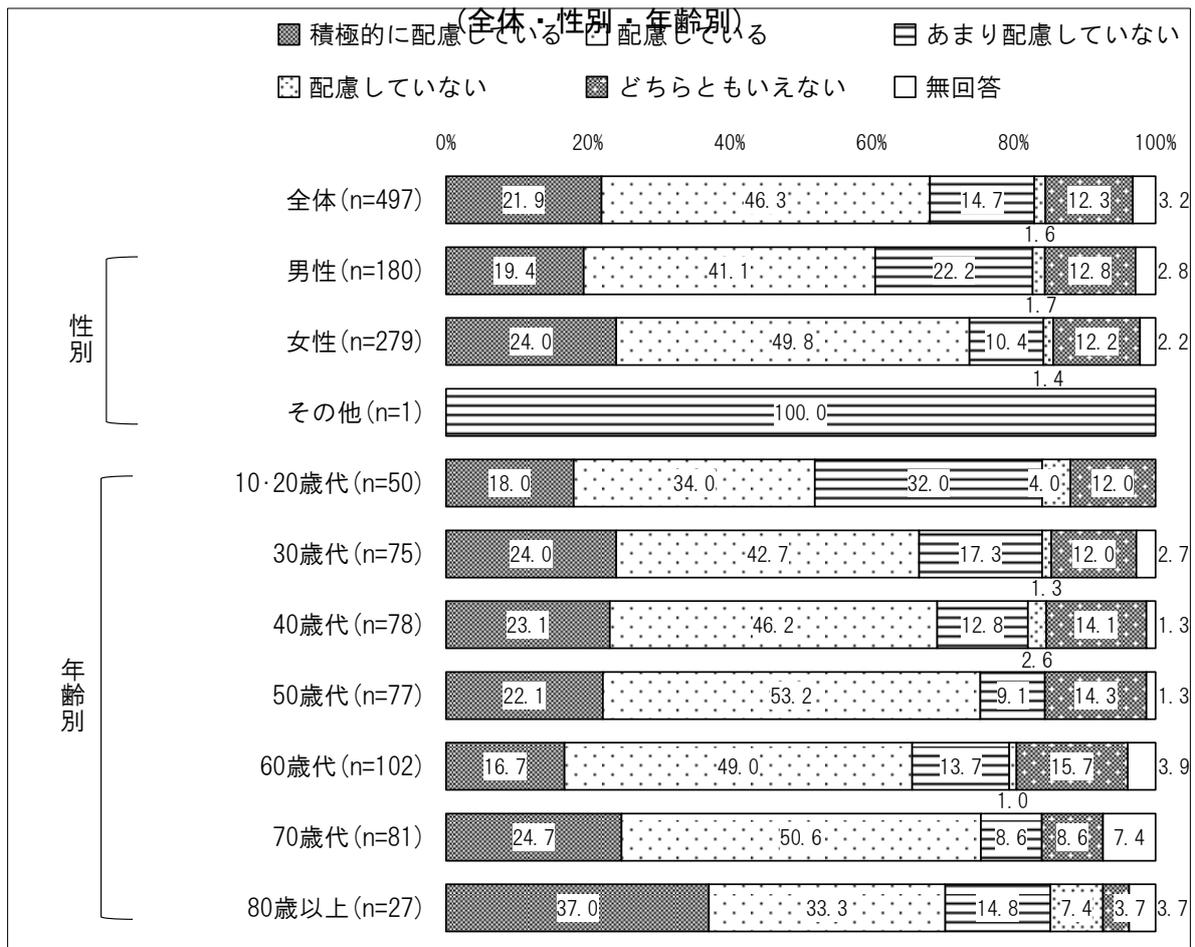
電気のムダ使いを気にかけるなど、環境に配慮しているかどうかについては、「積極的に配慮している」、「配慮している」をあわせて 68.2%、「あまり配慮していない」、「配慮していない」をあわせて 16.3%、「どちらともいえない」が 12.3%となっています。

性別でみると、「積極的に配慮している」、「配慮している」をあわせた割合は、女性が 73.8%と、男性(60.5%)を 13.3 ポイント上回っています。

年齢別でみると、「積極的に配慮している」、「配慮している」をあわせた割合は、50歳代、70歳代で 75%を超えて高くなっており、10・20歳代が 52.0%と低くなっています。

[図表 15]

図表 15 電気のムダ使いを気にかけるなど、環境への配慮



4) 製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいますか。

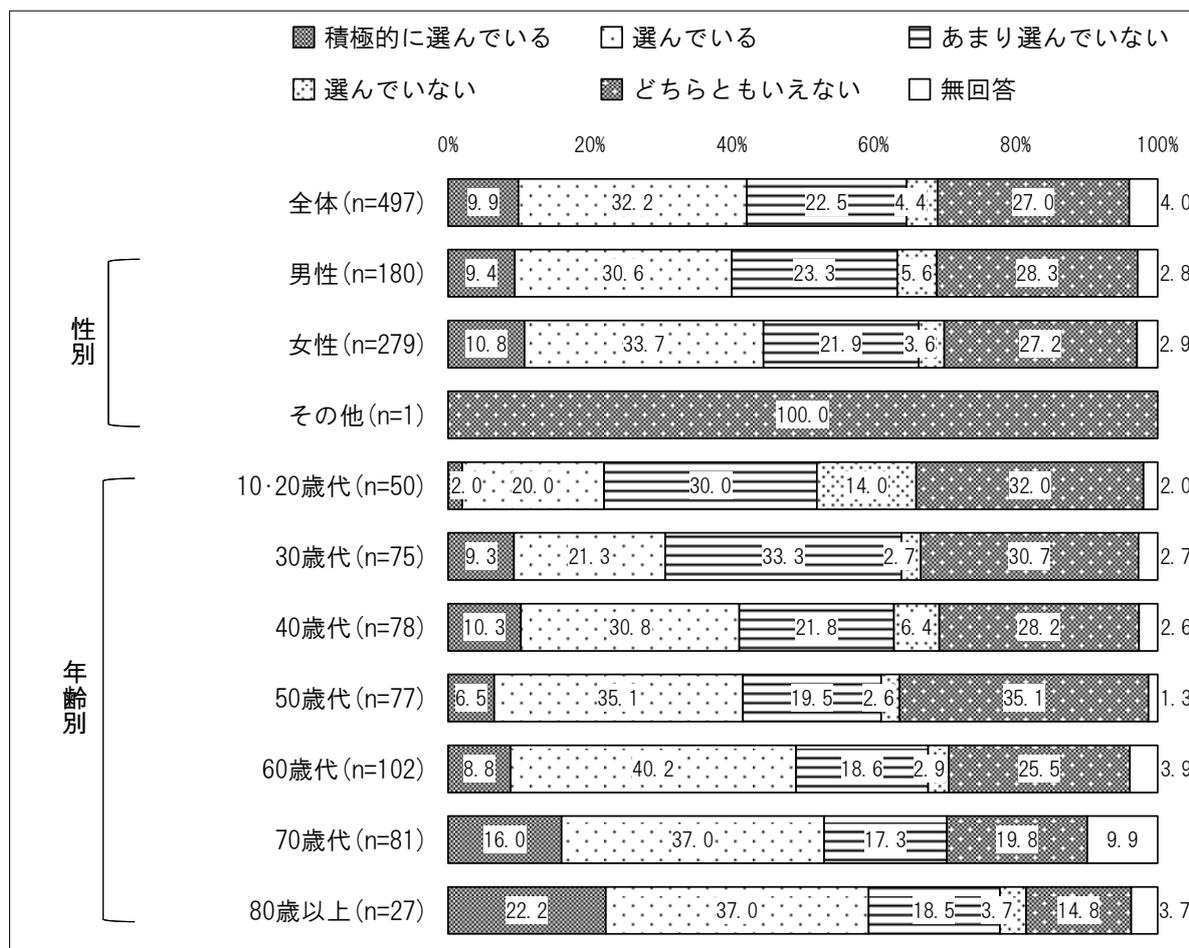
● 製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいる人は42.1%。

製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいるかどうかについては、「積極的に選んでいる」、「選んでいる」をあわせて42.1%、「あまり選んでいない」、「選んでいない」をあわせて26.9%、「どちらともいえない」が27.0%となっています。

性別でみると、「積極的に選んでいる」、「選んでいる」をあわせた割合は、女性が44.5%と、男性(40.0%)を4.5ポイント上回っています。

年齢別でみると、「積極的に選んでいる」、「選んでいる」をあわせた割合は、年齢に比例して高くなっており、70歳代、80歳以上では過半数を占めています。[図表16]

図表16 製品を購入時に環境へ配慮
(全体・性別・年齢別)



5) 環境に優しい循環型社会の実現のため、リデュース(ごみの発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(ごみの再生利用)などの3R活動に取り組んでいますか。

● 循環型社会の実現のため、3R活動に取り組んでいる人は59.0%。

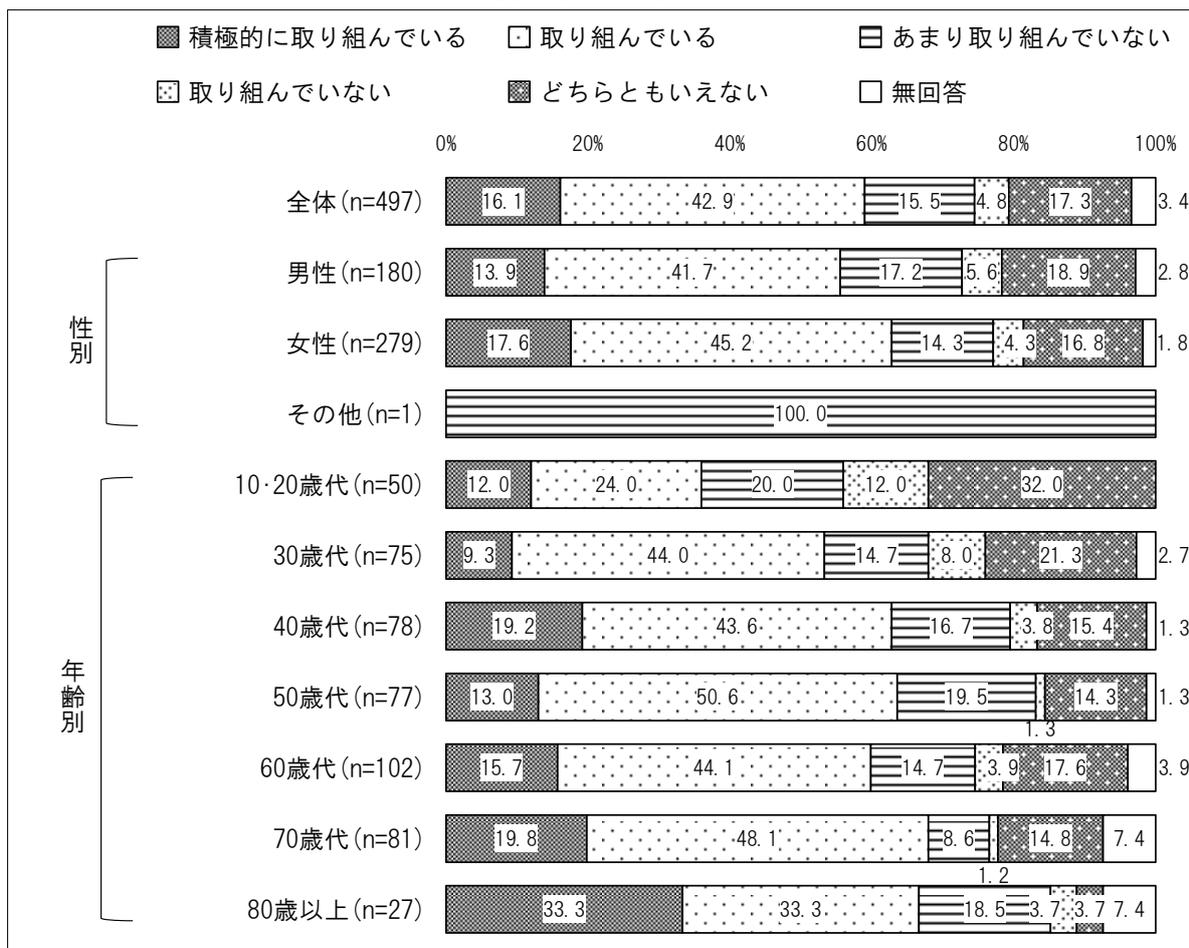
循環型社会の実現のため、3R活動に取り組んでいるかどうかについては、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせて59.0%、「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」をあわせて20.3%、「どちらともいえない」が17.3%となっています。

性別でみると、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた割合は、女性が62.8%と、男性(55.6%)を7.2ポイント上回っています。

年齢別でみると、全体と比較して、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた割合は、40歳代以上で高くなっており、10・20歳代、30歳代で低くなっています。

[図表 17]

図表 17 3R活動への取組
(全体・性別・年齢別)



6) 台所の野菜くずやお風呂場の髪の毛等、汚物を流さないように対策をし、生活排水の処理について配慮していますか。

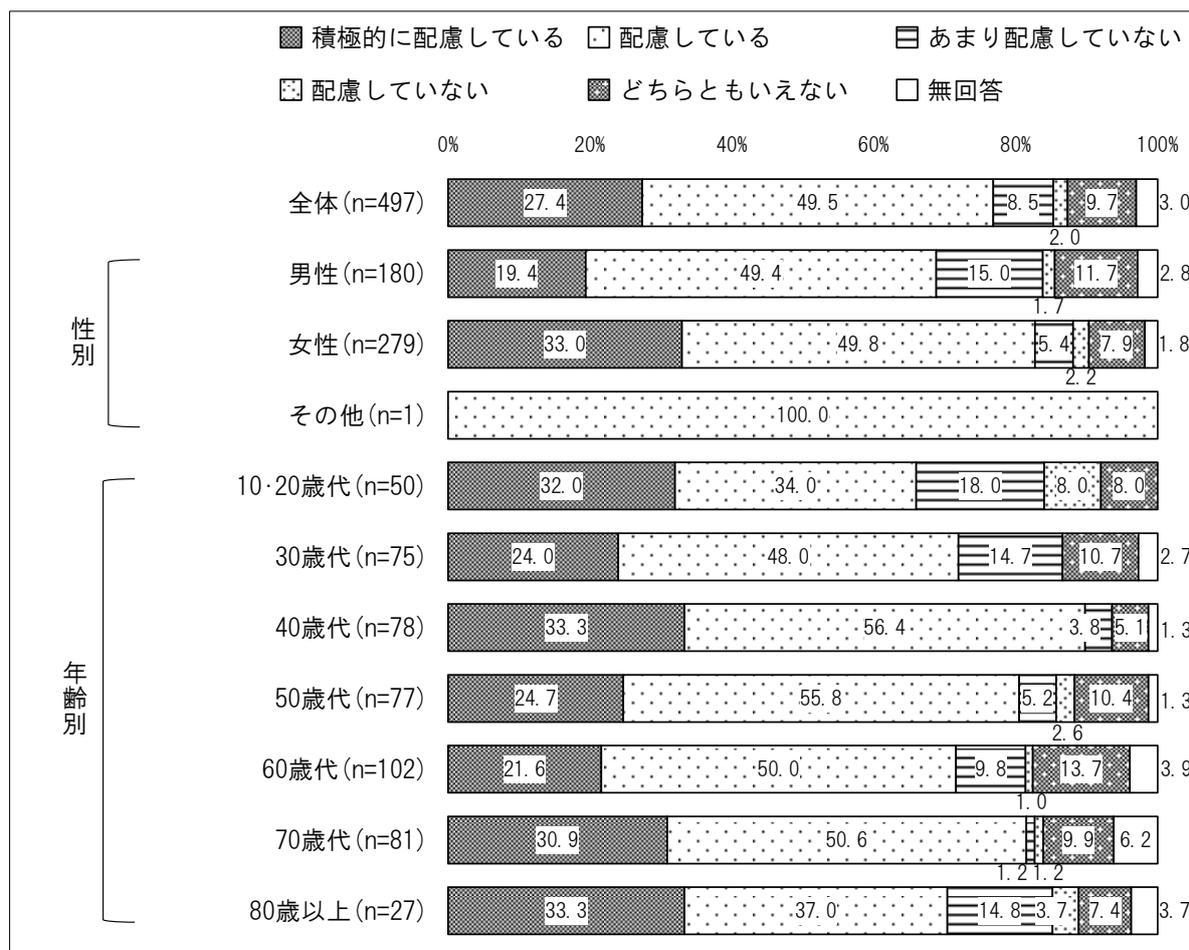
● 生活排水の処理について配慮している人は 76.9%。

生活排水の処理について配慮しているかどうかについては、「積極的に配慮している」、「配慮している」があわせて76.9%、「あまり配慮していない」、「配慮していない」があわせて10.5%、「どちらともいえない」が9.7%となっています。

性別でみると、「積極的に配慮している」、「配慮している」をあわせた割合は、女性が82.8%と、男性(68.8%)を14ポイント上回っています。

年齢別でみると、全体と比較して、「積極的に配慮している」、「配慮している」をあわせた割合は、40歳代、50歳代、70歳代で高くなっており、10・20歳代、30歳代、60歳代、80歳以上で低くなっています。[図表 18]

図表 18 生活排水の処理についての配慮
(全体・性別・年齢別)



7) 河川・海岸の環境美化活動等への参加や熊野古道等の保全活動、ごみ拾いなどの活動をしていますか。

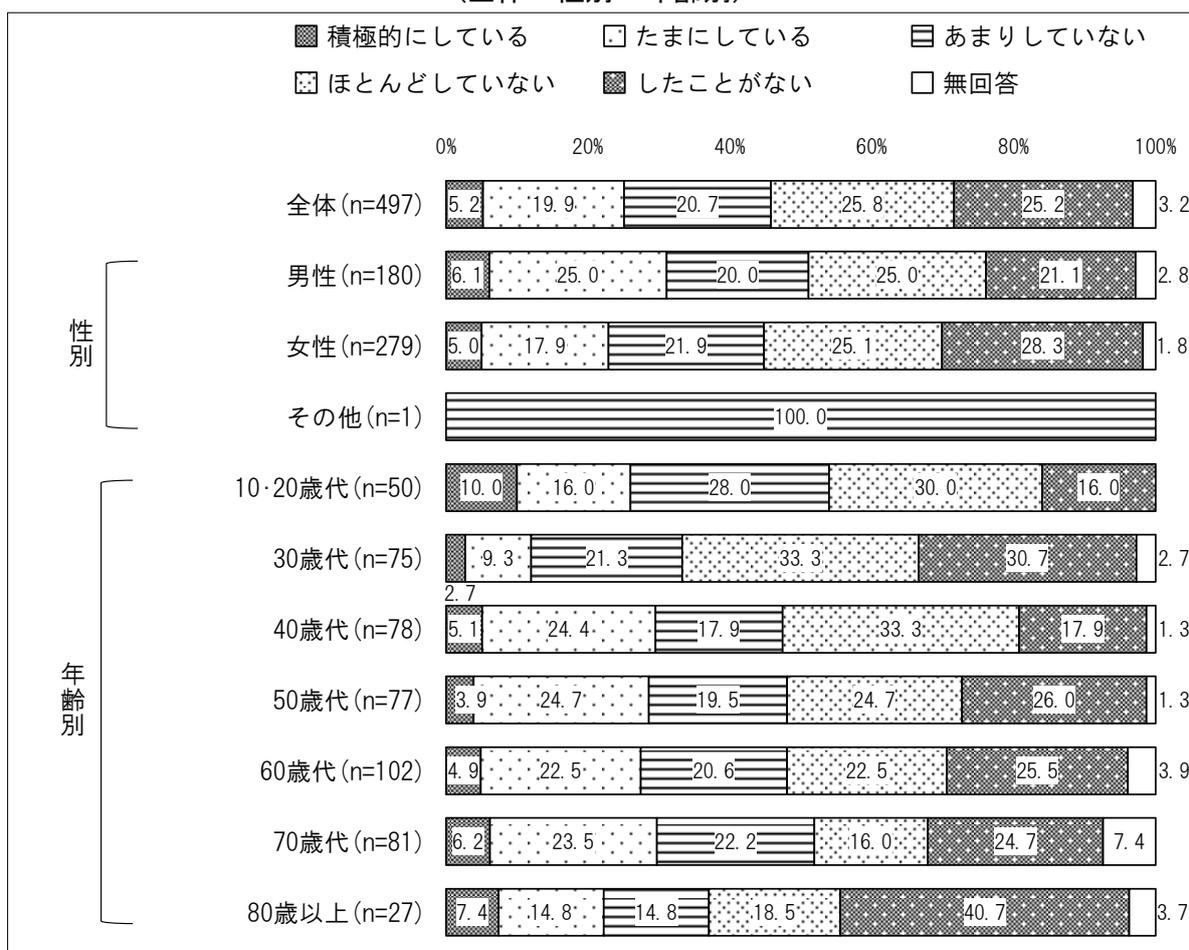
● 環境美化活動等や熊野古道等の保全活動などの活動をしている人は25.1%。

環境美化活動等や熊野古道等の保全活動などの活動をしているかどうかについては、「積極的にしている」、「たまにしている」をあわせて25.1%、「あまりしていない」、「ほとんどしていない」をあわせて46.5%、「したことがない」が25.2%となっています。

性別でみると、「積極的にしている」、「たまにしている」をあわせた割合は、男性が31.1%と、女性(22.9%)を8.2ポイント上回り、全体(25.1%)よりも高くなっています。

年齢別でみると、全体と比較して、「積極的にしている」、「たまにしている」をあわせた割合は、10・20歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代で高くなっており、30歳代、80歳以上で低くなっています。[図表19]

図表19 環境美化活動等や熊野古道等の保全活動、ごみ拾いなどの活動状況
(全体・性別・年齢別)



8) 住宅の新築、建て替えなどの際、地域の景観に配慮した住環境づくりをしていますか。



● 地域の景観に配慮した住環境づくりをしている人は 28.7%。

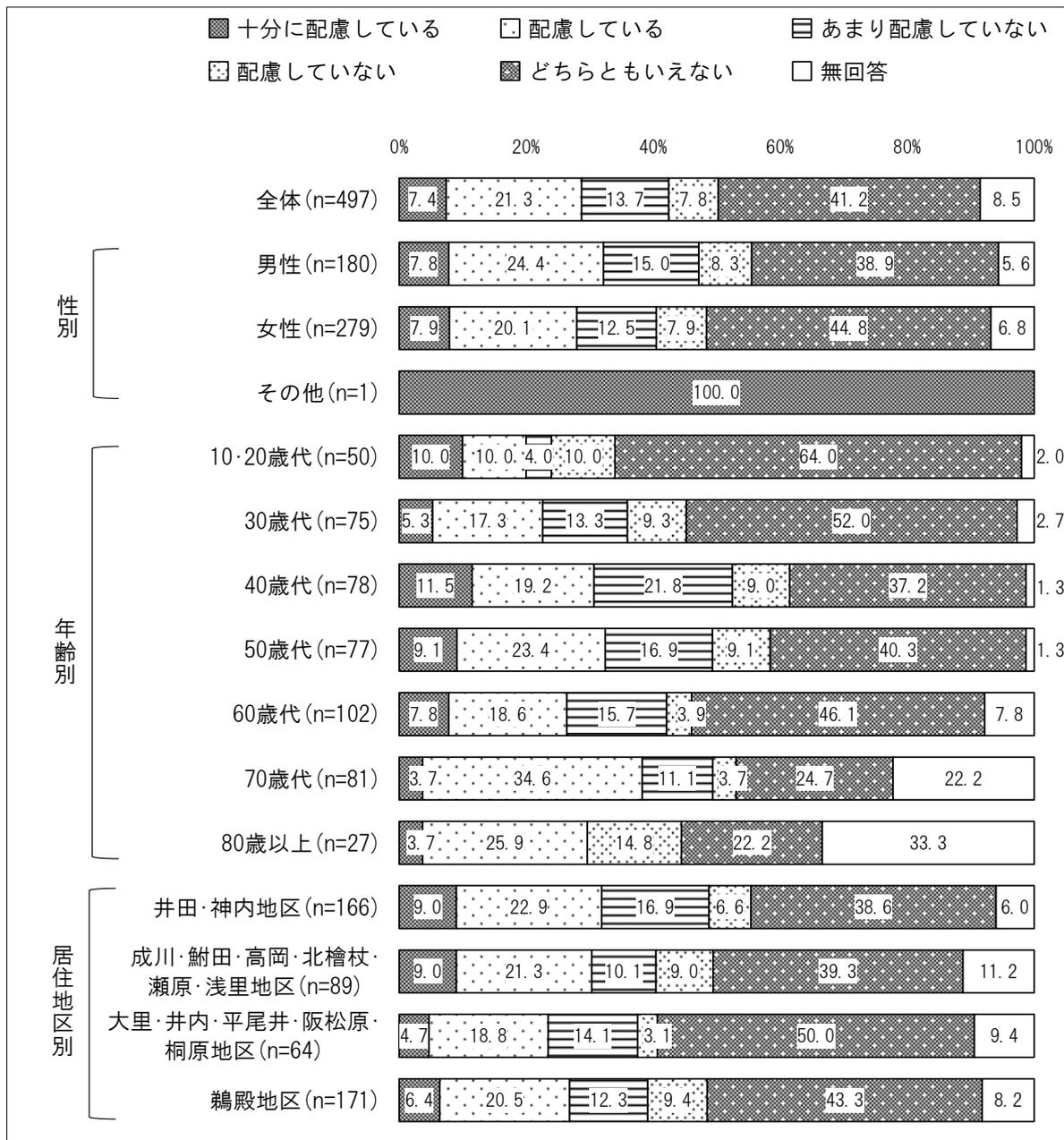
地域の景観に配慮した住環境づくりをしているかどうかについては、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせて 28.7%、「あまり配慮していない」、「配慮していない」をあわせて 21.5%、「どちらともいえない」が 41.2%となっています。

性別で見ると、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた割合は、男性が 32.2%と、女性(28.0%)を 4.2 ポイント上回り、全体(28.7%)よりも高くなっています。

年齢別で見ると、全体と比較して、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた割合は、40 歳代、50 歳代、70 歳代、80 歳以上で高くなっており、10・20 歳代、30 歳代、60 歳代で低くなっています。

居住地区別で見ると、全体と比較して、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた割合は、井田・神内地区、成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区で高くなっています。[図表 20]

図表 20 住環境づくりの状況
(全体・性別・年齢別・居住地区別)



9) 花の植栽や清掃活動などによる美しい道や安全で快適な道路環境づくりに参加したいと思
いますか。

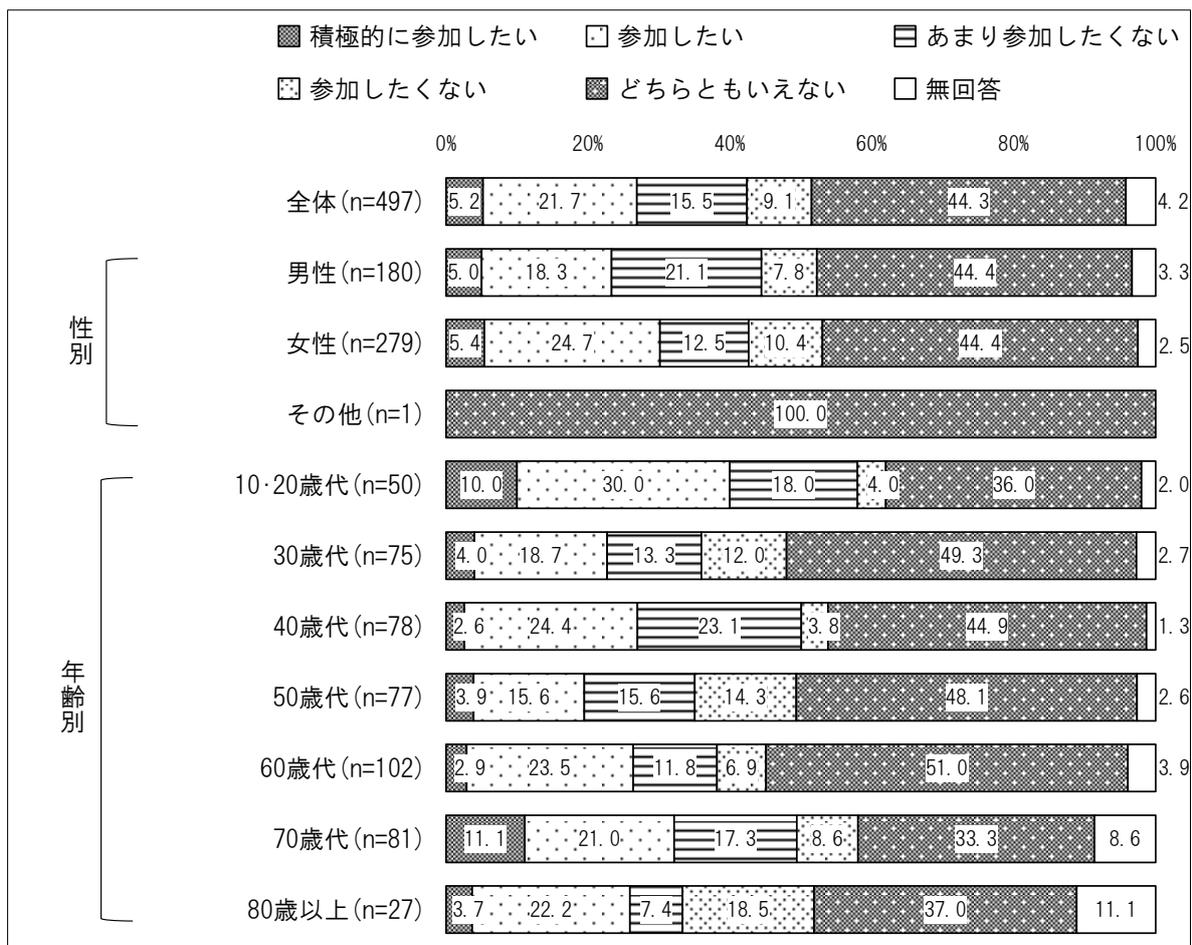
● 美しい道や安全で快適な道路環境づくりに参加したいと思う人は 26.9%。

美しい道や安全で快適な道路環境づくりに参加したいと思うかどうかについては、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせて 26.9%、「あまり参加したくない」、「参加したくない」をあわせて 24.6%、「どちらともいえない」が 44.3%となっています。

性別でみると、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせた割合は、女性が 30.1%と、男性(23.3%)を 6.8 ポイント上回り、全体(26.9%)よりも高くなっています。

年齢別でみると、全体と比較して、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせた割合は、10・20 歳代、40 歳代、70 歳代で高くなっており、30 歳代、50 歳代、60 歳代、80 歳以上で低くなっています。[図表 21]

図表 21 美しい道や安全で快適な道路環境づくりへの参加状況
(全体・性別・年齢別)



10) スポーツ活動(ウォーキング等、軽スポーツ・運動を含む)に、どれくらい取り組んでいますか。



● スポーツ活動に週1回以上取り組んでいる人は38.7%。

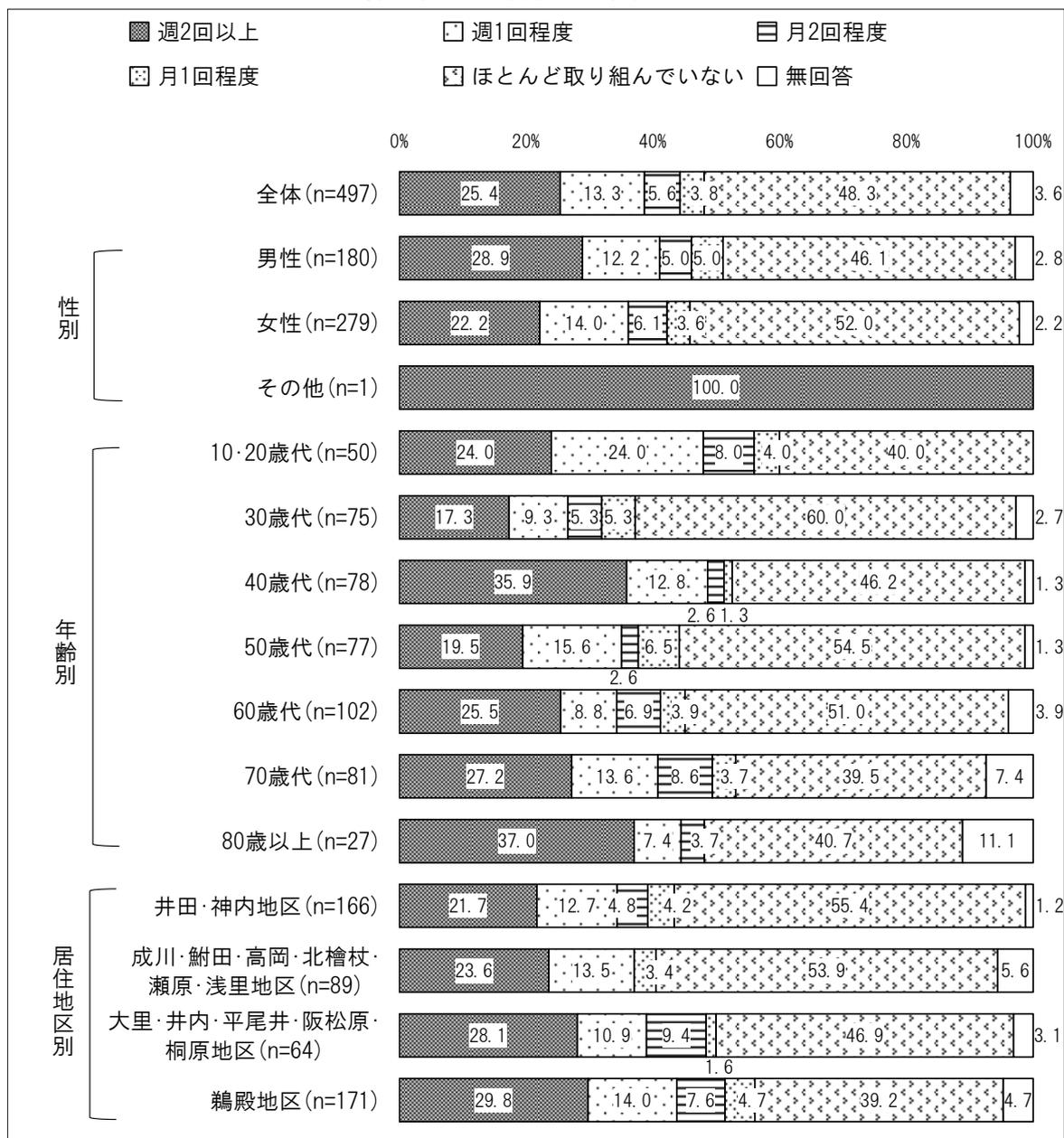
スポーツ活動にどれくらい取り組んでいるかについては、「週2回以上」、「週1回程度」をあわせて38.7%、「月2回程度」、「月1回程度」をあわせて9.4%、「ほとんど取り組んでいない」が48.3%となっています。

性別で見ると、「週2回以上」、「週1回程度」をあわせた割合は、男性が41.1%と、女性(36.2%)を4.9ポイント上回り、全体(38.7%)よりも高くなっています。

年齢別で見ると、全体と比べ、「週2回以上」、「週1回程度」をあわせた割合は、10・20歳代、40歳代、70歳代、80歳以上で高くなっています。

居住地区別で見ると、全体と比べ、「週2回以上」、「週1回程度」をあわせた割合は、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区、鶯殿地区で高くなっています。[図表22]

図表 22 スポーツ活動への取組
(全体・性別・年齢別・居住地区別)



11) 青少年の健全育成のため、PTA活動や子どもたちの校外活動、スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブなどへの参加はしていますか。

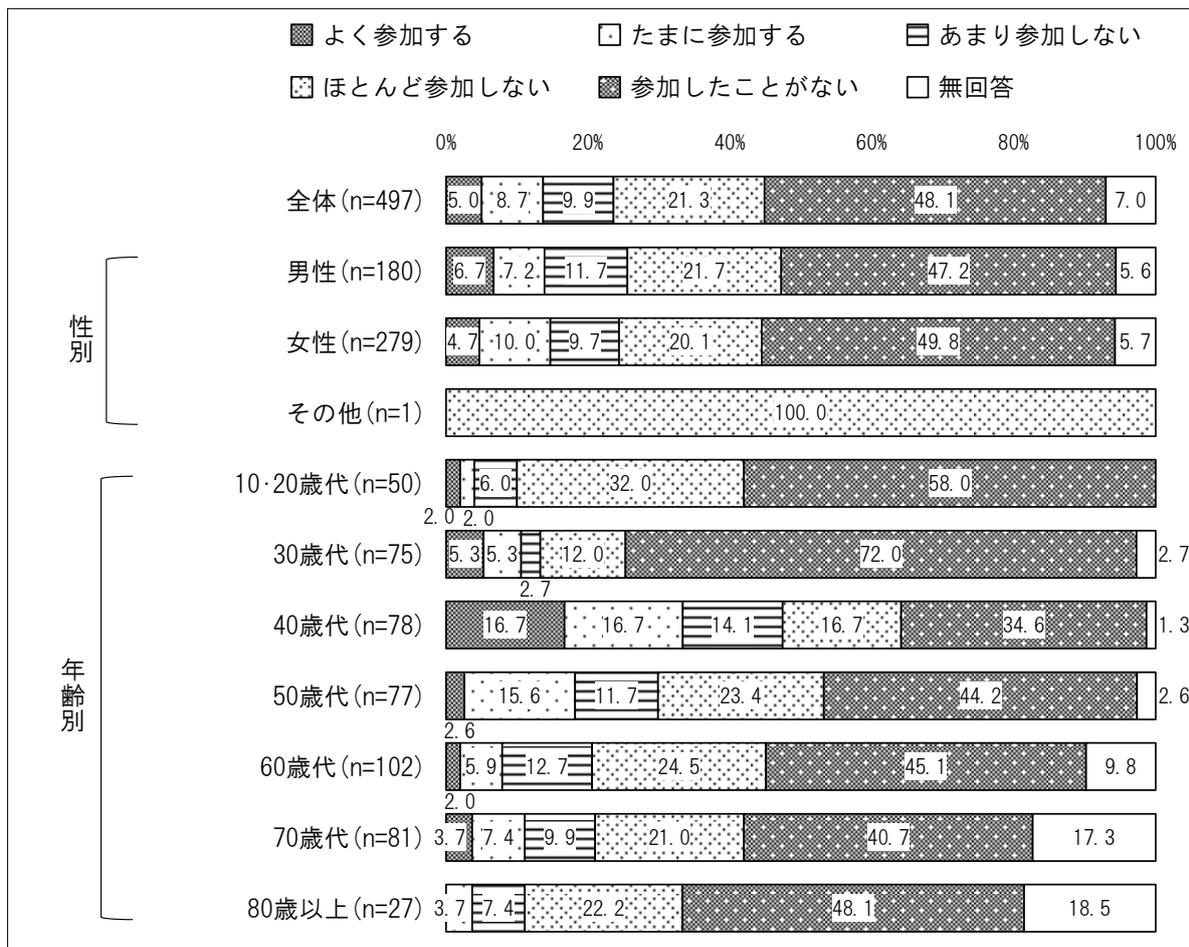
● PTA活動や子どもたちの校外活動、スポーツ少年団などへ参加している人は13.7%。

PTA活動や子どもたちの校外活動、スポーツ少年団などへ参加しているかどうかについては、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせて13.7%、「あまり参加しない」、「ほとんど参加しない」をあわせて31.2%、「参加したことがない」が48.1%となっています。

性別でみると、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた割合は、女性が14.7%と、男性(13.9%)を若干上回っています。

年齢別でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた割合は、40歳代、50歳代で高くなっており、特に40歳代では34.6%と高くなっています。[図表23]

図表23 PTA活動・子どもたちの校外活動・スポーツ少年団などへの参加状況
(全体・性別・年齢別)



12) 住んでいる地域は子どもや子育て世代にも暮らしやすいと思いますか。



● 住んでいる地域が子どもや子育て世代にも暮らしやすいと思う人は 59.4%。

住んでいる地域が子どもや子育て世代にも暮らしやすいと思うかどうかについては、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせて 59.4%、「あまり暮らしやすいと思わない」、「暮らしやすいと思わない」をあわせて 11.2%、「どちらともいえない」が 24.7%となっています。

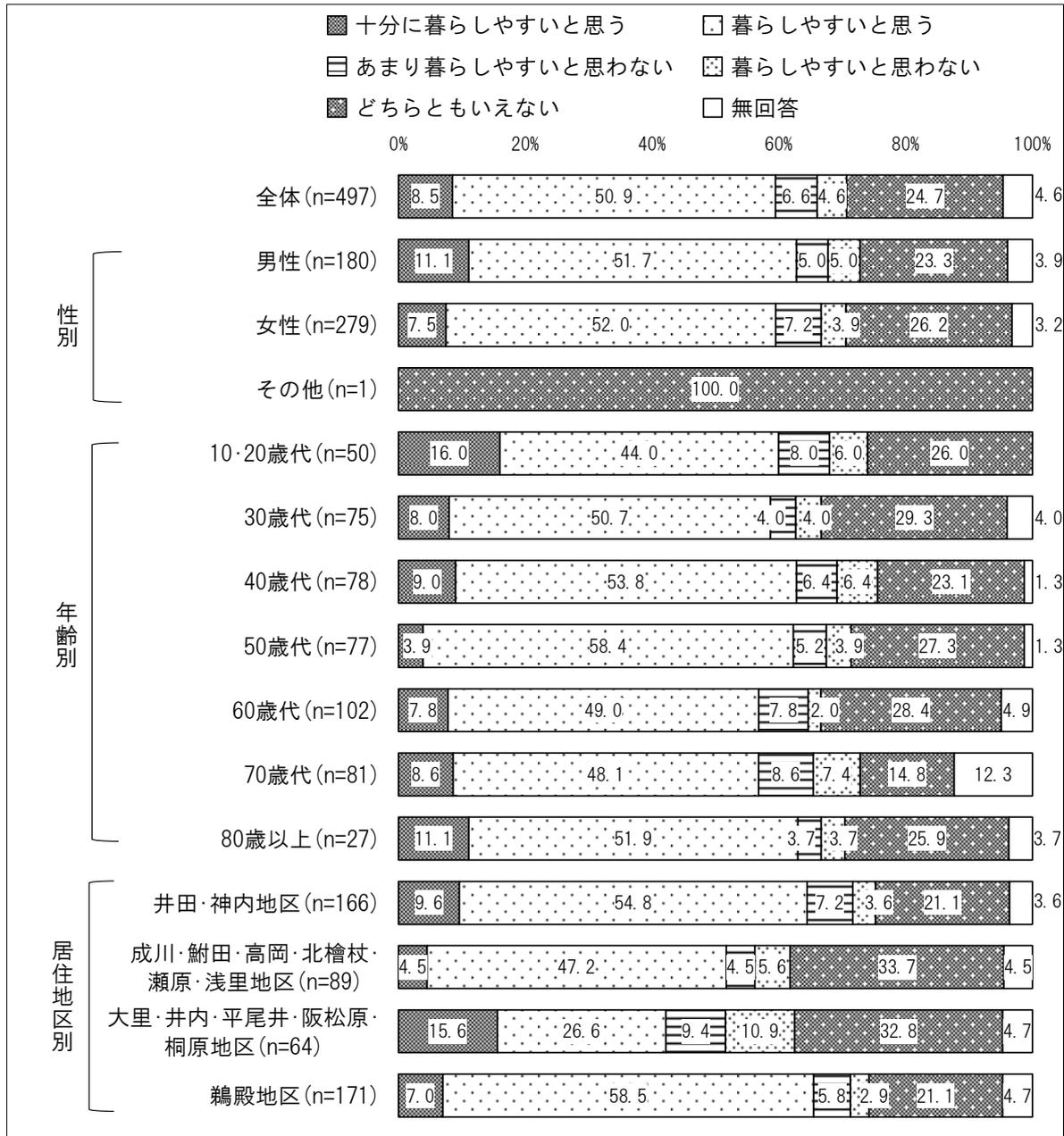
性別でみると、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた割合は、男性が 62.8%と、女性(59.5%)を 3.3 ポイント上回っています。

年齢別でみると、全体と比較して、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた割合は、10・20 歳代、40 歳代、50 歳代、80 歳以上で高くなっており、30 歳代、60 歳代、70 歳代で低くなっています。

居住地区別でみると、全体と比較して、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた割合は、井田・神内地区、鵜殿地区で高くなっており、成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区で低くなっています。特に大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区では 42.2%と低くなっています。

[図表 24]

図表 24 子どもや子育て世代にも暮らしやすい地域かどうか
(全体・性別・年齢別・居住地区別)



13) 地域では高齢者や障がい者、ひとり親家庭への見守り・声掛け・手助け等が行われているか。



● 地域で見守り・声掛け・手助け等が行われていると思う人は32.2%。

地域で高齢者や障がい者、ひとり親家庭への見守り・声掛け・手助け等が行われているかどうかについては、「十分に行われている」、「行われている」をあわせて32.2%、「あまり行われていない」、「行われていない」をあわせて25.9%、「どちらともいえない」が36.4%となっています。

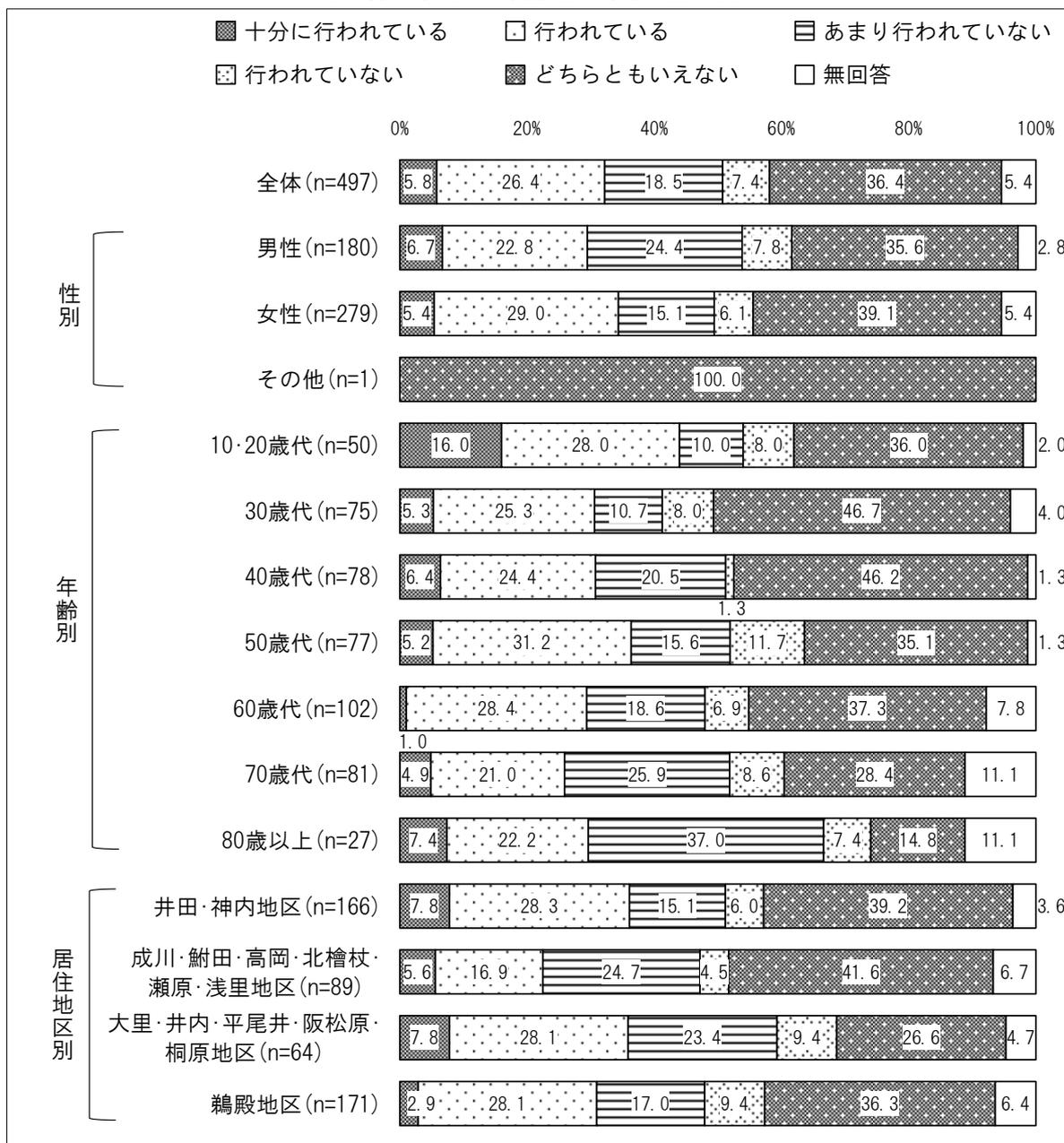
性別でみると、「あまり行われていない」、「行われていない」をあわせた割合は、女性が34.4%と、男性(29.5%)を4.9ポイント上回っています。

年齢別でみると、全体と比較して、「十分に行われている」、「行われている」をあわせた割合は、10・20歳代、50歳代で高くなっています。

居住地区別でみると、全体と比較して「十分に行われて思う」、「行われている」をあわせた割合は、井田・神内地区、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区で高くなっており、成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区、鶉殿地区で低くなっています。特に成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区では22.5%と低くなっています。

[図表 25]

図表 25 見守り・声掛け・手助けの実施状況
(全体・性別・年齢別・居住地区別)



14) 少子高齢化などの問題を踏まえ、国民年金や介護保険等、将来の社会保障制度について不安はありますか。

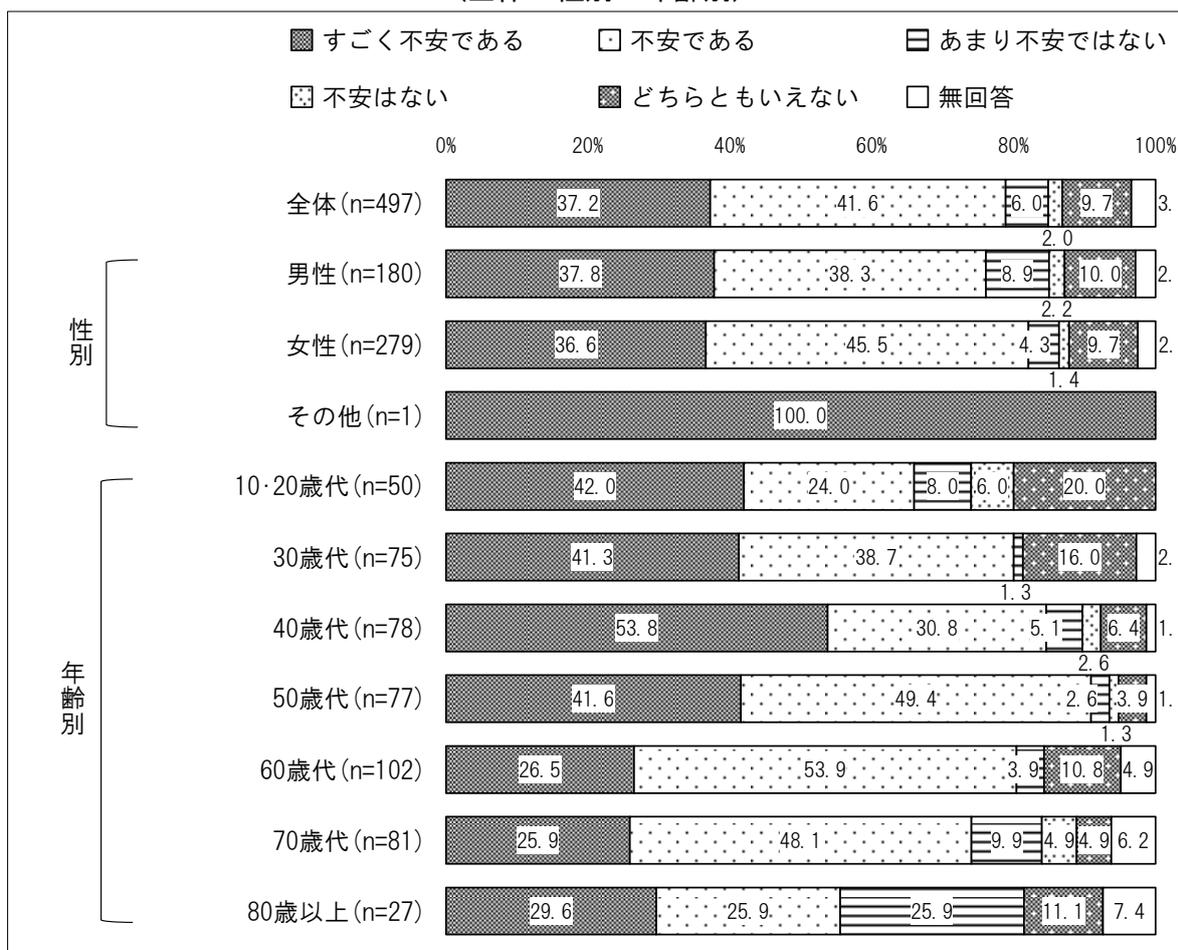
● 将来の社会保障制度について不安がある人は 78.8%。

国民年金や介護保険等、将来の社会保障制度への不安があるかどうかについては、「すごく不安である」、「不安である」をあわせて 78.8%、「あまり不安ではない」、「不安はない」をあわせて 8.0%、「どちらともいえない」が 9.7%となっています。

性別でみると、「すごく不安である」、「不安である」をあわせた割合は、女性が 82.1%と、男性(76.1%)を 6 ポイント上回っています。

年齢別でみると、全体と比較して、「すごく不安である」、「不安である」をあわせた割合は、30 歳代から 60 歳代で高くなっており、10・20 歳代、70 歳代、80 歳以上で低くなっています。[図表 26]

図表 26 将来の社会保障制度への不安
(全体・性別・年齢別)



15) 町の商業の振興のため、意識して地域で買い物をするようにしていますか。



● 町の商業の振興のため、意識して地域(町内)で買い物をする人は 38.7%。

町の商業の振興のため、意識して地域で買い物をするようにしているかどうかについては、「町内で買い物をする」、「できる限り町内で買い物をする」があわせて 38.7%、「あまり町内で買い物はしない」、「買い物は町外でする」があわせて 22.1%、「町内外を意識して買い物をすることはない」が 39.0%となっています。

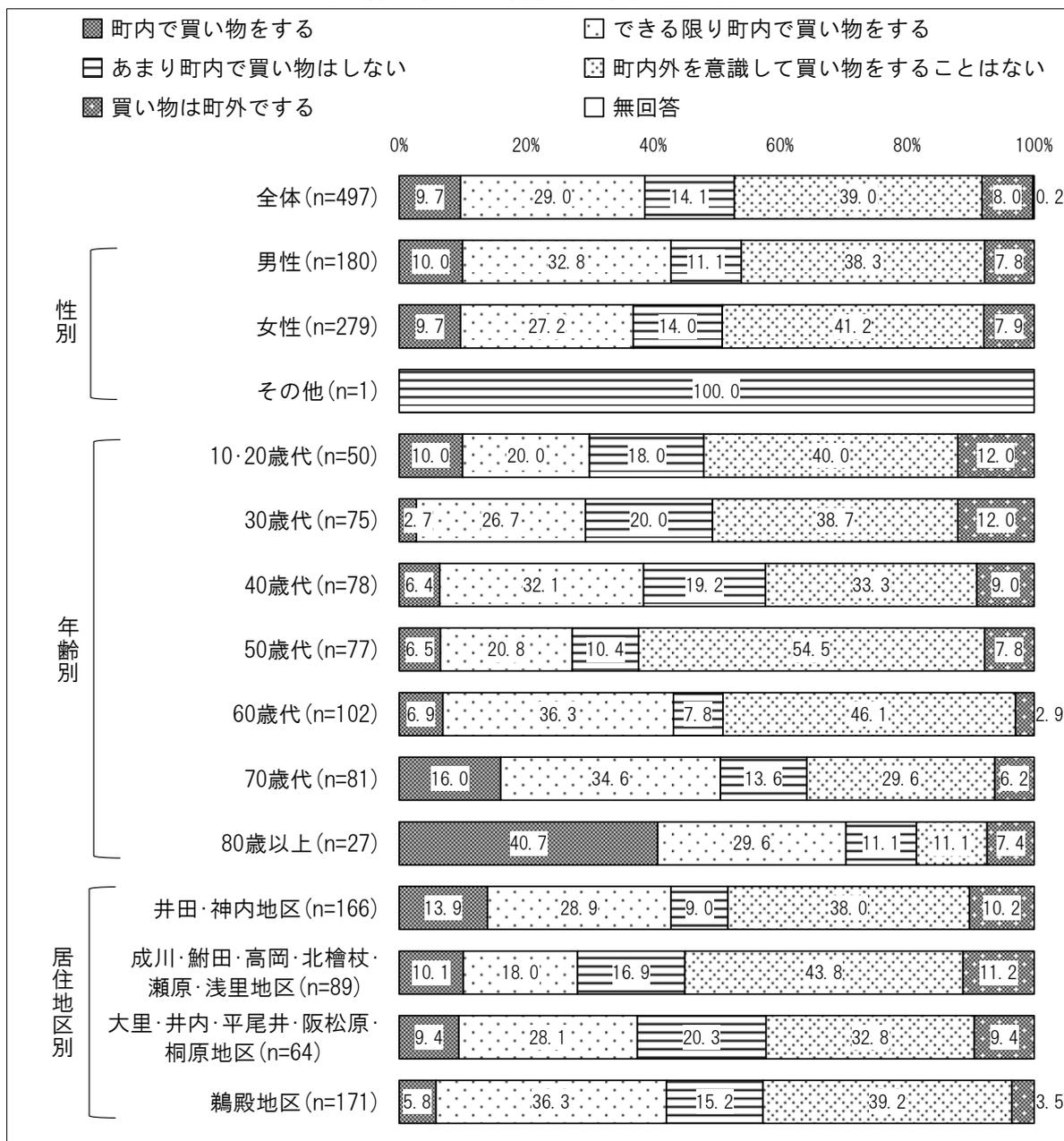
性別で見ると、「町内で買い物をする」、「できる限り町内で買い物をする」をあわせた割合は、男性が 42.8%と、女性(36.9%)を 5.9 ポイント上回っています。

年齢別で見ると、全体と比較して、「町内で買い物をする」、「できる限り町内で買い物をする」をあわせた割合は、60 歳代以上で高くなっており、特に 80 歳以上では 70.3%と高くなっています。

居住地区別で見ると、全体と比較して、「町内で買い物をする」、「できる限り町内で買い物をする」をあわせた割合は、井田・神内地区、鵜殿地区で高くなっています。

[図表 27]

図表 27 町内での買い物
(全体・性別・年齢別・居住地区別)



16) 現在、働いている方にお聞きします。安心して働ける職場環境の実現のため、育児休業や有給休暇の取得等、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)のための制度を活用していますか。



● ワーク・ライフ・バランスのための制度を活用している人は 16.9%。

ワーク・ライフ・バランスのための制度を活用しているかどうかについては、「十分に活用している」、「活用している」をあわせて 16.9%、「あまり活用していない」、「活用していない」をあわせて 35.0%、「どちらともいえない」が 10.9%となっています。

性別でみると、「十分に活用している」、「活用している」をあわせた割合は、女性が 19.7%と、男性(13.3%)を 6.4 ポイント上回っています。一方、「あまり活用していない」、「活用していない」をあわせた割合は、男性が 45.6%と、女性(28.4%)を 17.2 ポイント上回っています。

年齢別でみると、全体と比較して、「十分に活用している」、「活用している」をあわせた割合は、30 歳代から 50 歳代で高くなっており、10・20 歳代、60 歳代以上で低くなっています。

職業別でみると、全体と比較して、「十分に活用している」、「活用している」をあわせた割合は、サービス業、運輸・通信業、製造業、公務員、商業、その他で高くなっており、農林業、建設業で低くなっています。[図表 28-1~2]

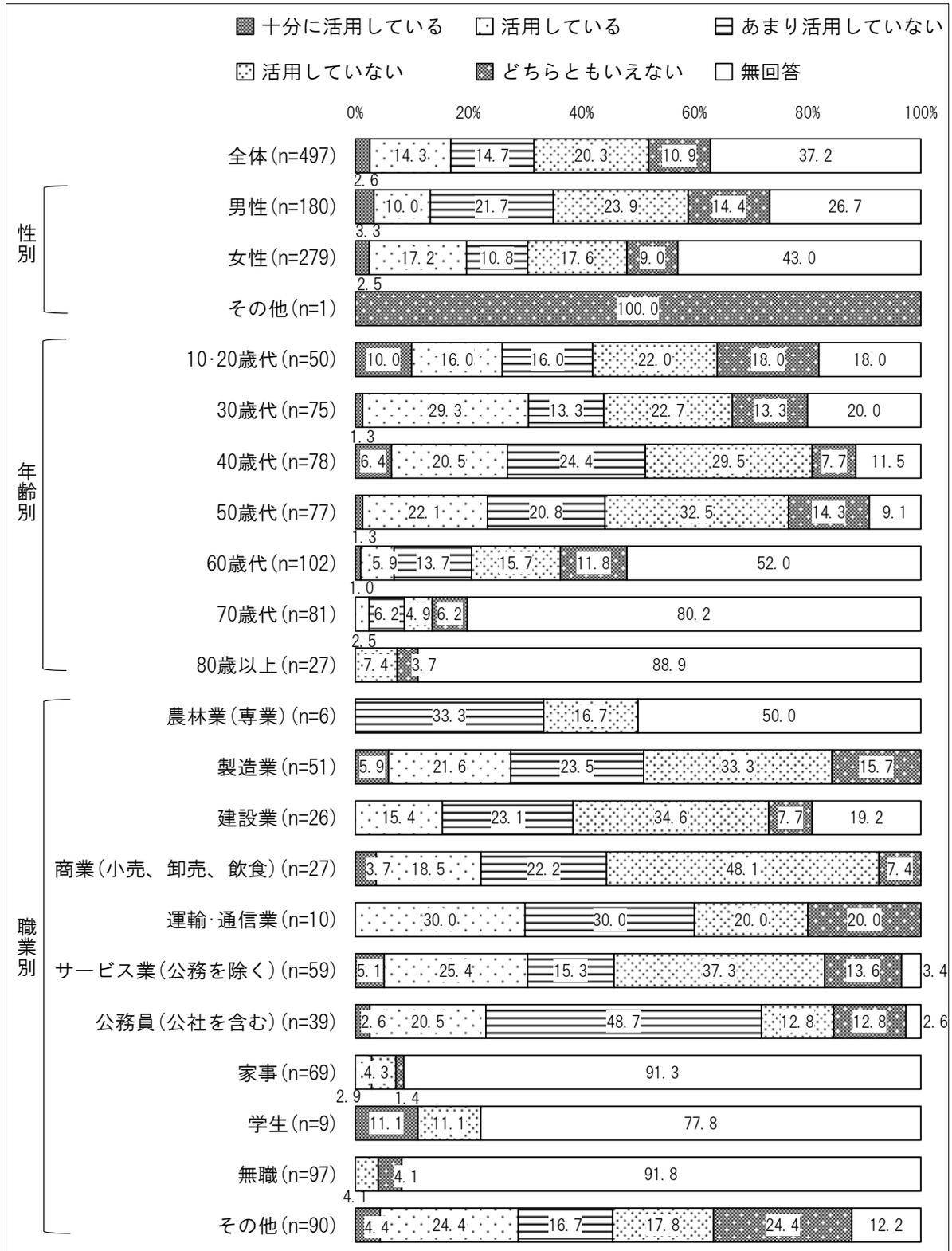
図表 28-1 職業別ワーク・ライフ・バランス制度の活用状況

(単位：%)

	n	「十分に活用している」「活用している」の計	「あまり活用していない」「活用していない」の計	どちらともいえない	無回答
全体	497	16.9	35.0	10.9	37.2
農林業(専業)	6	0.0	50.0	0.0	50.0
製造業	51	27.5	56.8	15.7	0.0
建設業	26	15.4	57.7	7.7	19.2
商業	27	22.2	70.3	7.4	0.0
運輸・通信業	10	30.0	50.0	20.0	0.0
サービス業	59	30.5	52.6	13.6	3.4
公務員	39	23.1	61.5	12.8	2.6
その他	90	28.8	34.5	24.4	12.2

※家事・学生・無職を除く。

図表 28-2 ワーク・ライフ・バランス制度の活用
(全体・性別・年齢別・職業別)



17) 文化財やその周辺地域の保存を前提とした学習活動に参加したことがありますか。

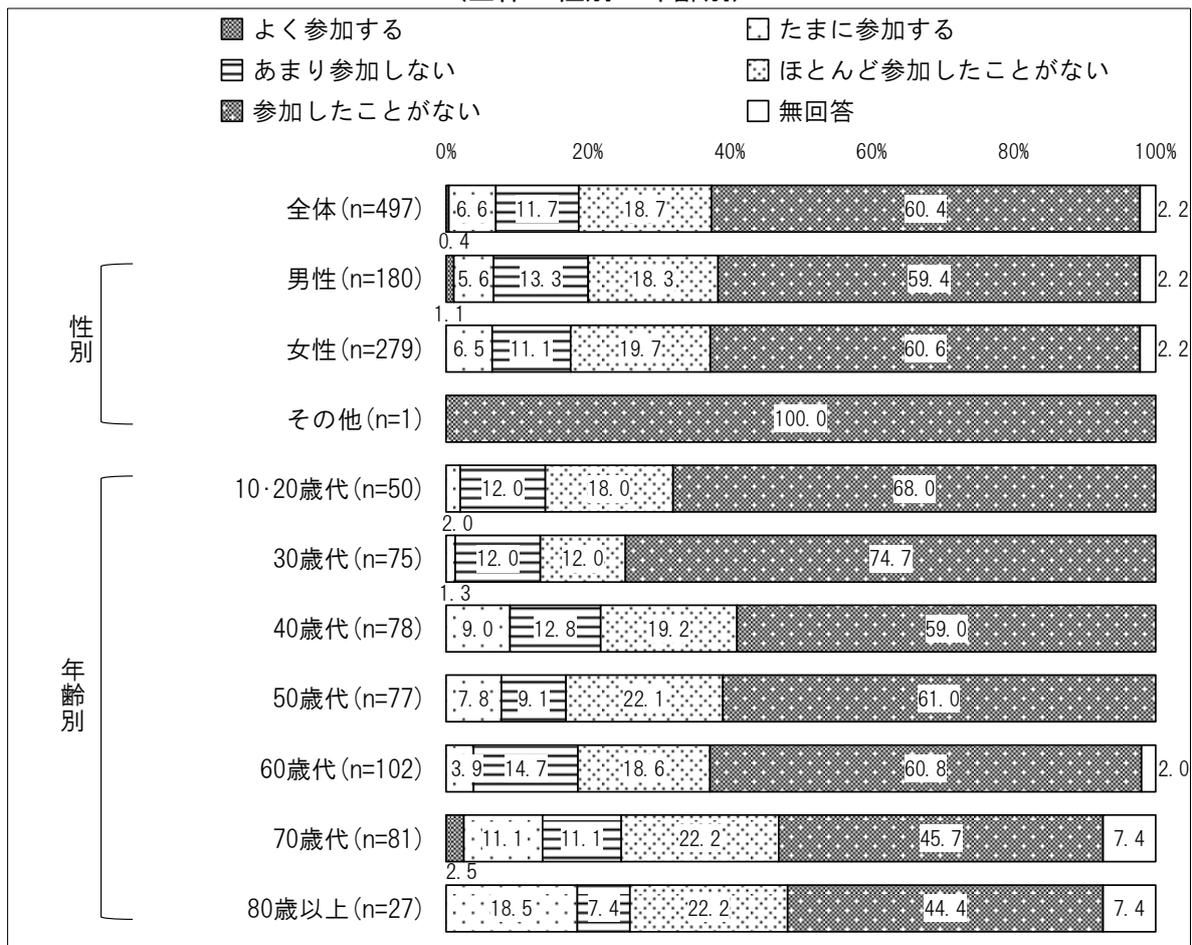
● 文化財やその周辺地域の保存を前提とした学習活動に参加したことがある人は7.0%。

文化財やその周辺地域の保存を前提とした学習活動への参加状況については、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせて7.0%、「あまり参加しない」、「ほとんど参加したことがない」をあわせて30.4%、「参加したことがない」が60.4%となっています。

性別でみると、男性と女性では文化財やその周辺地域の保存を前提とした学習活動への参加状況に大きな違いはありません。

年齢別でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた割合は、70歳代で13.6%、80歳以上で18.5%と高くなっています。〔図表29〕

図表29 文化財やその周辺地域の保存を前提とした学習活動への参加状況
(全体・性別・年齢別)



18) 祭りなどの地域の活動・行事に参加等、町の歴史・伝統・文化の保護継承に対して取り組んでいますか。



● 町の歴史・伝統・文化の保護継承に対して取り組んでいる人は 22.1%。

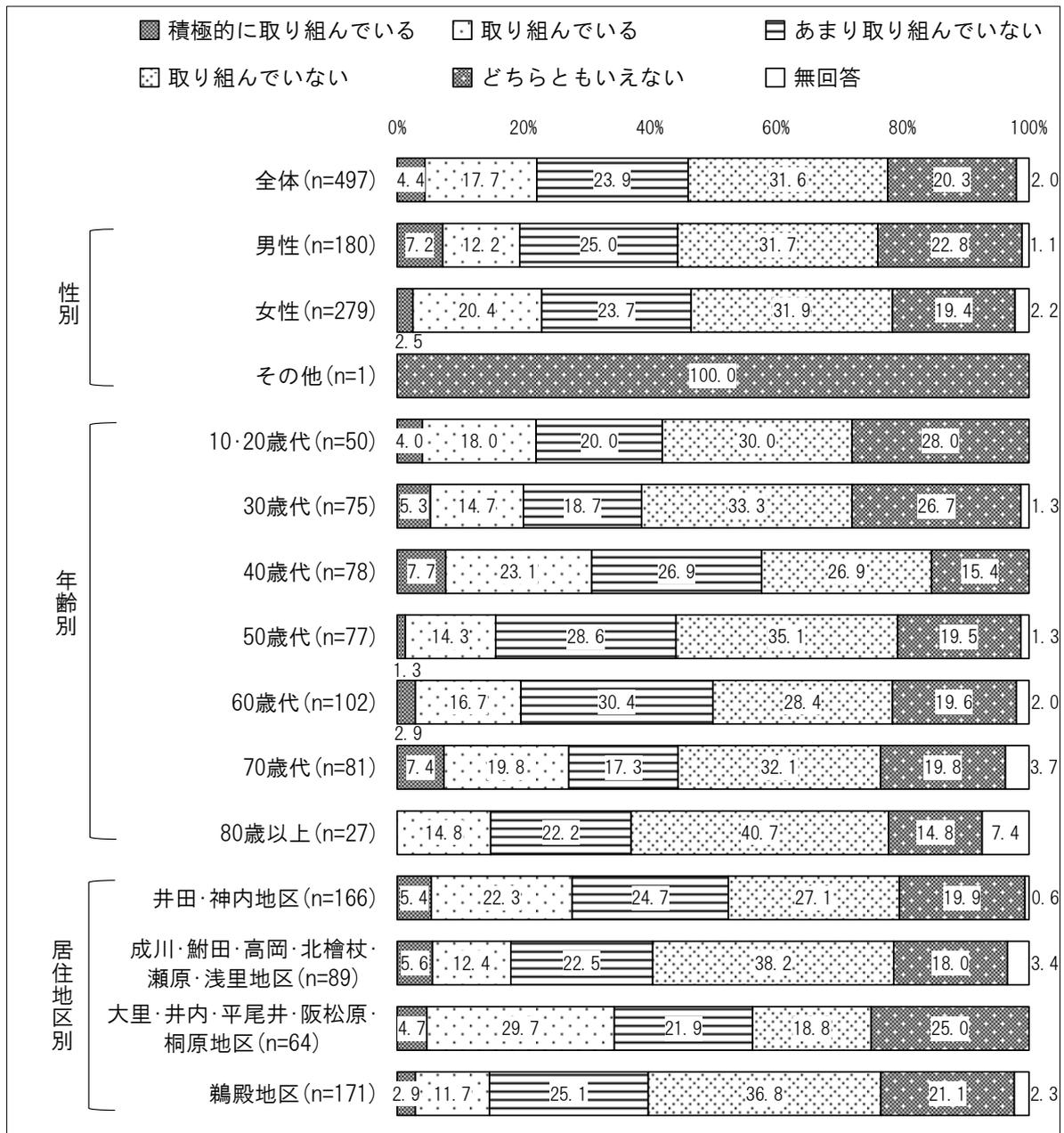
町の歴史・伝統・文化の保護継承に対する取組状況については、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせて 22.1%、「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」をあわせて 55.5%、「どちらともいえない」が 20.3%となっています。

性別でみると、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた割合は、女性が 22.9%と、男性(19.4%)を 3.5 ポイント上回っています。

年齢別でみると、全体と比較して、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた割合は、40 歳代、70 歳代で高くなっています。

居住地区別でみると、全体と比較して、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた割合は、井田・神内地区、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区で高くなっており、特に大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区では 34.4%と高くなっています。[図表 30]

図表 30 町の歴史・伝統・文化の保護継承に対する取組
(全体・性別・年齢別・居住地区別)



19) 町から月1回配布される「広報きほう」を読んでいますか。

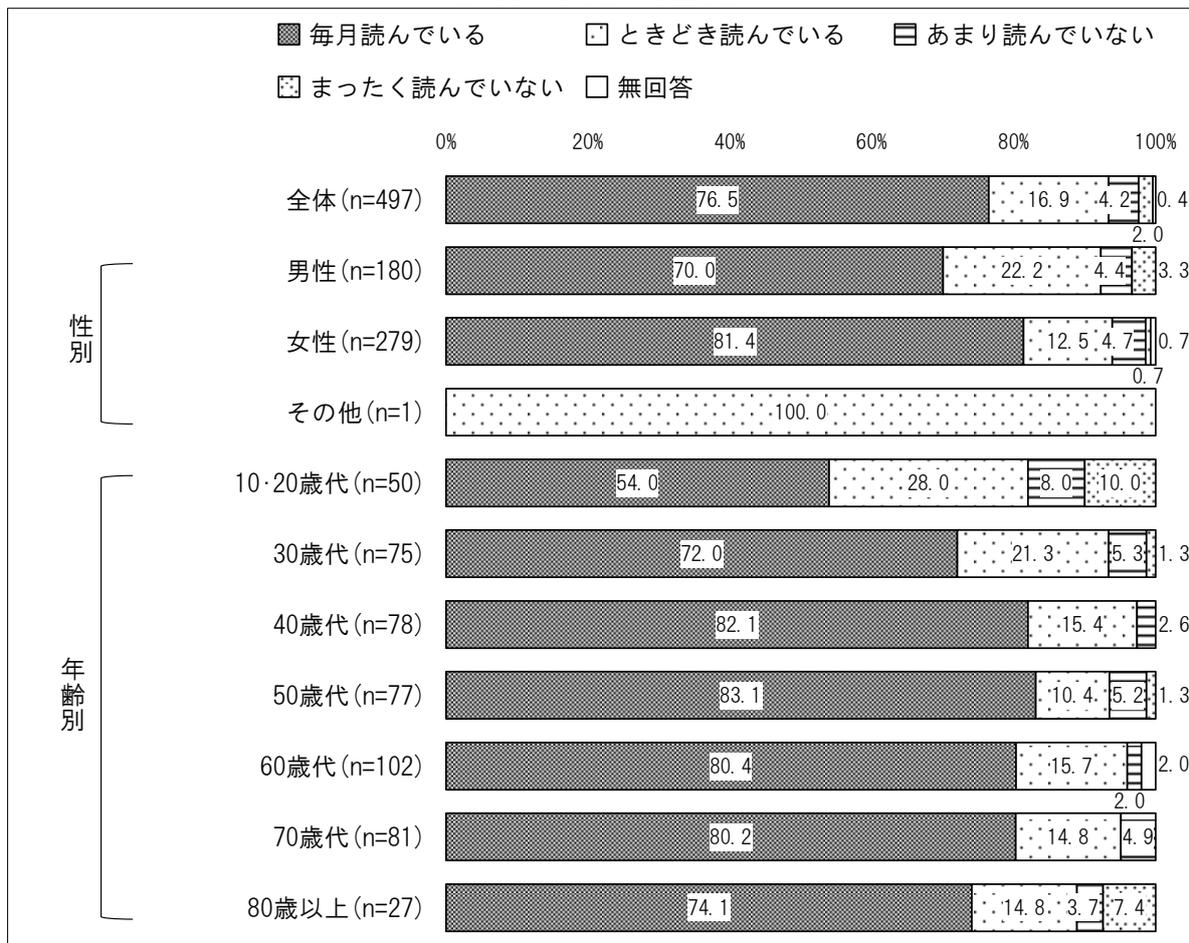
● 「広報きほう」を毎月読んでいる人は76.5%。

「広報きほう」を読んでいるかどうかについては、「毎月読んでいる」が76.5%、「ときどき読んでいる」が16.9%、「あまり読んでいない」が4.2%、「まったく読んでいない」が2.0%となっています。

性別でみると、「毎月読んでいる」は女性が81.4%と、男性(70.0%)を11.4ポイント上回っています。

年齢別でみると、全体と比較して、「毎月読んでいる」は、40歳代から70歳代で高くなっており、10・20歳代、30歳代、80歳以上で低くなっています。[図表31]

図表31 「広報きほう」を読んでいる人
(全体・性別・年齢別)



Ⅲ 自由意見

■紀宝町のまちづくりに対する要望・意見・提案等

問 13 現在、もしくは将来に向けて町政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案等がありましたら、ご自由にご記入ください。



116 人から 133 件のご意見・ご提案等がありました。

分野	該当項目等	計
1 利便性	公共交通機関(鉄道・バスなど)・道路・買い物(日用品、衣料品、電化製品)・働く場の確保(町内)・情報基盤(インターネット環境など)などの状況に関すること	16
2 快適性	自然環境(大気・水環境、動物・植物など)・景観・海岸・河川環境の整備と保全・住宅や宅地・子どもの遊び場や居場所・公園・上水道の整備・合併処理浄化槽などの整備・ごみの分別収集や資源回収・公害問題(騒音・振動・悪臭・大気汚染等)・土地利用や市街地整備、空き家対策などの状況に関すること	19
3 安全性	交通事故防止対策・消防・救急体制・地震・台風等への防災対策・津波への防災対策・防犯・振り込め詐欺や悪徳商法に対する相談体制などの状況に関すること	19
4 産業・観光	農業、林業、水産業、商業、工業(担い手の育成、整備・保全・支援など)・新規雇用・産業の創出・観光資源の発掘やPR・特産品の開発や普及活動・企業誘致などの状況に関すること	4
5 保健・福祉	健康づくりに取り組む機会・健康診断や保健指導の体制・受診体制・高齢者や障がい者(児)のための施設・福祉サービス・高齢者や障がい者(児)が生きがいを持てる機会・国民健康保険、介護保険制度等の運営、病院・医療などの状況に関すること	10
6 子育て支援	子どもにとって安全・安心なまちづくり・保育料・教育費などの負担軽減・住民が子どもの心を育む地域づくり・保育体制が充実・男性も子育てに参加できる環境づくり・子どもが楽しく過ごせるまちづくり・子や親のネットワークづくり・子育て相談・情報提供・ひとり親家庭への福祉サービス・子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動などの状況に関すること	8
7 教育・文化	小・中学校の学習活動や施設・設備・生涯学習の機会・スポーツ、レクリエーション施設・文化・芸術活動の場や文化施設・文化財の保存と活用・娯楽やレジャーの環境・就学相談・教育相談等・青少年の健全育成を促す地域づくりなどの状況に関すること	3
8 地域生活	ボランティア活動・近隣付き合い・公民館活動や区、組の活動・地域活動への住民参加の機会・住民団体やNPOなどの育成、支援・祭りやイベント・国内・国際交流などの状況に関すること	6
9 行財政	情報等の入手・町民が意見や要望を言える機会・役場職員の窓口や現場での対応・行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営・広域行政・男女共同参画や人権尊重の地域づくりなどの状況に関すること	24
10 その他	上記に該当しないもの(まちづくり等)	24
合 計		133

町民アンケート調査ご協力をお願い

第2次紀宝町総合計画後期基本計画・ 第2次紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定に向けて

町民のみなさまには、日ごろから町政にご理解ご協力をたまわり、厚くお礼申し上げます。

本町では、令和4年度から始まる「第2次紀宝町総合計画後期基本計画・第2次紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画づくりを進めていくにあたり、町民のみなさまのご意見をお聴きし、新たな計画に活かしたいと考えています。

お仕事や家事などでご多忙のところ、大変お手数をおかけいたしますが、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

※町では、このアンケート調査の対象者を、紀宝町にお住まいの18歳以上の住民1,100人（無作為抽出）を対象に選ばせていただきました。今後のまちづくりについて、ぜひ、ご意見をお聴かせください。なお、ご記入いただいた内容は計画策定のための分析のみに使用し、個人が特定されることはありません。

令和2年12月

紀宝町長 西田 健

【記入にあたってのお願い】

1. 封筒に記載されている氏名の方がお答えください。
2. ご記入は、えんぴつ、シャープペン、ボールペンなどで結構ですが、確認できるよう濃く記入してください。
3. ○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①.）
4. お答えは、設問ごとに（1つに○）、（2つに○）等それぞれ指定されていますので、お間違えのないようお願いします。

【返送方法】

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **12月18日(金)** までに最寄りの郵便ポストに投函してください。（切手はいりません）

【お問い合わせ先】

紀宝町役場 企画調整課 担当 愛野 裕基、田中 正剛
電 話：0735-33-0334
E-mail：kikaku@town.kiho.lg.jp

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

(1) あなたの性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
(2) あなたの年齢	1. 10・20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代 4. 50 歳代	5. 60 歳代 6. 70 歳代 7. 80 歳以上	
(3) あなたの世帯構成	1. 単身 2. 夫婦（子どもなし） 3. 親と子（2 世代）	4. 親・子・孫（3 世代） 5. その他	
(4) あなたの職業 （※主たるもの）	1. 農林業（専業） 2. 製造業 3. 建設業 4. 商業（小売、卸売、飲食） 5. 運輸・通信業 6. サービス業（公務を除く）	7. 公務員（公社を含む） 8. 家事 9. 学生 10. 無職 11. その他	
(5) あなたの就学先・ 勤務先	1. 町内 2. 新宮市 3. 御浜町 4. 熊野市	5. その他県内 6. その他県外 7. 就学・勤務していない	
(6) 紀宝町内にお住 まいの通算年数 （※合併前旧町村 を含む）	1. 3年未満 2. 3年以上 10 年未満 3. 10 年以上 20 年未満 4. 20 年以上		
(7) あなたの居住地区	1. 井田・神内地区 2. 成川・鮎田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区 3. 大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区 4. 鶴殿地区		

問2 あなたの婚姻状況についてお教えてください。(1つに○印)

- | | | |
|--------------|-------|----------|
| 1. 既婚(事実婚含む) | 2. 未婚 | 3. 離別・死別 |
|--------------|-------|----------|

問2で「1. 既婚(事実婚含む)」と回答された方におたずねします。

問3 現在何人のお子様がいらっしゃいますか。または、何人のお子様を予定していますか。(1つに○印)

- | | |
|-------|-----------------|
| 1. 0人 | 4. 3人 |
| 2. 1人 | 5. 4人 |
| 3. 2人 | 6. 5人以上(具体的に 人) |

問4 あなたにとって、理想的な子どもの数について教えてください(1つに○印)

- | | |
|-------|-----------------|
| 1. 0人 | 4. 3人 |
| 2. 1人 | 5. 4人 |
| 3. 2人 | 6. 5人以上(具体的に 人) |

問5 問3の子どもの数が問4の子どもの数より少ない方におたずねします。妨げになっている要因はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかるから | 8. 健康上の理由から |
| 2. 家が狭いから | 9. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから |
| 3. 仕事に差し支えるから | 10. ほしいけれどもできないから |
| 4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから | 11. 末子が自身又は配偶者の定年退職までに成人してほしいから |
| 5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから | 12. 配偶者が望まないから |
| 6. 高年齢で産むのは嫌だから | 13. 特にない |
| 7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから | 14. その他() |

問2で、「2. 未婚」、「3. 離別・死別」と回答された方におたずねします。

問6 現在結婚されていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 結婚するのはまだ早いから | 8. 金銭的に不自由になるから |
| 2. 出会いがないから | 9. キャリアアップの妨げになるから |
| 3. 理想の相手に出会えていないから | 10. 今のところ、結婚するつもりはないから |
| 4. 収入が少ないから | 11. 年齢的に難しいと思うから |
| 5. 自分に自信が持てないから | 12. 今の家庭環境を変えたくないから |
| 6. 自由な生活を失いたくないから | 13. その他() |
| 7. 仕事が不安定だから | |

問7 あなたは、紀宝町に対して「自分の町」としての愛着をどの程度感じていますか。(1つに○印)

1. とても愛着を感じている
2. どちらかという愛着を感じている
3. どちらともいえない
4. あまり愛着を感じていない
5. 愛着を感じていない

問8 あなたは、これからも紀宝町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)
なお、「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」を選んだ方は、その理由を【 】にご記入ください

1. 住み続けたい
2. どちらかといえば住み続けたい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みたくない ⇒ 理由：
5. 住みたくない ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒

問9 あなたは、紀宝町のどのようなところに魅力を感じていますか。(3つまで○印)

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1. 自然環境が豊かである | 10. 保健・医療環境が整っている |
| 2. 公園・広場などが整っている | 11. 買物の便が良い |
| 3. 道路・交通の便が良い | 12. 働く場が整っている |
| 4. ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている | 13. 活力ある地場産業がある |
| 5. 情報通信網が整っている | 14. 人情味や地域の連帯感がある |
| 6. 消防・防災・防犯体制が整っている | 15. 行政サービスが充実している |
| 7. 文化・スポーツ環境が整っている | 16. 特に魅力を感じない |
| 8. 子育て・教育環境が整っている | 17. その他 |
| 9. 福祉環境が整っている | 具体的に： |

問10 10年後の町の将来像(あるべき姿)についてお聞きします。あなたは紀宝町がどんな町になればよいと思いますか。(3つまで○印)

1. 水と緑の豊かな自然環境のあるまち
2. 歴史文化を大切に継承・活用していくまち
3. 大学や高校などと連携した学校教育が充実したまち
4. 趣味の文化活動やスポーツの盛んなまち
5. 高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち
6. 子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち
7. 医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち
8. 道路交通網や情報網など、地域基盤の整備されたまち
9. 住宅地開発や公園や上下水道の整備など、快適で良好な住宅環境のまち
10. 環境に優しくエコロジーなまち
11. 商工業・観光業などの産業が発展し雇用が確保されたにぎわいのあるまち
12. 観光・レクリエーション施設や祭り・イベントの充実したまち
13. 若者や女性が活躍できるまち
14. 地域間交流・国際交流の活発なまち
15. 住民のまちづくり活動やボランティア活動が活発なまち
16. 各地区の地域活動（コミュニティ活動）が活発なまち
17. 行政サービスが充実した安定性・自立性の高いまち
18. その他ご意見をお聞かせください

()

問11 紀宝町の現在の状況(満足度)と今後のまちづくりにおける重要度についておたずねします。(A)満足度と(B)重要度について、それぞれの項目ごとに1つずつ〇印)

	(A)満足度					(B)重要度			
	紀宝町の今の状況についてどう思いますか。					今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。			
	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
*記入例	1	2	3	4	→	1	2	3	4

1 自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり									
(1) 自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(2) 海岸・河川環境の整備と保全が図られている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(3) 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(4) 地震・台風等への防災対策が取り組まれている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(5) 消防・救急体制が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(6) 歩道の整備など、交通事故防止対策が取り組まれている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(7) 住宅や宅地に恵まれている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(8) ゆったりと過ごせる公園などがある	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(9) 上水道の整備が進んでいる	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(10) 合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(11) ごみの分別収集や資源回収が進められている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(12) 道路が便利である	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(13) 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(14) 沿岸整備など、津波への対策が取り組まれている	1	2	3	4	→	1	2	3	4

	(A)満足度					(B)重要度			
	紀宝町の今の状況についてどう思いますか。					今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。			
	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
(15) 情報基盤(インターネット環境など)が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(16) 街路灯など、防犯の面で安心である	1	2	3	4	→	1	2	3	4

2 とともに支え合う、やさしさあふれるまちづくり									
	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(17) 健康づくりに取り組む機会が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(18) 健康診断や保健指導の体制が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(19) 子育て相談・情報提供が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(20) 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(21) 高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(22) 高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(23) 障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(24) 障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(25) 一人親家庭への福祉サービスが充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(26) 保育料・教育費などの負担軽減がされている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(27) 国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	1	2	3	4	→	1	2	3	4

3 賑わいと活力あふれる産業・交流のまちづくり									
	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(28) 農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興が図られている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(29) 林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興が図られている	1	2	3	4	→	1	2	3	4

	(A)満足度					(B)重要度			
	紀宝町の今の状況についてどう思いますか。					今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。			
	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
(30) 水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興が図られている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(31) 工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致が図られている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(32) 商業(商業地域の形成や商業者への支援)の振興が図られている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(33) 特産品の開発や普及活動が取り組まれている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(34) 観光資源の発掘やPRが取り組まれている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(35) 国内・国際交流が盛んである	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(36) 働く場が確保されている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(37) 食品や日用品の買い物がしやすい	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(38) 娯楽やレジャーの環境が整っている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(39) 祭りやイベントが充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(40) 消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている	1	2	3	4	→	1	2	3	4

4 いつでもどこでも学べる教養豊かなまちづくり

(41) 住民が子どもの心を育む地域づくりをしている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(42) 小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(43) だれもが学べる生涯学習の機会が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(44) スポーツ・レクリエーション施設が整っている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(45) 青少年の健全育成を促す地域づくりができています	1	2	3	4	→	1	2	3	4

	(A)満足度					(B)重要度			
	紀宝町の今の状況についてどう思いますか。					今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。			
	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
(46) 文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(47) 文化財の保存と活用ができています	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(48) 男女共同参画や人権尊重の地域づくりができています	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(49) 子どもにとって安全・安心なまちづくりができています	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(50) 保育園、学童保育など、保育体制が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(51) 男性も子育てに参加できる環境づくりができています	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(52) 小・中学校の施設・設備が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4

5 住民と行政の協働によるまちづくり

(53) 近隣の人たちと仲の良い生活ができています	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(54) 公民館活動や区・組の活動などが活発である	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(55) 地域活動への住民参加の機会がたくさんある	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(56) 住民団体やNPOなどの育成・支援が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(57) 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(58) 行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営が充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(59) 町では、近隣市町村と連携した広域行政ができています	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(60) 町民が意見や要望を言える機会がある	1	2	3	4	→	1	2	3	4
(61) 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできています	1	2	3	4	→	1	2	3	4

問12 あなたの生活や地域のことについて、おたずねします。

この1年くらいのことをふりかえってみてお答えください。(1つに○印)

1) 町が指定する避難場所や地域で決めている避難場所を知っていますか。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 実際に場所を確認したことがある | 4. 地域指定の避難場所は知っている |
| 2. 町と地域指定の避難場所どちらも知っている | 5. どちらも知らない |
| 3. 町指定の避難場所は知っている | |

2) 災害時の備蓄品、持ち出し物を準備していますか。

- | | | |
|----------------|---------------|--------------|
| 1. 準備している(日分) | 3. 準備していない | 5. 準備品がわからない |
| 2. 準備しようと思っている | 4. 必要ないと思っている | |

3) 電気のムダ使いを気にかけるなど、環境に配慮していますか。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 積極的に配慮している | 3. あまり配慮していない | 5. どちらともいえない |
| 2. 配慮している | 4. 配慮していない | |

4) 製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいきますか。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 積極的に選んでいる | 3. あまり選んでいない | 5. どちらともいえない |
| 2. 選んでいる | 4. 選んでいない | |

5) 環境に優しい循環型社会の実現のため、リデュース(ごみの発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(ごみの再生利用)などの3R活動に取り組んでいますか。

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 3. あまり取り組んでいない | 5. どちらともいえない |
| 2. 取り組んでいる | 4. 取り組んでいない | |

6) 台所の野菜くずやお風呂場の髪の毛等、汚物を流さないように対策をし、生活排水の処理について配慮していますか。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 積極的に配慮している | 3. あまり配慮していない | 5. どちらともいえない |
| 2. 配慮している | 4. 配慮していない | |

7) 河川・海岸の環境美化活動等への参加や熊野古道等の保全活動、ごみ拾いなどの活動をしていますか。

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| 1. 積極的にしている | 3. あまりしていない | 5. したことがない |
| 2. たまにしている | 4. ほとんどしていない | |

8) 住宅の新築、建て替えなどの際、地域の景観に配慮した住環境づくりをしていますか。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 十分に配慮している | 3. あまり配慮していない | 5. どちらともいえない |
| 2. 配慮している | 4. 配慮していない | |

9) 花の植栽や清掃活動などによる美しい道や安全で快適な道路環境づくりに参加したいと思いませんか。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 積極的に参加したい | 3. あまり参加したくない | 5. どちらともいえない |
| 2. 参加したい | 4. 参加したくない | |

10) スポーツ活動（ウォーキング等、軽スポーツ・運動を含む）に、どれくらい取り組んでいますか。

- | | | |
|----------|----------|-----------------|
| 1. 週2回以上 | 3. 月2回程度 | 5. ほとんど取り組んでいない |
| 2. 週1回程度 | 4. 月1回程度 | |

11) 青少年の健全育成のため、PTA活動や子どもたちの校外活動、スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブなどへの参加はしていますか。

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. よく参加する | 3. あまり参加しない | 5. 参加したことがない |
| 2. たまに参加する | 4. ほとんど参加しない | |

12) 住んでいる地域は子どもや子育て世代にも暮らしやすいと思いませんか。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 十分に暮らしやすいと思う | 4. 暮らしやすいと思わない |
| 2. 暮らしやすいと思う | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり暮らしやすいと思わない | |

13) 地域では高齢者や障がい者、ひとり親家庭への見守り・声掛け・手助け等が行われていますか。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 十分に行われている | 3. あまり行われていない | 5. どちらともいえない |
| 2. 行われている | 4. 行われていない | |

14) 少子高齢化などの問題を踏まえ、国民年金や介護保険等、将来の社会保障制度について不安はありますか。

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. すごく不安である | 3. あまり不安ではない | 5. どちらともいえない |
| 2. 不安である | 4. 不安はない | |

15) 町の商業の振興のため、意識して地域で買い物をするようにしていますか。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 町内で買い物をする | 4. 町内外を意識して買い物をすることはない |
| 2. できる限り町内で買い物をする | 5. 買い物は町外です |
| 3. あまり町内で買い物はしない | |

16) 現在、働いている方にお聞きします。安心して働ける職場環境の実現のため、育児休業や有給休暇の取得等、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）のための制度を活用していますか。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 十分に活用している | 3. あまり活用していない | 5. どちらともいえない |
| 2. 活用している | 4. 活用していない | |

17) 文化財やその周辺地域の保存を前提とした学習活動に参加したことがありますか。

- | | | |
|------------|------------------|--------------|
| 1. よく参加する | 3. あまり参加しない | 5. 参加したことがない |
| 2. たまに参加する | 4. ほとんど参加したことがない | |

18) 祭りなどの地域の活動・行事に参加等、町の歴史・伝統・文化の保護継承に対して取り組んでいますか。

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 3. あまり取り組んでいない | 5. どちらともいえない |
| 2. 取り組んでいる | 4. 取り組んでいない | |

19) 町から月1回配布される「広報きほう」を読んでいますか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 毎月読んでいる | 3. あまり読んでいない |
| 2. ときどき読んでいる | 4. まったく読んでいない |

問13 現在、もしくは将来に向けて町政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案等がありましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。